

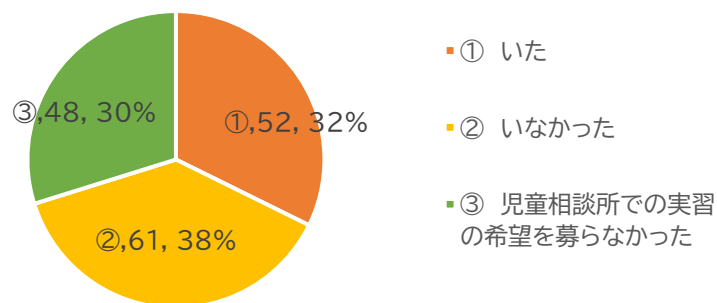


参考資料

「子ども家庭福祉分野の養成教育に関する緊急アンケート」調査結果

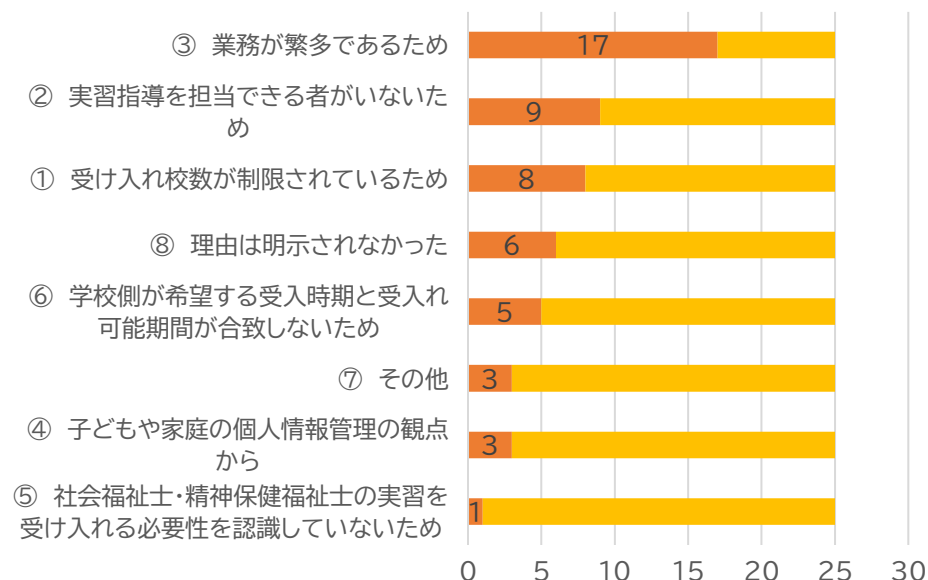
実施主体:日本ソーシャルワーク教育学校連盟
 対象:日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校
 (270校。課程ごとに回答を依頼)
 期間:2020年10月12日(月)~16日(金)
 方法:オンラインフォームによる
 回答数:195課程/166校(回答率 61.5%)
 集計は、上記課程のうち社会福祉士課程(161
 課程)で集計した。

Q10 2019年度に児童相談所での実習
 を行った学生の有無(n=161)(単位:課
 程)



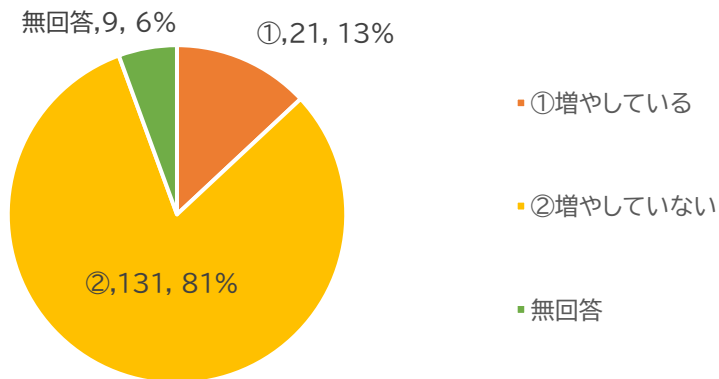
① いた	52	32%
② いなかった	61	38%
③ 児童相談所での実習の希望を募らなかった	48	30%

Q11-2 [Q11-1で「②一部の児童相談所から断られた」「③すべての児童相談所から断られた」とお答えの方のみ] 断られた理由
 (MA)(n=25)(単位:課程)



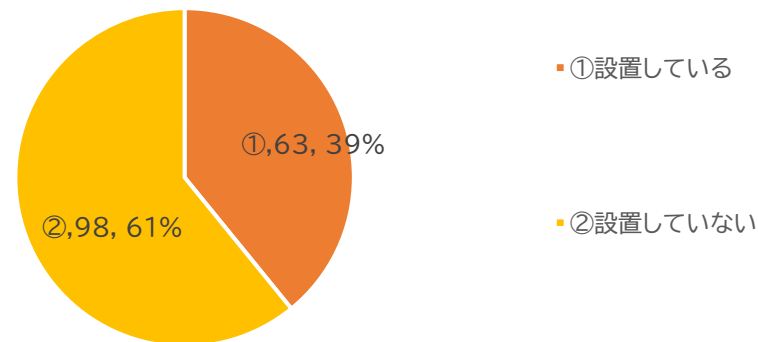
③ 業務が繁多であるため	17
② 実習指導を担当できる者がいないため	9
① 受け入れ校数が制限されているため	8
⑧ 理由は明示されなかった	6
⑥ 学校側が希望する受入時期と受け入れ可能期間が合致しないため	5
⑦ その他	3
④ 子どもや家庭の個人情報管理の観点から	3
⑤ 社会福祉士・精神保健福祉士の実習を受け入れる必要性を認識していないため	1

Q13 社会・専門科目である「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉支援制度」(30時間)の時間数を増やす取り扱いをしていますか。(n=161)(単位:課程)



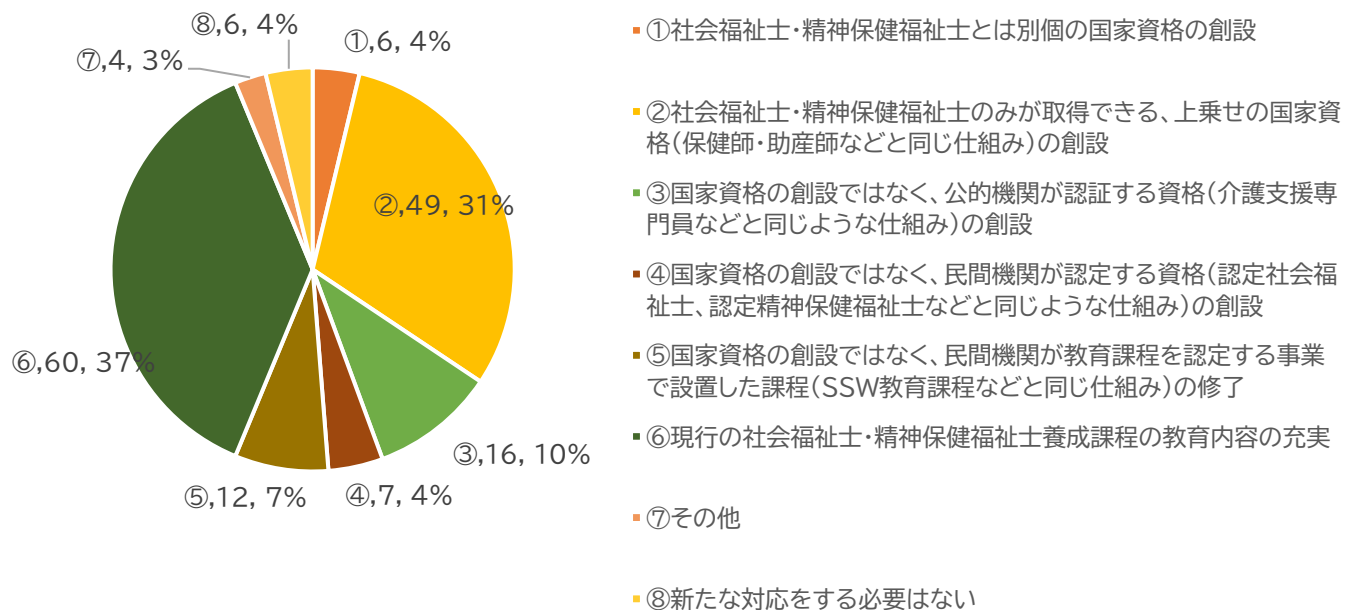
①増やしている	21	13%
②増やしていない	131	81%
無回答	9	6%

Q14 社会・専門科目である「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」の他に、子ども家庭福祉に関連する科目を設置していますか。(n=161)(単位:課程)



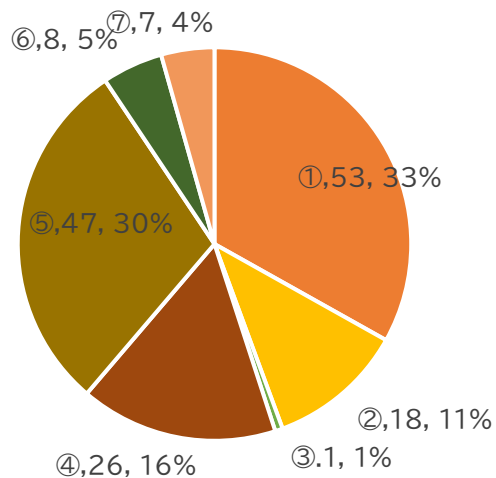
①設置している	63	39%
②設置していない	98	61%

Q15 仮に子ども家庭福祉の専門家を養成するための新たな対応
 をする場合、どのような対応が適切だと思いますか
 (n=161)(単位:課程)



①社会福祉士・精神保健福祉士とは別個の国家資格の創設	6	31%
②社会福祉士・精神保健福祉士のみが取得できる、上乘せの国家資格(保健師・助産師などと同じ仕組み)の創設	49	10%
③国家資格の創設ではなく、公的機関が認証する資格(介護支援専門員などと同じような仕組み)の創設	16	4%
④国家資格の創設ではなく、民間機関が認定する資格(認定社会福祉士、認定精神保健福祉士などと同じような仕組み)の創設	7	7%
⑤国家資格の創設ではなく、民間機関が教育課程を認定する事業で設置した課程(SSW教育課程などと同じ仕組み)の修了	12	37%
⑥現行の社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の教育内容の充実	60	3%
⑦その他	4	4%
⑧新たな対応をする必要はない	6	4%

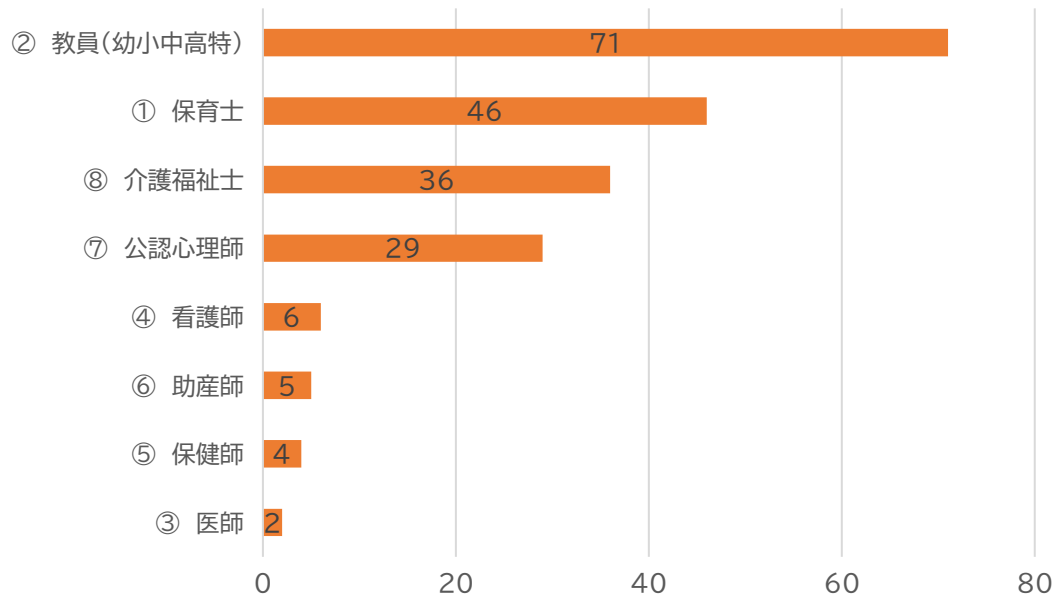
Q16 仮に新たな対応をする場合、子ども家庭福祉の専門家を養成する課程をどのように設置するのが適切だと考えますか
(n=161)(単位:課程)



- ①社会福祉士あるいは精神保健福祉士を養成している養成校に設置する(SSW教育課程などと同じ仕組み)
- ②社会福祉士あるいは精神保健福祉士受験資格保持者のみが入学できる大学院(1年制の専門職大学院含む)に設置する
- ③社会福祉士・精神保健福祉士とは別の、新たな養成課程を設置する(専修学校・短大・大学など)
- ④養成課程は設置せずに、認定試験と研修で対応する(介護支援専門員などと同じような仕組み)
- ⑤現行の社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の教育内容を充実させる
- ⑥その他
- ⑦新たな対応をする必要はない

①社会福祉士あるいは精神保健福祉士を養成している養成校に設置する(SSW教育課程などと同じ仕組み)	53	33%
②社会福祉士あるいは精神保健福祉士受験資格保持者のみが入学できる大学院(1年制の専門職大学院含む)に設置する	18	11%
③社会福祉士・精神保健福祉士とは別の、新たな養成課程を設置する(専修学校・短大・大学など)	1	1%
④養成課程は設置せずに、認定試験と研修で対応する(介護支援専門員などと同じような仕組み)	26	16%
⑤現行の社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の教育内容を充実させる	47	30%
⑥その他	8	5%
⑦新たな対応をする必要はない	7	4%

Q22 希望する場合、他の養成課程の子ども家庭に関連する科目で履修できる科目はありますか(MA)
(n=161)(単位:課程)



② 教員(幼小中高特)	71
① 保育士	46
⑧ 介護福祉士	36
⑦ 公認心理師	29
④ 看護師	6
⑥ 助産師	5
⑤ 保健師	4
③ 医師	2

「児童・家庭福祉」の授業ガイドライン作成に当たって含むべき重要なポイント

達成目標(下位目標)	具体的な学習事項
1 社会福祉士の基本姿勢の定着——人権と社会正義を原理とする	
(1)子ども・若者の権利侵害が起きる背景について適切に理解し、子どもの尊厳を守るような支援のあり方について説明できる	①現代日本の子ども・若者の権利保障の実態と課題(学校教育における諸問題を含む) ②子どもの権利保障の歴史的発展 ③子どもの権利条約の内容と基礎にある子ども観 ④児童福祉法と子どもの権利保障 ⑤子ども・若者の権利保障にかかわる法制度や取組(各種基準・指針含む) ⑥子ども・若者の権利保障と親・おとなの役割 ⑦子ども・若者の権利保障と集団的責任 ⑧子ども・若者の声(意見・見方等)の多様性と聴く態度 ⑨子ども・若者と面接をするときの一般的な留意点 ⑩セルフ・アドボカシーの意義
(2)子ども・子育て家庭を取り巻く社会について理解をし、子どもの権利保障を促進する社会のあり方について説明できる	①子ども・若者の権利とSDGs(公平・公正の概念等) ②家族・家庭の概念及び家庭養育理念 ③固有の文化・多様な価値観及びライフサイクルの尊重 ④災害や貧困などによる生活基盤の喪失と社会的剥奪 ⑤子どもの権利侵害発生状況の理解(子どもへの虐待、いじめ等の逆境体験、心身障害から派生する二次障害含む) ⑥子ども家庭福祉ニーズと社会システム(ミクロ～マクロ) ⑦子ども家庭福祉ニーズを充足する各種施策の発展と体系(経済的支援含む) ⑧子ども家庭福祉の実施体制と児童相談所・市町村の役割 ⑨子ども家庭福祉保障のための各種サービスの計画的推進(施策動向含む) ⑩子ども家庭福祉と地域共生社会(子どもの未来応援地域ネットワーク支援、社会的養育の推進等) ⑪関係機関等と子どもの権利を基盤とした話し合いをする意義 ⑫システム・アドボカシーの意義
2 社会福祉士が行う生活課題の理解——人と環境の相互作用を理解する	
(1)子ども家庭福祉ニーズについて、人と環境との相互作用という観点から理解することができる	①子どもの発達段階と文化的多様性 ②子どもの発達段階ごとの生活課題(妊娠期や青年期に至る子どものライフステージを広く捉えるとともに、子育てという観点を含める) ③子どもと家庭の状況と関連した基本的社会統計(すべての子どもと子育て家庭の生活実態の基本的理解) ④子ども家庭福祉ニーズと社会システム(ミクロ～マクロ)(再掲) ⑤子どもの過去・現在・未来のつながりを意識した見立て(自立支援、パーマネンシーの理解含む) ⑥子どもと家庭福祉保障にかかわる危険因子・補償因子(レジリエンス含む) ⑦子どもの権利侵害発生状況の理解(子どもへの虐待、いじめ等の逆境体験、心身障害から派生する二次障害含む)(再掲) ⑧ステップファミリー、里親・養子縁組家庭内での相互作用(公的保護が子どもと家族に及ぼす影響含む) ⑨保護者の福祉ニーズの理解と支援の意義 ⑩家族面接と家族システムの理解(歴史、関係性、役割・機能等)

	⑪ストレスやサポート・システムへの注目 ⑫子どもの問題行動の理解のしかた(リフレーミング含む) ⑬ワーカーの個人的価値観が支援に及ぼす影響の覚知
(2)子ども家庭福祉ニーズの充足するための支援のあり方について考えることができる	①子ども家庭福祉ニーズを充足する各種施策の発展と体系(再掲) ②子ども家庭福祉の実施体制と児童相談所・市町村の役割(再掲) ③子ども家庭福祉の増進を目的とする機関・施設とソーシャルワークの必要性(社会福祉士の役割含む) ④子ども・若者の意向・意見を踏まえた(あるいは当事者参画のもとでの)最善の利益保障 ⑤家族面接の展開方法(ファミリーグループカンファレンス等) ⑥支援拒否等への考え方と対応(受援力の理解含む) ⑦ソーシャルワークにおけるアウトリーチ及び介入の考え方 ⑧児童福祉施設と職種、方法(保育や教育の基礎的理解等) ⑨切れ目のない支援体制の形成・維持(利用者支援、要保護児童対策地域協議会、学校教育・医療機関との連携体制、コーディネート役割等) ⑩関係機関との連携による支援(学校や医療機関等の関係機関の基礎的理解、個人情報保護、要対協含む) ⑪支援計画実施後のモニタリングや評価の重要性 ⑫児童相談所・市町村における支援の展開過程(在宅指導措置含む) ⑬児童福祉施設等における支援の展開過程(里親養育支援のプロセス、家族再統合含む) ⑭法的対応及び司法関与が必要なケースの理解(少年非行、被害確認面接含む) ⑮学校における支援の展開(障害を有する子どもへの福祉と教育の連携含む) ⑯就労支援や自立支援、DV防止等の多様な支援課題の理解
3 社会福祉士が行う実践レベルの理解——メゾ・マクロシステムを視野に入れる	
(1)関係機関と協働する意義について理解し、そのための方法について考えることができる	①子ども・若者の意向・意見を踏まえた(あるいは当事者参画のもとでの)最善の利益保障(再掲) ②子ども家庭福祉の実施体制と児童相談所・市町村の役割(再掲) ③子ども家庭福祉の増進を目的とする機関・施設とソーシャルワークの必要性(社会福祉士の役割含む)(再掲) ④切れ目のない支援体制の形成・維持(利用者支援、要対協、学校教育・医療機関との連携体制、コーディネート役割等)(再掲) ⑤関係機関との連携による支援(学校や医療機関等の関係機関理解、個人情報保護、要対協含む)(再掲) ⑥支援観や支援手法の相違の特定と合意形成 ⑦ケース会議の意義と支援チームの形成 ⑧行政と民間とのパートナーシップ(里親養育支援、養子縁組支援等)
(2)地域資源を開発する意義について理解し、具体的な取組例についてあげることができる	①子ども家庭福祉における開発的機能の必要性 ②地域ごとの組織を支援する中間組織の役割(社会福祉協議会等) ③地域に対する公益的取組との関連(施設の多機能化含む) ④子ども家庭福祉にかかわる地域資源開発のプロセス ⑤支援の担い手のリクルート(里親、メンタルフレンド含む) ⑥当事者の組織化(社会的養護当事者、母親クラブ等)

2019年度 試行的事業

2020年度より本格実施予定

2019年度 社会福祉士・精神保健福祉士 全国統一模擬試験 受験者への

進路意向等アンケート調査結果（速報）

（現役学生7,000人の進路意向）

令和2年3月12日



日本ソーシャルワーク教育学校連盟

JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

◆ アンケート調査の概要・趣旨・対象・倫理的配慮等 ◆

【アンケートの目的およびアンケート実施主体】

本アンケートは、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が、養成校在学者及び既卒者の進路意向及び就労の状況を把握し、今後の福祉人材確保対策推進及び社会福祉分野への進学推進の参考資料、今後のソーシャルワーク教育の充実のための参考資料とすることを目的として、実施するものである。なお、本調査で得たデータは、統計的処理をしたうえで報告書等で公表することとし、個人が特定できる形式での公表はしない。

【アンケートの対象と倫理的配慮】

本アンケートの対象は、日本ソーシャルワーク教育学校連盟が実施する「2019年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」の受験者とし、マークシート形式のアンケート用紙に回答する。回答はすべて統計的に処理し、個別の氏名、学校名、受験番号、各自の模擬試験の得点、問題の解答番号等は公表しない。また、上記目的以外の使用はしない。

また、本アンケートへの回答は任意とし、回答の有無あるいは内容によって、回答者に不利益が生じない。本アンケートへの回答をもって、趣旨への同意を得たものとする。

本アンケート調査は、2019年度は試行的に実施したもの。
本調査結果を踏まえ、質問項目を精査の上、2020年度から本格実施する予定（毎年実施を検討中）。

◆ 回収率・方法等 ◆

【方法】

- 2019年10月26日から11月3日の間で本連盟が実施した「2019年度 社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」の受験者9,186人を対象に、模擬試験終了後、各会場においてアンケートを記入する時間を確保し、試験問題冊子の巻末に掲載したアンケート項目についてマークシートにより回答。

【回収率、集計対象等】

- 受験者9,186人のうち、進路意向等アンケート質問項目にすべて無回答だった948人を除外し、8,238人の回答を有効回答とした（有効回答率89.7%）。
- 本速報値は、有効回答8,238人のうち、本連盟会員校が設置した会場で受験した主に現役学生7,048人の回答を対象に集計した。

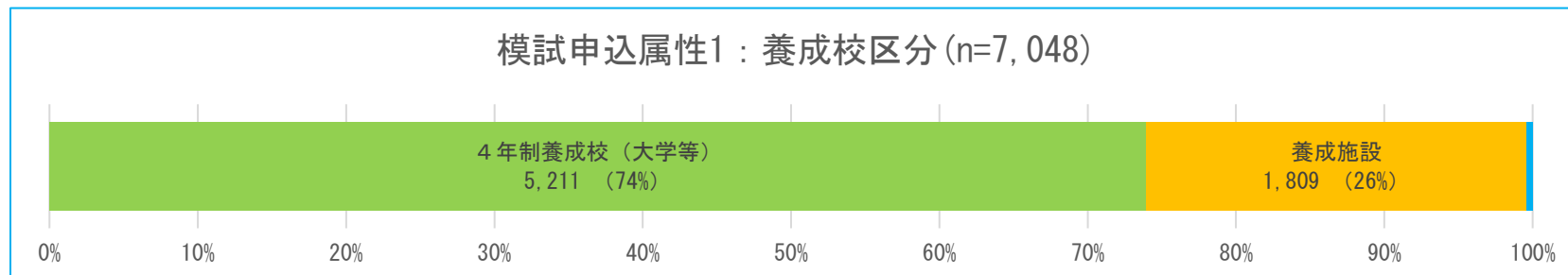
注）在宅での受験者1,190名の回答は大半が既卒者であることから、在学する現役学生の進路意向に関するトレンドを把握する観点から、在宅受験者を本速報の集計から除外している。

【アンケート項目】（巻末資料参照）

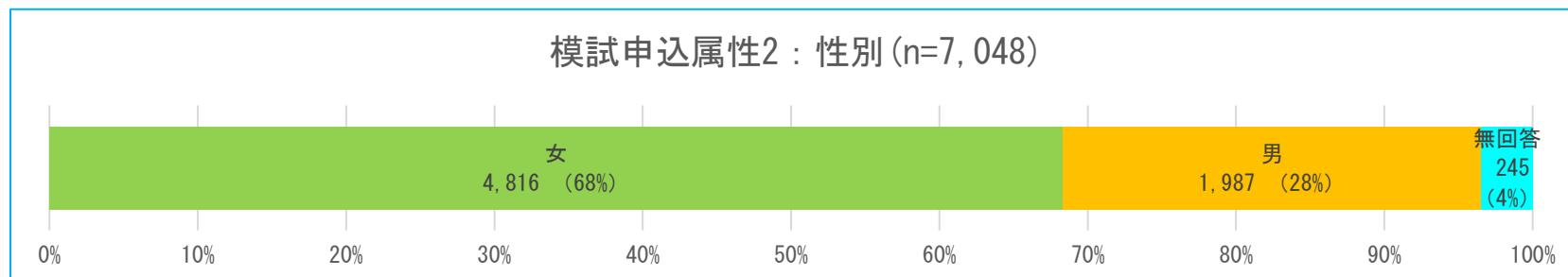
- Q1 あなたの年齢（年代）を選んでください。
- Q2 国家試験の受験予定について、当てはまるものを1つを選んでください。
- Q3 上記Q2 で1 または2 を選んだ方にお伺いします。受験予定の国家試験を選んでください。（複数回答可）
- Q4 あなたは学校（養成校）で実習（社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を得るために必要な実習）を行いましたか？当てはまるものを1つを選んでください。
- Q5 あなたが学校（養成校）で実習を行った分野をすべてを選んでください。（複数回答可）
- Q6 就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の選択にあたり、実習の経験から肯定的な影響（実習経験と同様の就職先を選ぶ）を受けましたか、それとも否定的な影響（実習経験と同様の就職先を避ける）を受けましたか。当てはまるもの1つを選んでください。
- Q7 上記Q6 で1、2、3、4（5以外）を選択した方にお伺いします。誰または何から影響を受けたかについて当てはまるものを選んでください。（複数回答可）
- Q8 上記Q6 で1 または2 を選択した方にお伺いします。就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の選択に関して、当てはまるもの1つを選んでください。
- Q9 あなたが社会福祉分野の学校（養成校）で学ぶことを目指した（意識した）年代を1つを選んでください。
- Q10 あなたが社会福祉分野の学校（養成校）で学ぶことを目指した理由を選んでください。（複数回答可）
- Q11 あなたが社会福祉分野への就労を目指した（意識した）年代を1つを選んでください。
- Q12 あなたが社会福祉分野での就労を目指した理由を選んでください。（複数回答可）
- Q13 あなたが社会福祉分野への就労や学校（養成校）を目指した際、周囲に否定的な反応を示した方はいましたか。当てはまる人を選んでください。（複数回答可）
- Q14 あなたの現在の就職、就職活動の状況を1つを選んでください。
- Q15 上記Q14 で2 を選択した方にお伺いします。本年度に内定が出た時期を1つを選んでください。
- Q16 上記Q14 で1 または2 を選択した方にお伺いします。就労形態を1つを選んでください。
- Q17 あなたの就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の分野を1つを選んでください。
- Q18 あなたの就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）の運営主体を1つを選んでください。
- Q19 あなたが就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた体験のうち、当てはまるもの3つまでを選んでください。
- Q20 あなたが就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた人のうち、当てはまるもの3つまでを選んでください。
- Q21 あなたが就職予定先・就職活動先（就労されている方は現在勤務先）を選ぶ上で重視することについて、当てはまるもの5つまでを選んでください。
- Q22 就職（就労されている方は転職）に関する情報をどこから得ていますか。（複数回答可）
- Q23 就職（就労されている方は転職）に関する情報を得るために、便利だと思うものはなんですか。（複数回答可）

■ 模擬試験受験申込にかかる属性～その①

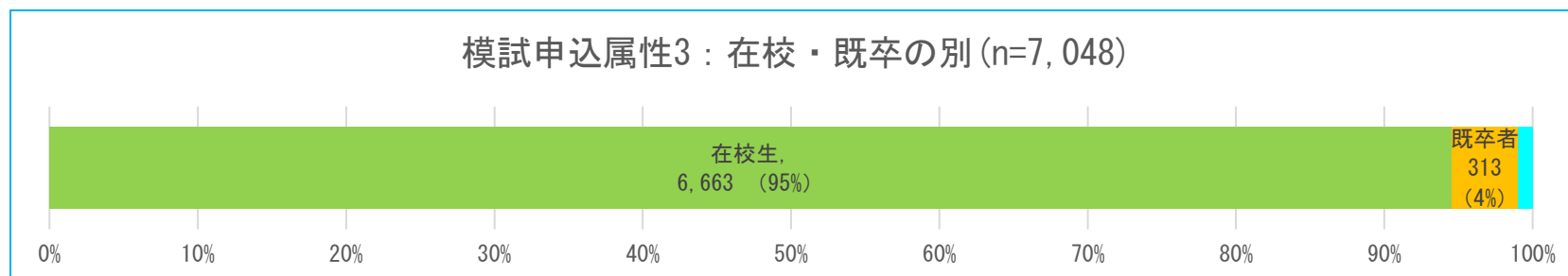
1. 養成校区分は、4年制の大学等が74%、養成施設が26%であった。



2. 性別は、女性が68%、男性が28%、無回答が4%であった。

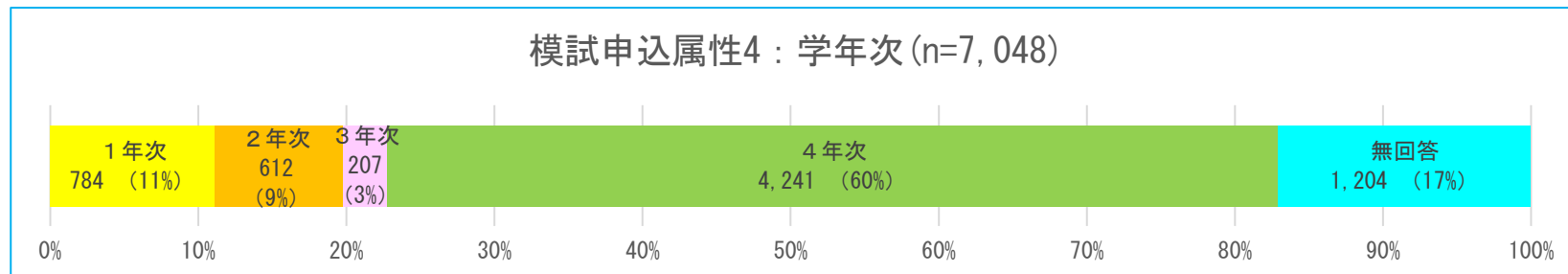


3. 在校・既卒の別は、在校生が95%、既卒者が4%であった。

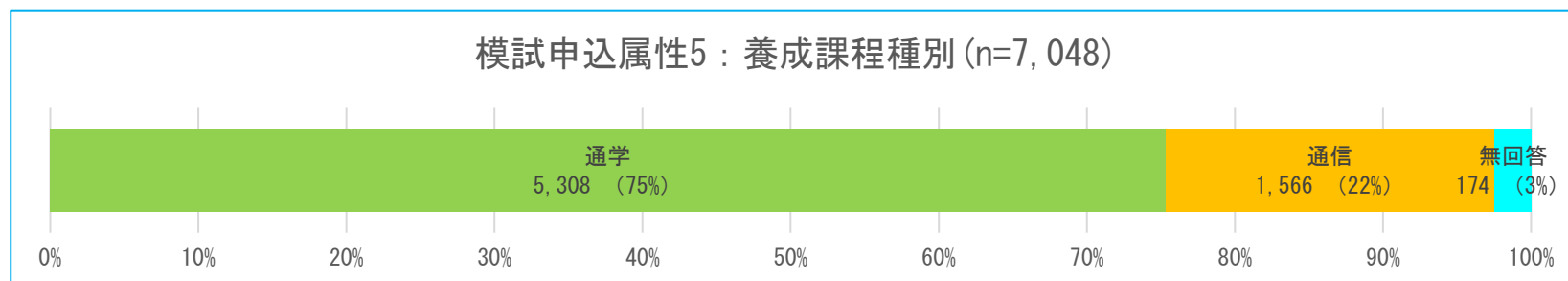


■ 模擬試験受験申込にかかる属性～その②

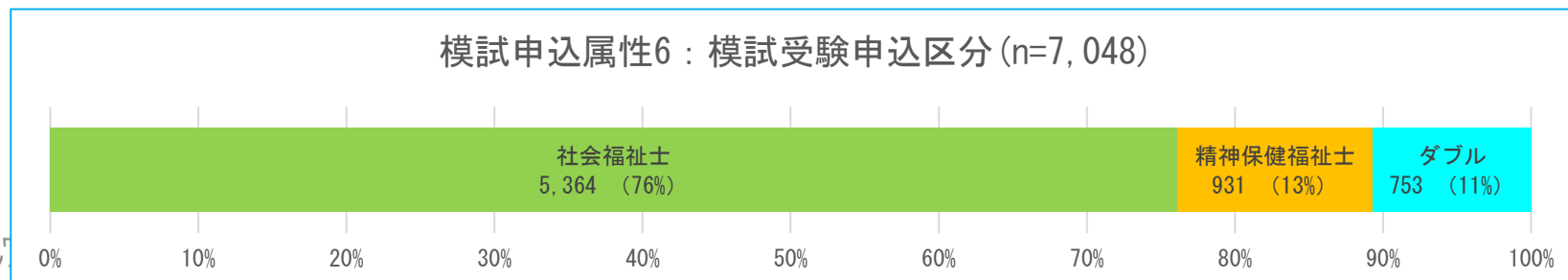
4. 学年は、4年次が60%と最も多く、次いで1年次が11%、2年次が9%、3年次が3%であった。また、【属性1. 養成校区分】と【属性4. 学年次】をクロス集計したところ、4年次の99%は4年制大学、1年次と2年次の約9割が養成施設、3年次の8割強が4年制大学であった。



5. 養成課程種別は、通学が75%、通信が22%、無回答が3%であった。

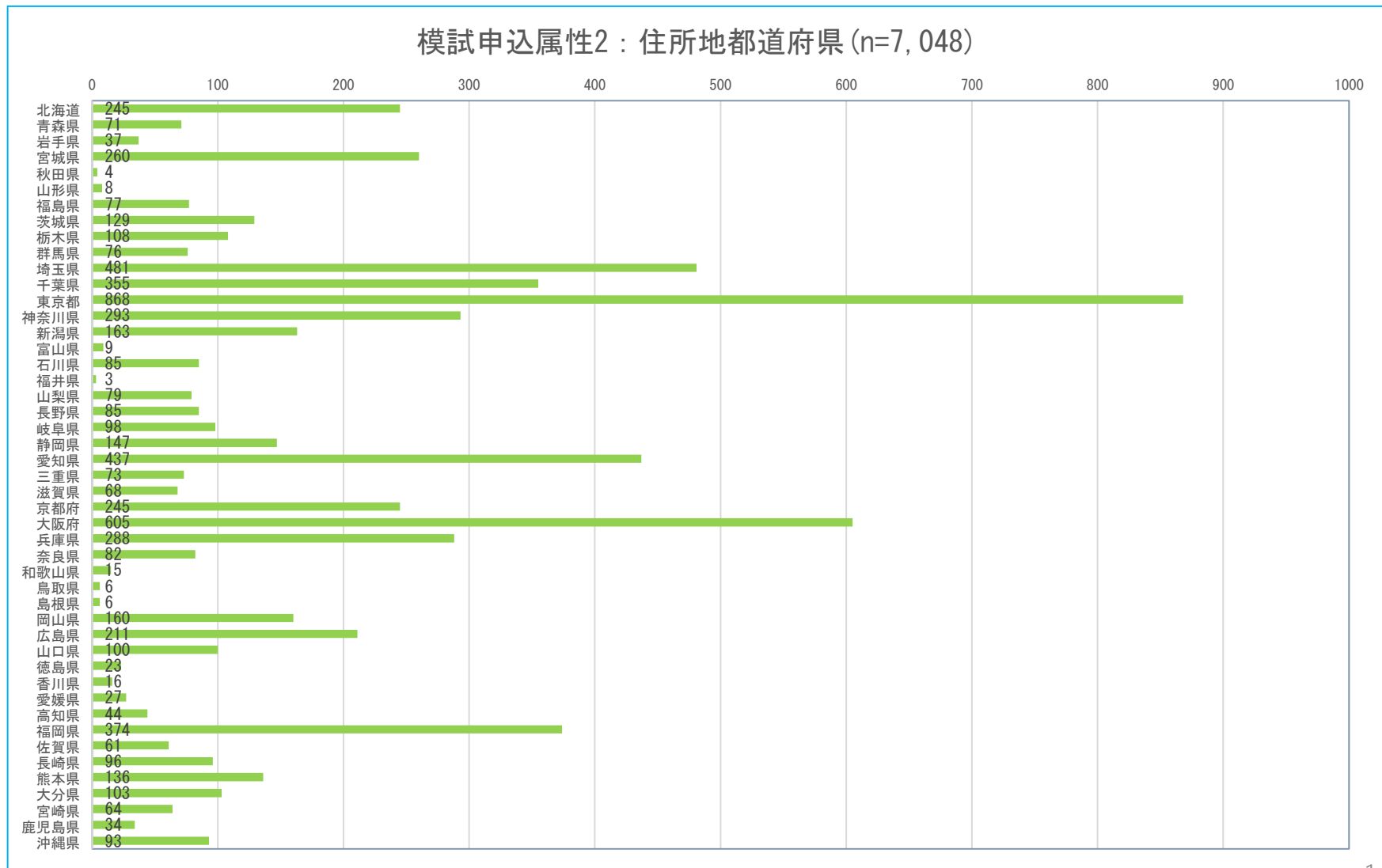


6. 模擬試験申込区分は、社会福祉士のみ受験が76%、精神保健福祉士のみ受験が13%、社会福祉士と精神保健福祉士のダブル受験が11%であった。



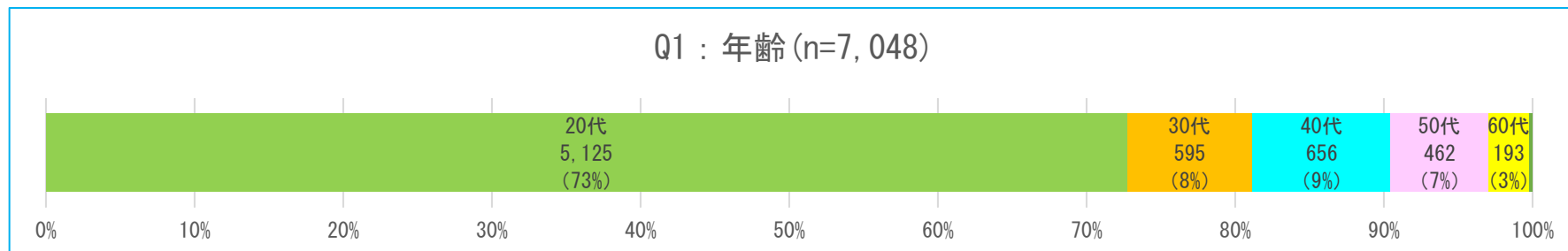
■ 模擬試験受験申込にかかる属性～その③

7. 居住する都道府県は、養成校が多い都道府県、とりわけ都市部が多く、養成校が少ない都道府県は受験者が少ない。

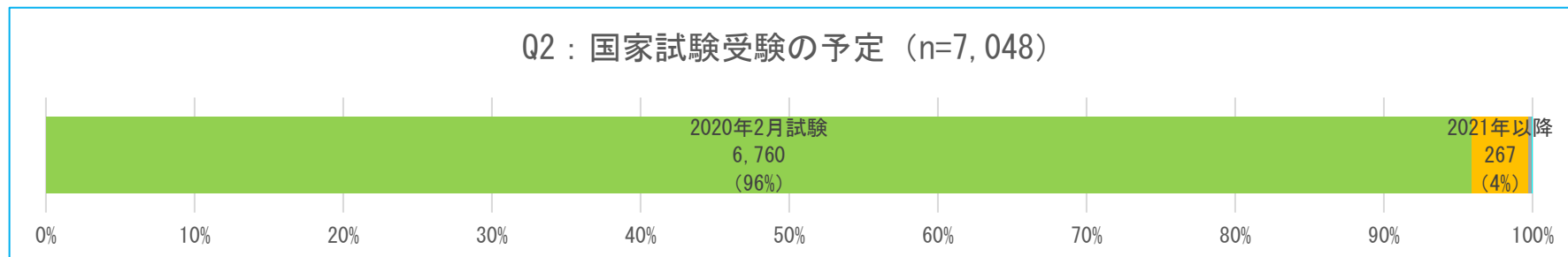


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その①

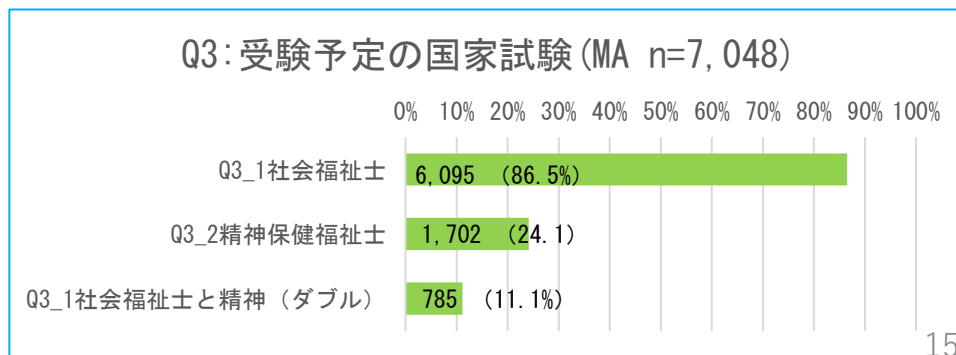
Q 1. 年齢は20代が73%と最も多く、次いで40代が9%、30代が8%、50代が7%、60代が3%であった。



Q 2. 国家試験受験の予定は、2020年2月実施の試験の受験予定者が96%、2021年以降の試験の受験予定者は4%であった。

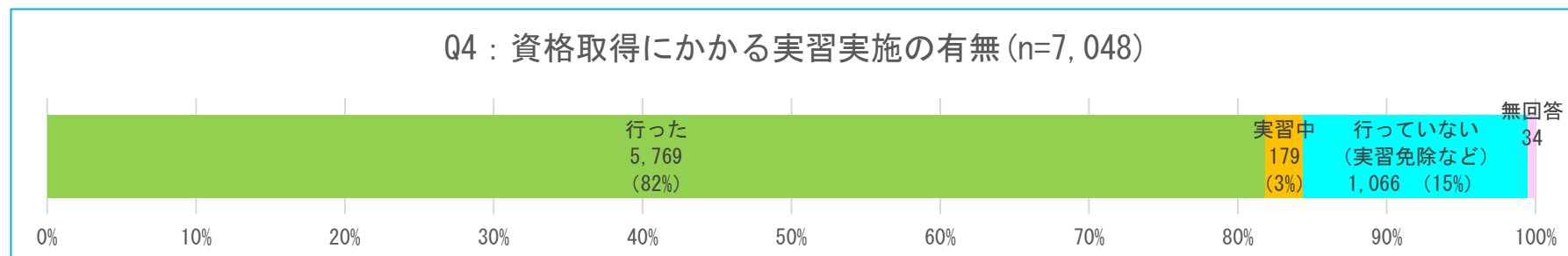


Q 3. 受験予定の国家試験は、社会福祉士が86%、精神保健福祉士が24%、社会福祉士と精神保健福祉士のダブル受験予定者は11%であった。

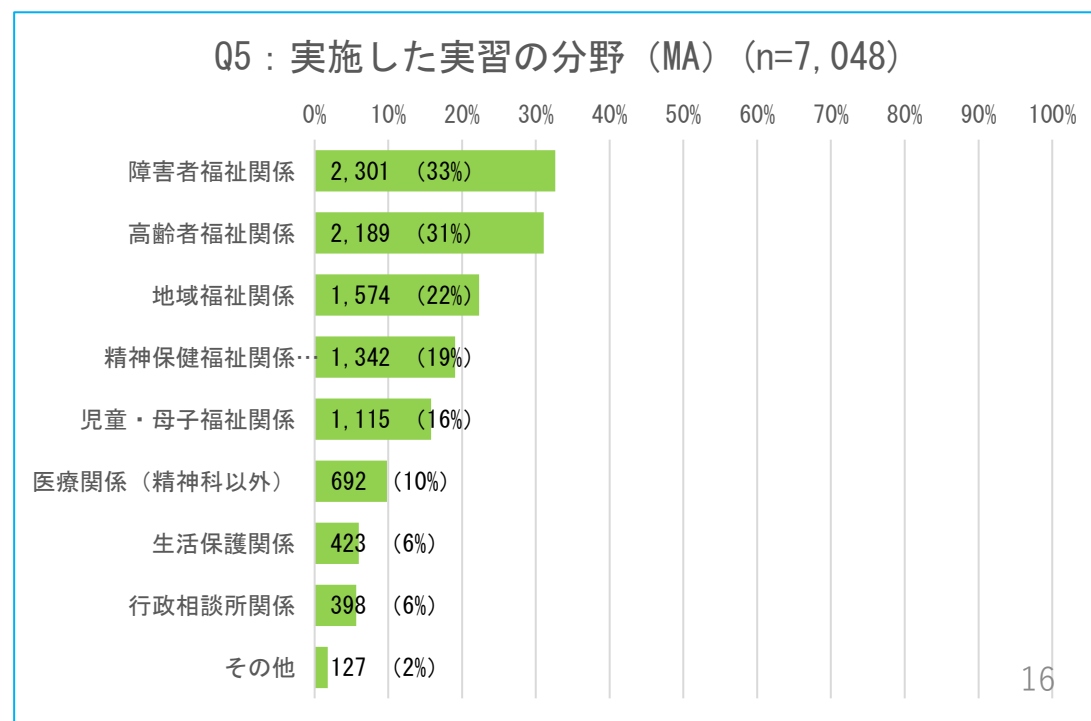


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その②

Q 4. 資格取得にかかる実習実施の有無を聞いたところ、本アンケート調査を実施した10月下旬時点で、「1. 行った」と回答した者は82%、「2. 実習中」の者が3%、「3. 実習免除などにより実習を行っていない」は15%であった。



Q 5. 実施した実習の分野は、障害者施設と高齢者施設がそれぞれ3割強と多く、次いで地域福祉関係22%、精神保健福祉関係19%、児童関係16%、医療関係10%、生活保護関係6%、行政相談所関係6%の順であった。

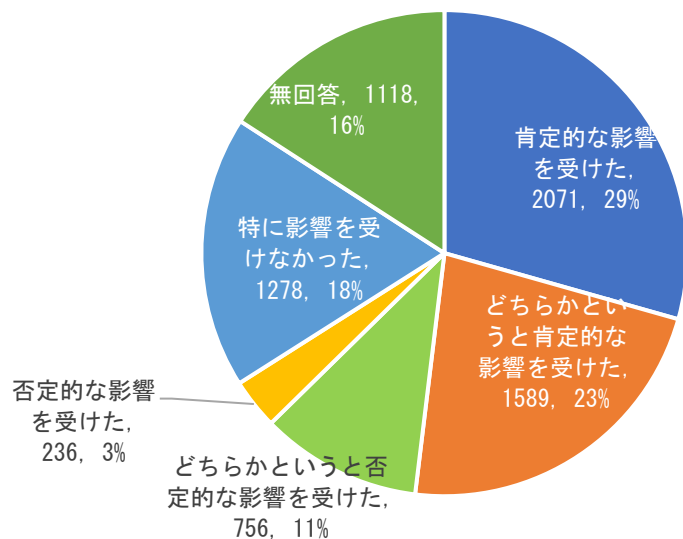


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その③

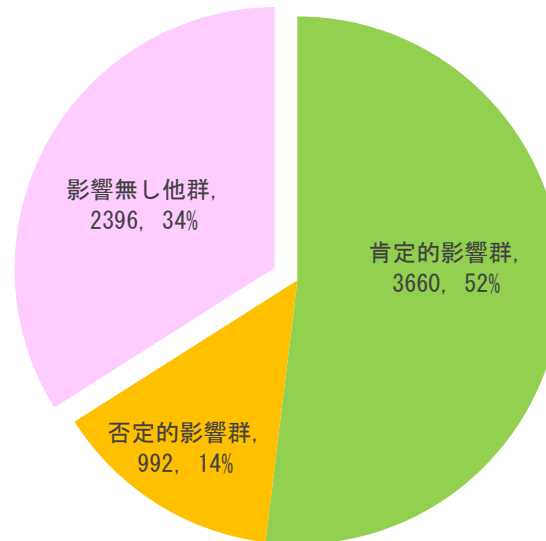
Q 6. 就職予定先・就職活動先の選択にあたり、実習の経験から肯定的または否定的な影響を受けたか聞いたところ、肯定的な影響を受けた者は29%、どちらかというとな肯定的が23%、否定的な影響を受けた者は3%、どちらかというとな否定的が11%、特に影響を受けなかった者は18%であった。

Q 6-再. 左記データを肯定的影響群、否定的影響群、影響なし他群に再カテゴリ化したところ、肯定的影響群は約半数の52%、否定的影響群は14%で、**全体の66%（4,652名）が実習の経験が就職先選択に何らかの影響を受けていた。**

Q6：就職予定先・活動先の選択について、実習の経験から肯定的もしくは否定的な影響を受けたか（SA n=7,048）

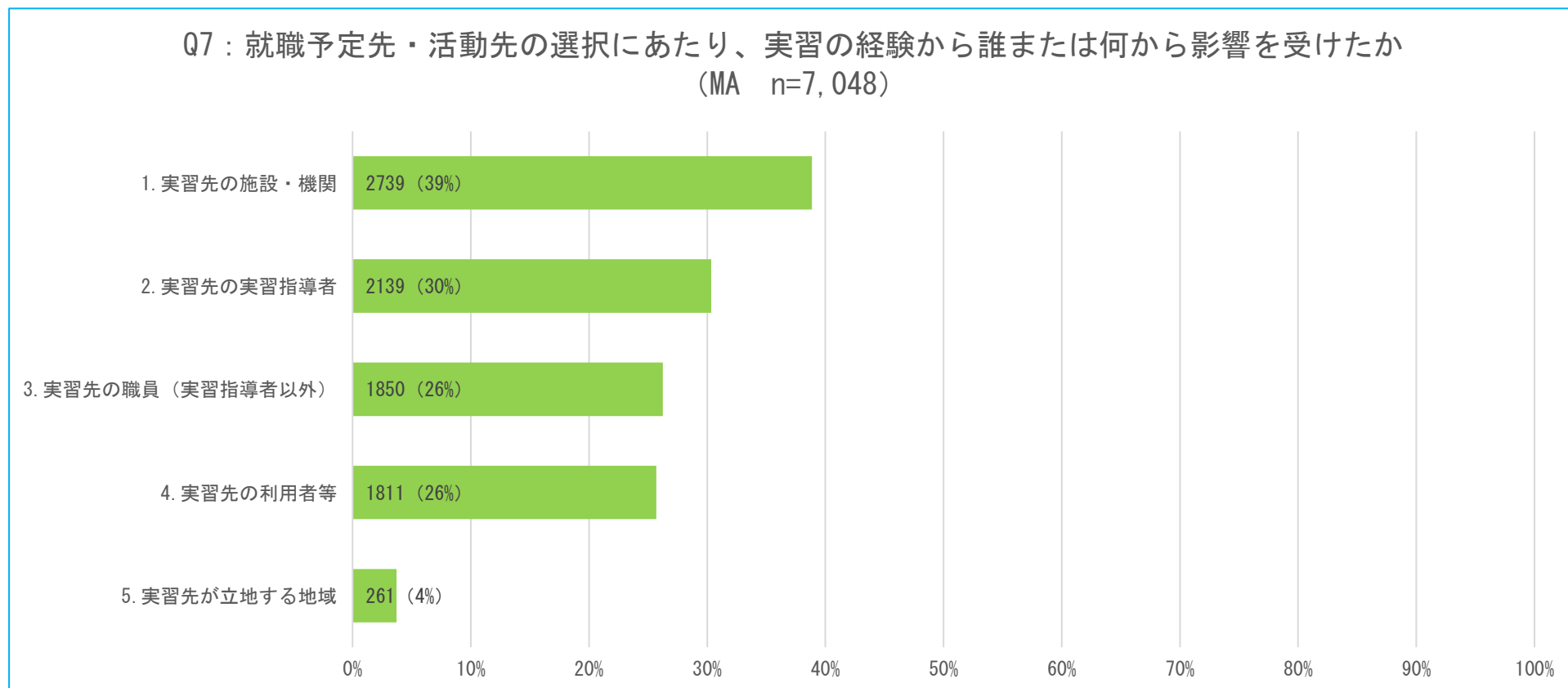


Q6：肯定的影響群・否定的影響群に再カテゴリ（SA n=7,048）



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その④

Q7. Q6で、就職先選定にあたり実習の経験が肯定的または否定的な影響を受けた者のうち、実習の経験で誰または何から影響を受けたか聞いたところ、「1. 実習先の施設・機関」と回答した者が39%で最も多く、次いで「2. 実習先の実習指導者」が30%、「3. 実習先の職員（実習指導者以外）」、「4. 実習先の利用者等」がそれぞれ26%となっており、「5. 実習先が立地する地域」は4%と少ない。



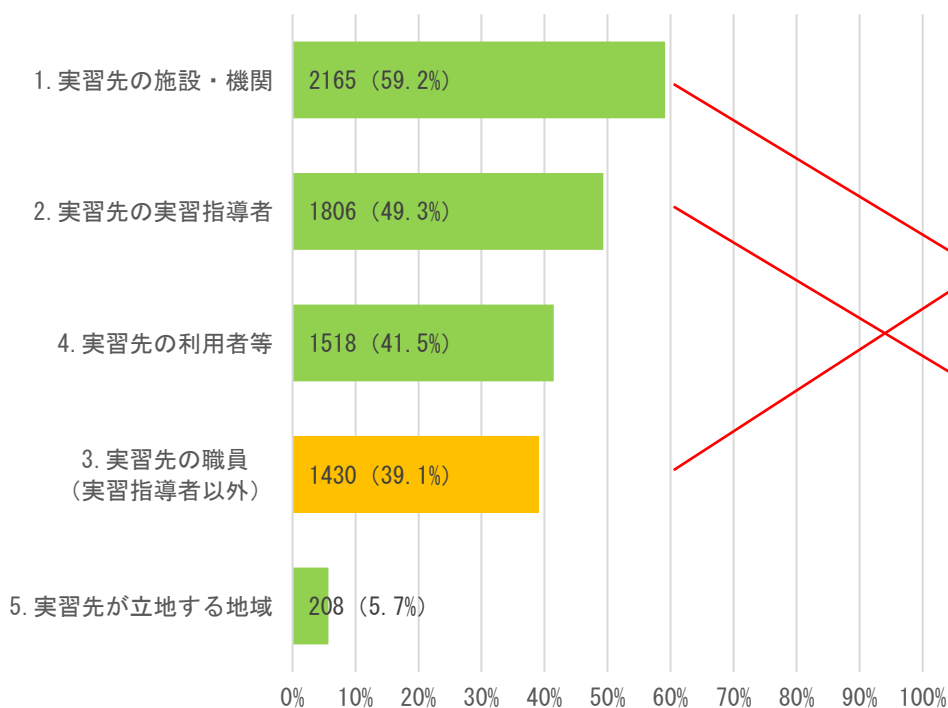
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑤（クロス集計）

【Q6：肯定的または否定的影響群】×【Q7：就職予定先・活動先を選定する上で、実習の経験で誰又は何から影響を受けたか】のクロス

【Q6：肯定的または否定的影響群】×【Q7：就職予定先・活動先を選定する上で、実習の経験で誰又は何から影響を受けたか】でクロス集計を行ったところ、肯定的・否定的ともに「1. 実習先の施設・機関」から影響を受けたと答えた者が最も多いが、「3. 実習先の職員（実習指導者以外）」では、肯定的影響群は第4位（39.1%）であるが、否定的影響群では第2位（38.8%）となっており、「2. 実習先の実習指導者」や「4. 実習先の利用者等」よりも順位が高くなっている。

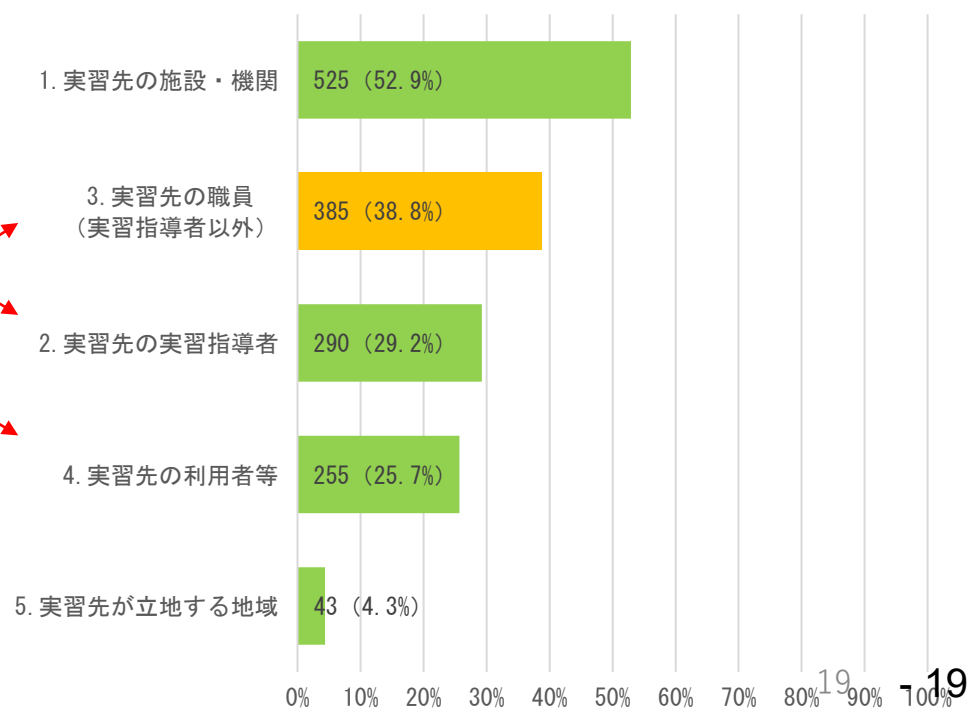
【Q6-1：肯定的影響群】

【Q6：肯定的影響群】×【Q7：就職予定先・活動先を選定する上で、実習の経験で誰又は何から影響を受けたか】のクロス（肯定影響群 n=3,660）



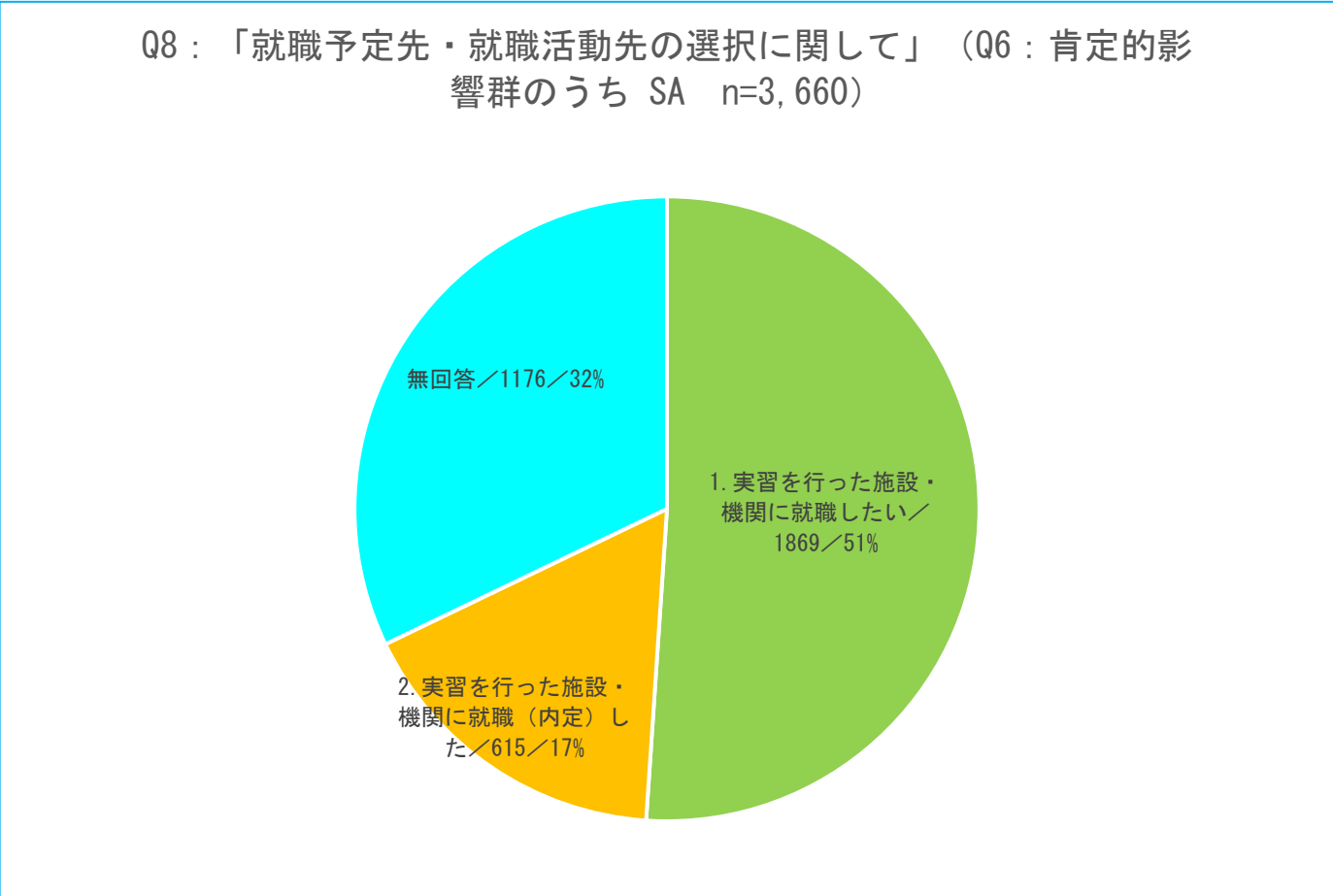
【Q6-2：否定的影響群】

【Q6：否定的影響群】×【Q7：就職予定先・活動先を選定する上で、実習の経験で誰又は何から影響を受けたか】のクロス（否定影響群 n=992）



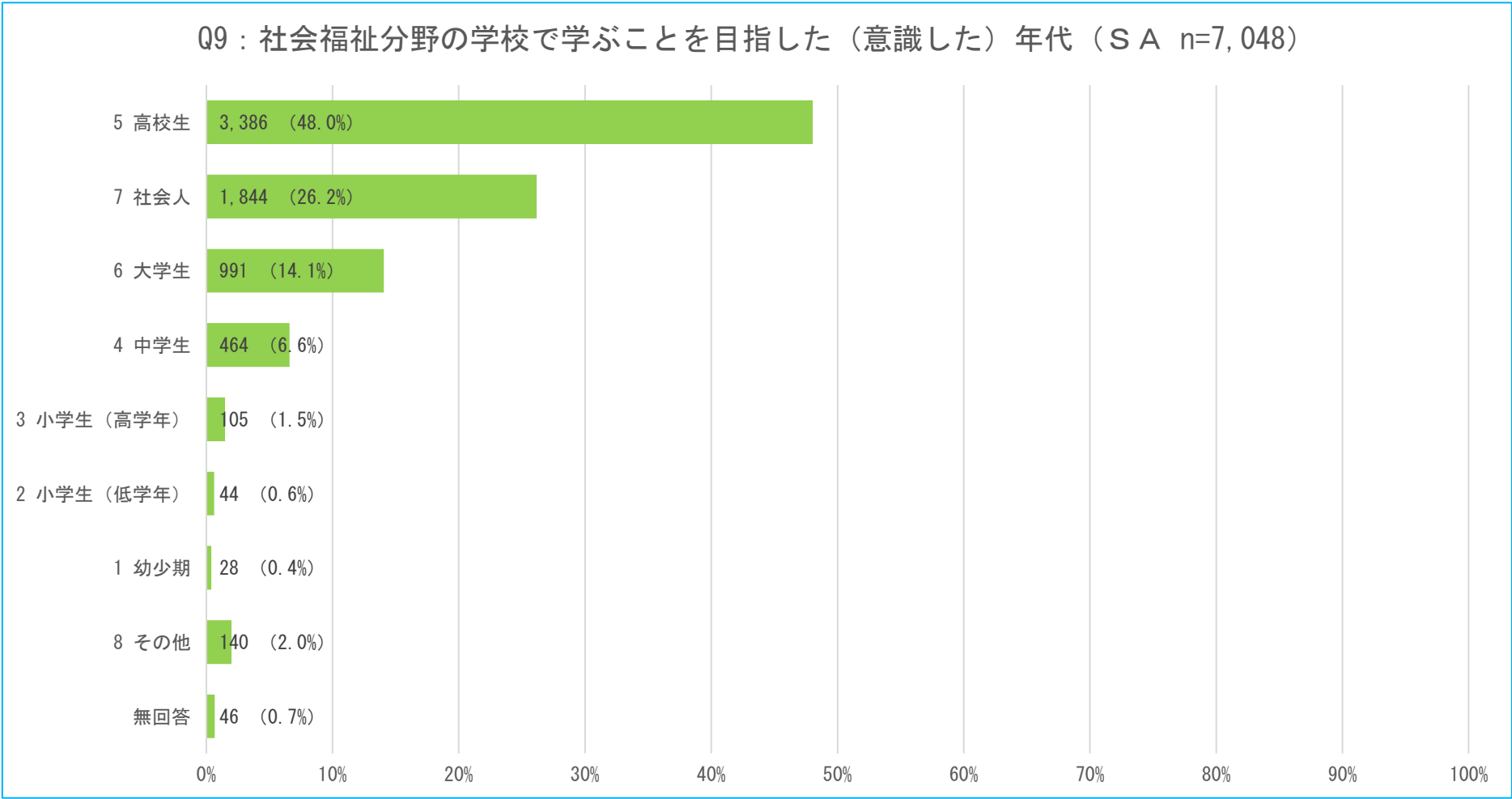
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑥

Q8. Q6で、「1. 肯定的な影響を受けた」「2. どちらかという肯定的な影響を受けた」と回答した者（肯定的影響群 n=3,660）のうち、就職予定先・活動先として「1. 実習を行った施設・機関に就職したい」を回答した者は半数以上の51%であった。また、実際に「2. 実習を行った施設・機関に就職（内定）した」と回答した者は17%で、実習の経験において就職先選定にあたって肯定的な影響を受けた者の約7割は、実習を行った施設・機関に「就職したい」または「就職（内定）した」と回答している。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑦

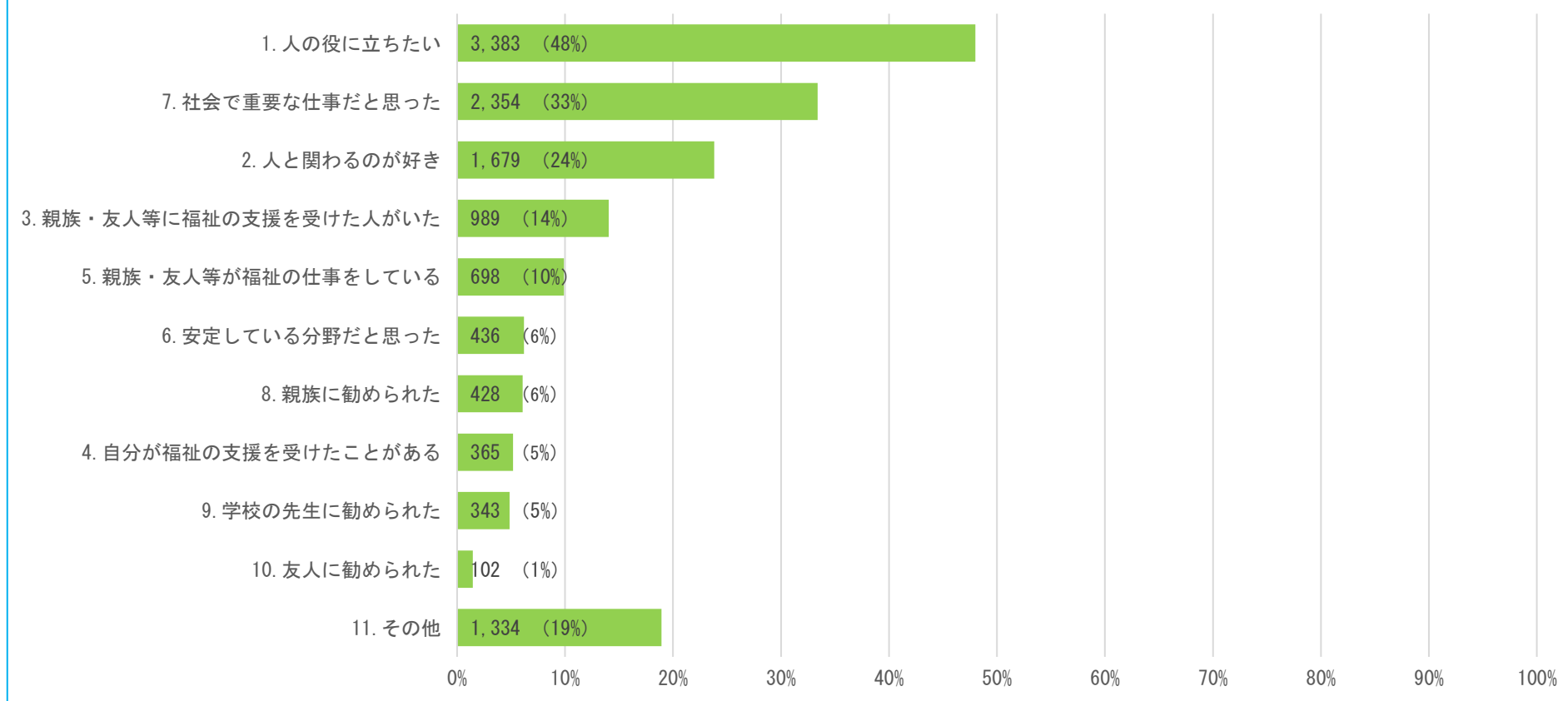
Q9：社会福祉分野の学校（養成校）で学ぶことを目指した（意識した）年代を聞いたところ、「5. 高校生」と回答した者が48%で最も多く、次いで社会人26%、大学生14%、中学生7%の順であった。小学生以下と回答した者はいずれも2%未満であった。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑧

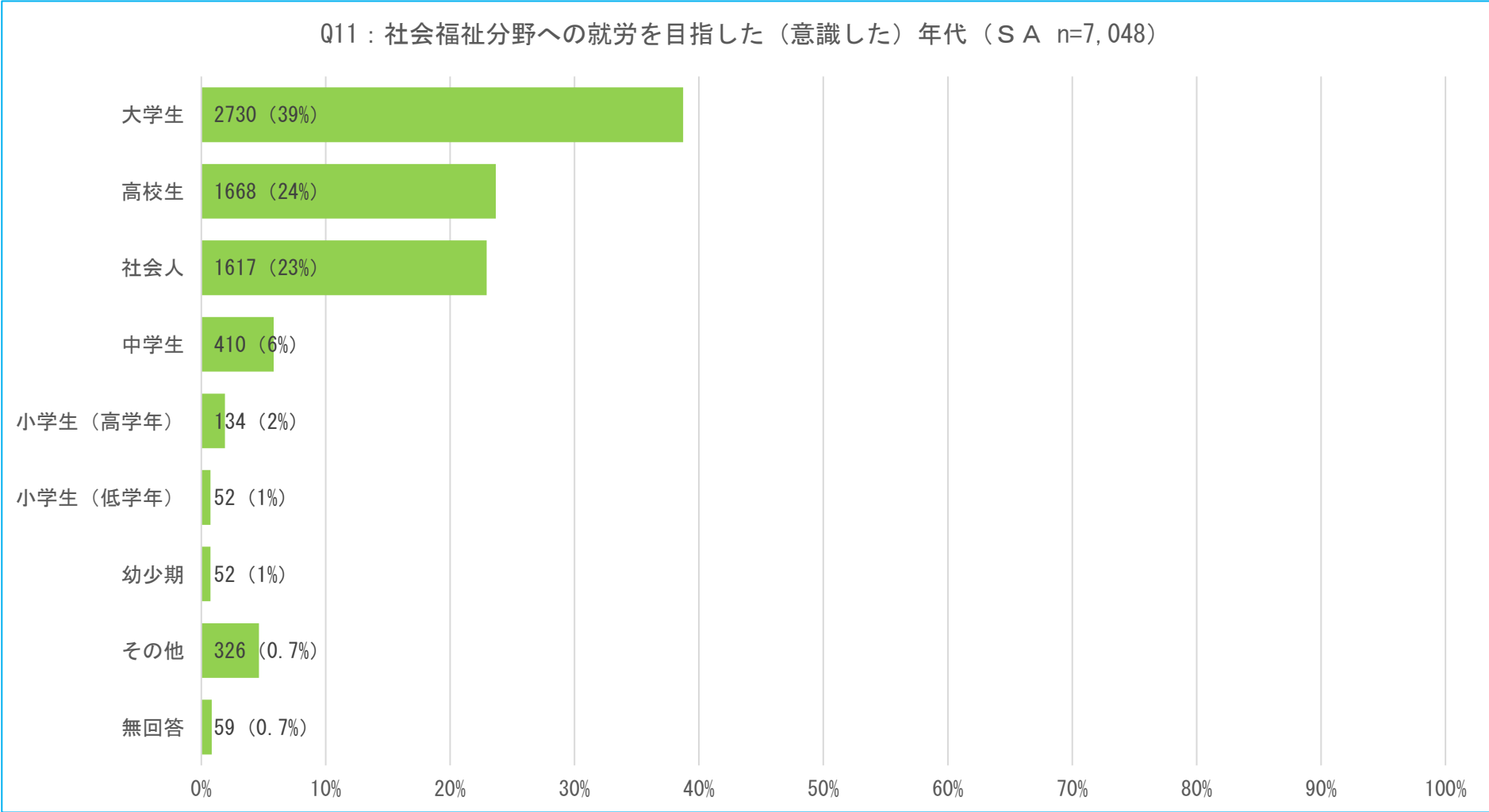
Q10：社会福祉分野の学校で学ぶことを目指した理由について聞いたところ、「1. 人の役に立ちたい」と回答した者が48%で最も多く、次いで「7. 社会で重要な仕事だと思った」33%、「2. 人と関わるのが好き」24%、「3. 親族・友人等が福祉の支援を受けた人がいた」14%の順となっている。「親族」「学校の先生」「友人」に進められたと回答した者はいずれも6%以下であった。

Q10：社会福祉分野の学校で学ぶことを目指した理由
(MA n=7, 048)



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑨

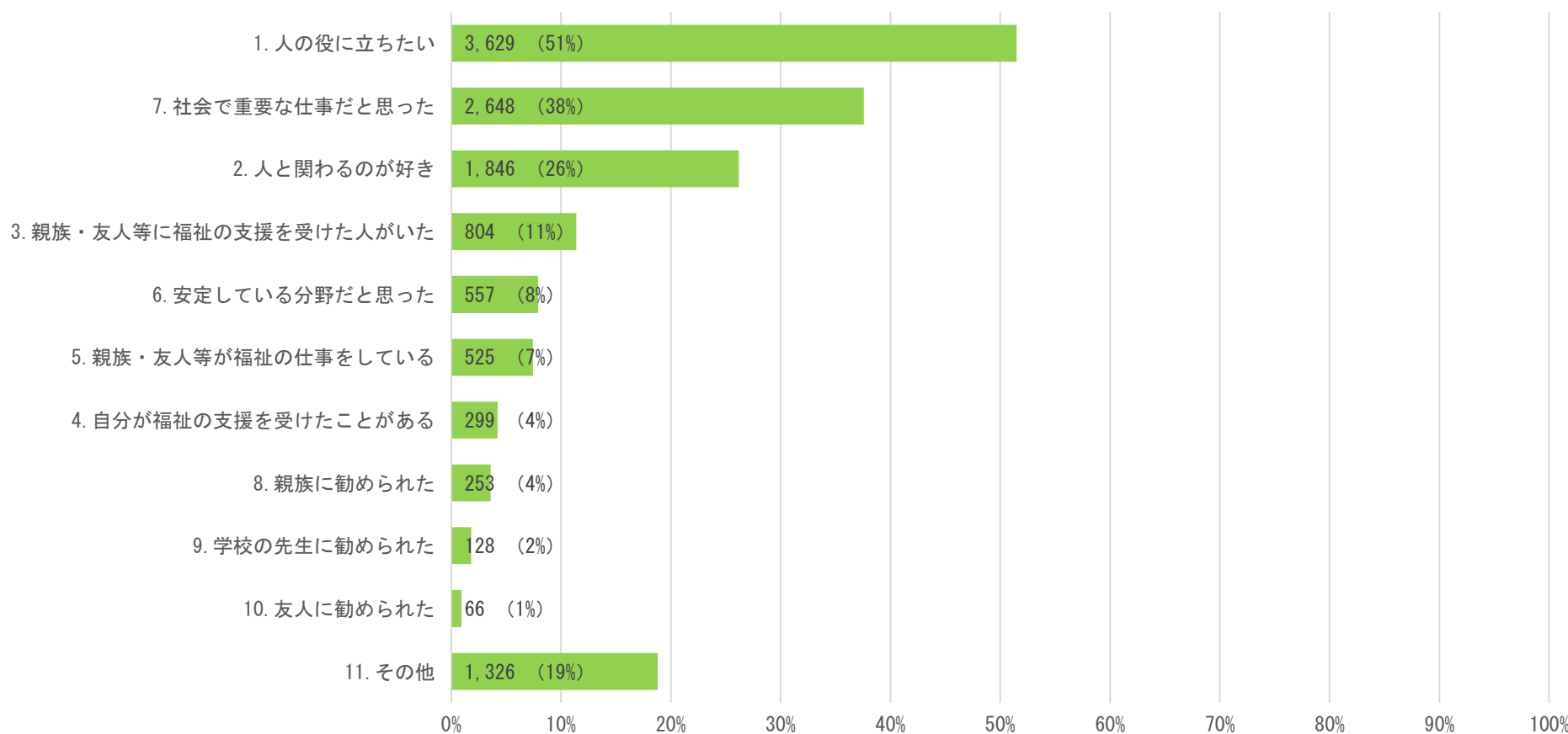
Q11：社会福祉分野への就労を目指した（意識した）年代について聞いたところ、大学生が39%と最も多く、次いで高校生24%、社会人23%、中学生6%の順であった。小学生以下と回答した者はそれぞれ2%未満であった。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑩

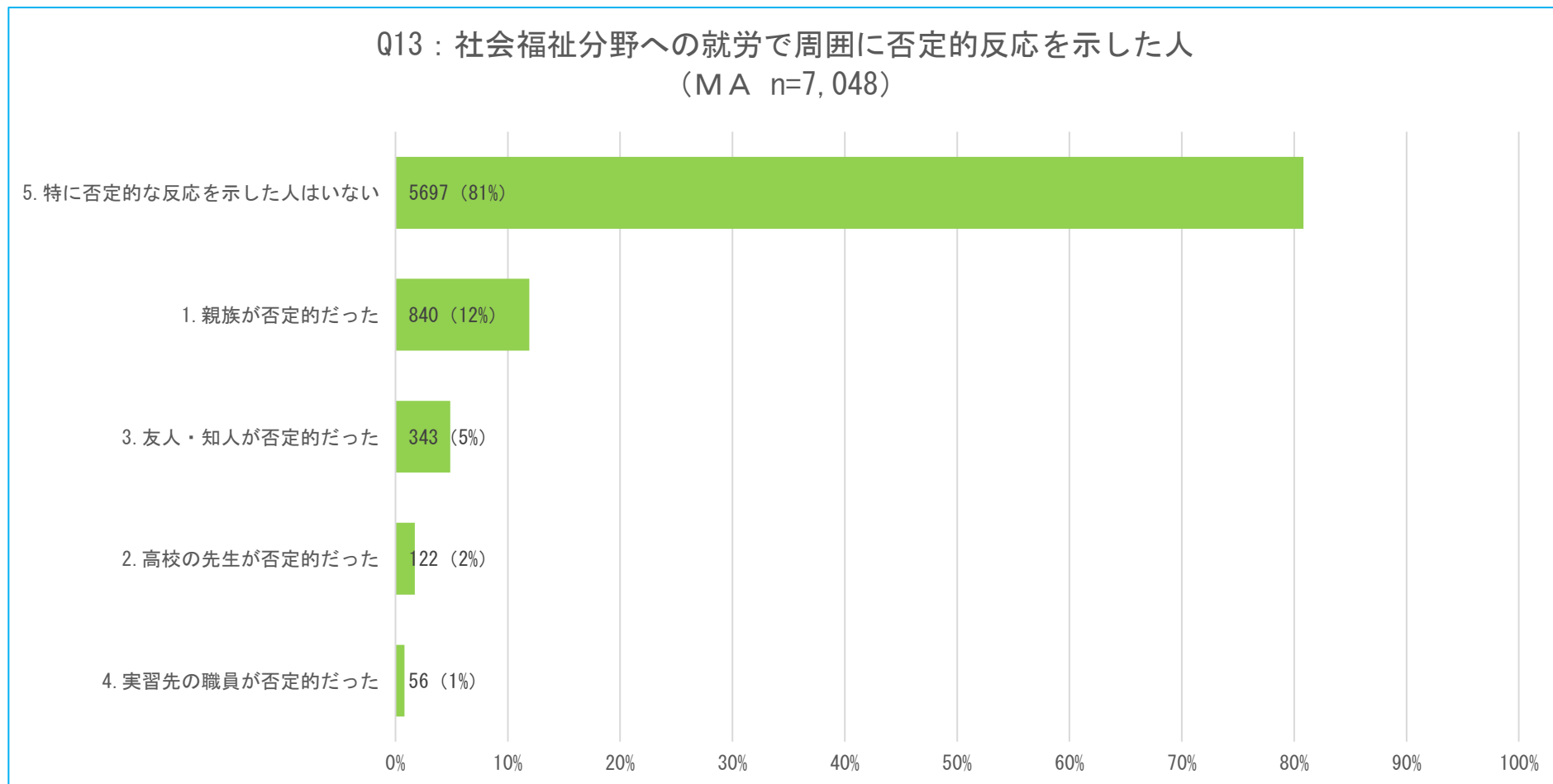
Q12：社会福祉分野での就労を目指した理由について聞いたところ、「1. 人の役に立ちたい」と回答した者が51%で最も多く、次いで「7. 社会で重要な仕事だと思った」38%、「2. 人と関わるのが好き」26%、「3. 親族・友人等が福祉の支援を受けた人がいた」11%の順となっている。「親族」「学校の先生」「友人」に進められたと回答した者はいずれも5%以下であった。

Q12：社会福祉分野に就労を目指した理由（MA n=7,048）



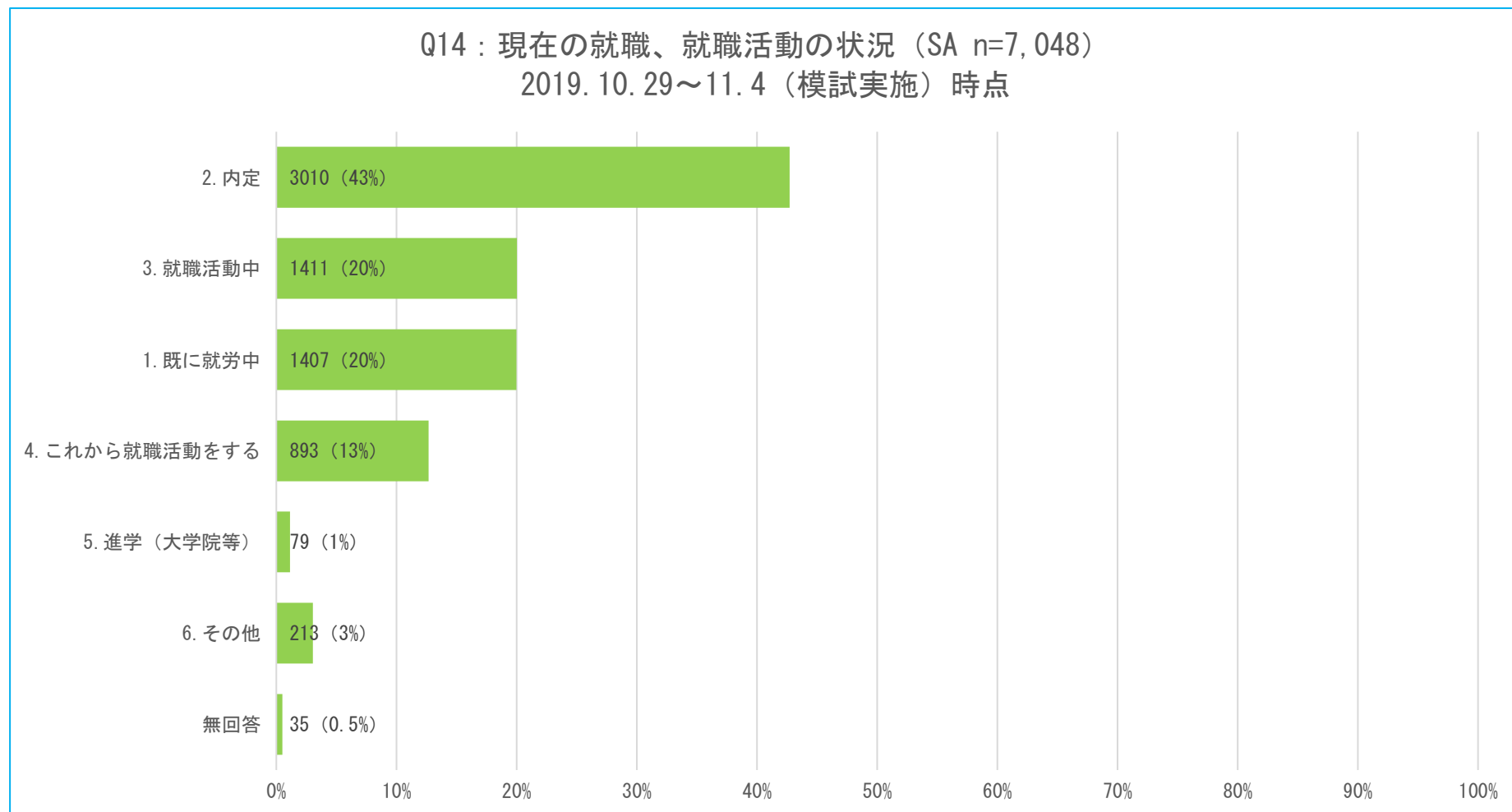
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑪

Q13：社会福祉分野への就労や学校（養成校）を目指した際、周囲に否定的な反応を示した者がいるか聞いたところ、「特に否定的な反応を示した人はいない」と回答した者が81%と最も多く、次いで「1. 親族が否定的だった」が12%であった。「友人・知人」「高校の先生」「実習先の職員」からそれぞれ否定的な反応を示した者がいると回答した者は、いずれも5%未満であった。



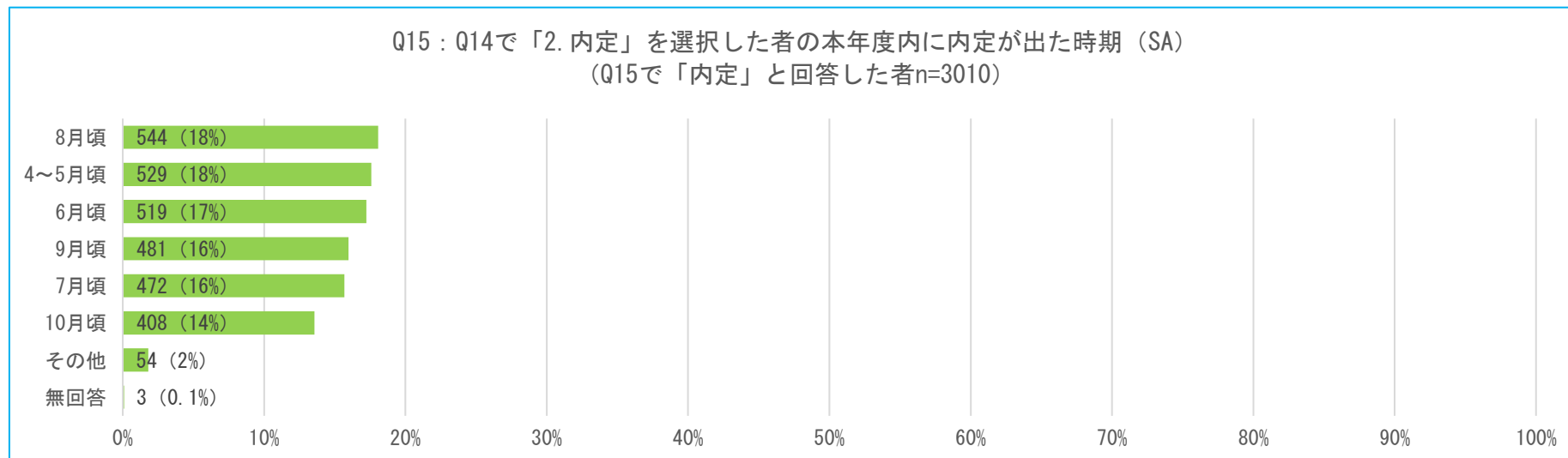
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑫

Q14：現在（2019.10.29～11.4（模試実施）時点）の就職、就職活動の状況について聞いたところ、「2.内定」が43%、「3.就職活動中」が20%、「1.既に就労中」が20%、「4.これから就職活動をする」が13%で、調査時点の「就労中」と「内定」の合計は63%であった。一方、調査時点である10月下旬において就職が決まっていない「就職活動中」と「これから就職活動をする」者の合計は33%であった。

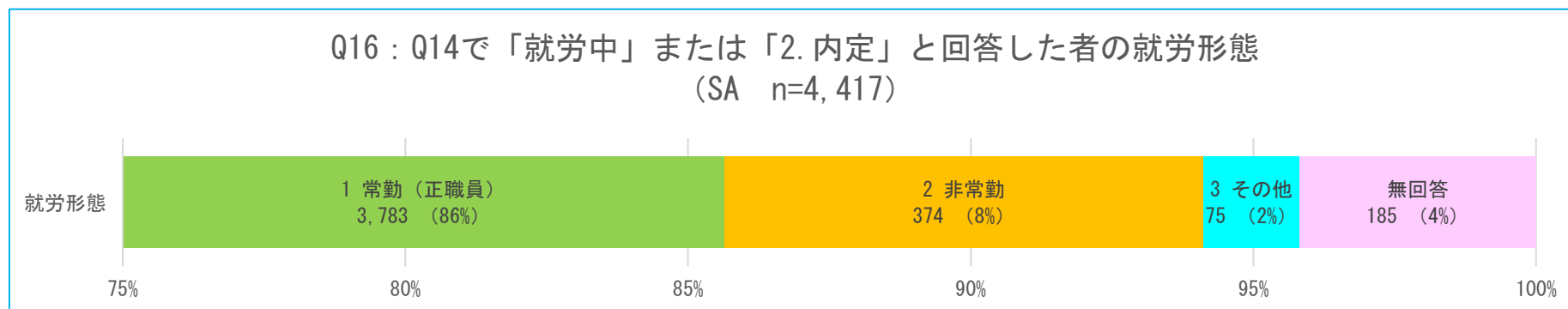


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑬

Q15：Q14で「2. 内定」と回答した者（n=3,010）に、今年度に内定が出た時期を聞いたところ、4月頃から9月頃までそれぞれ16%～18%の間で分散している。

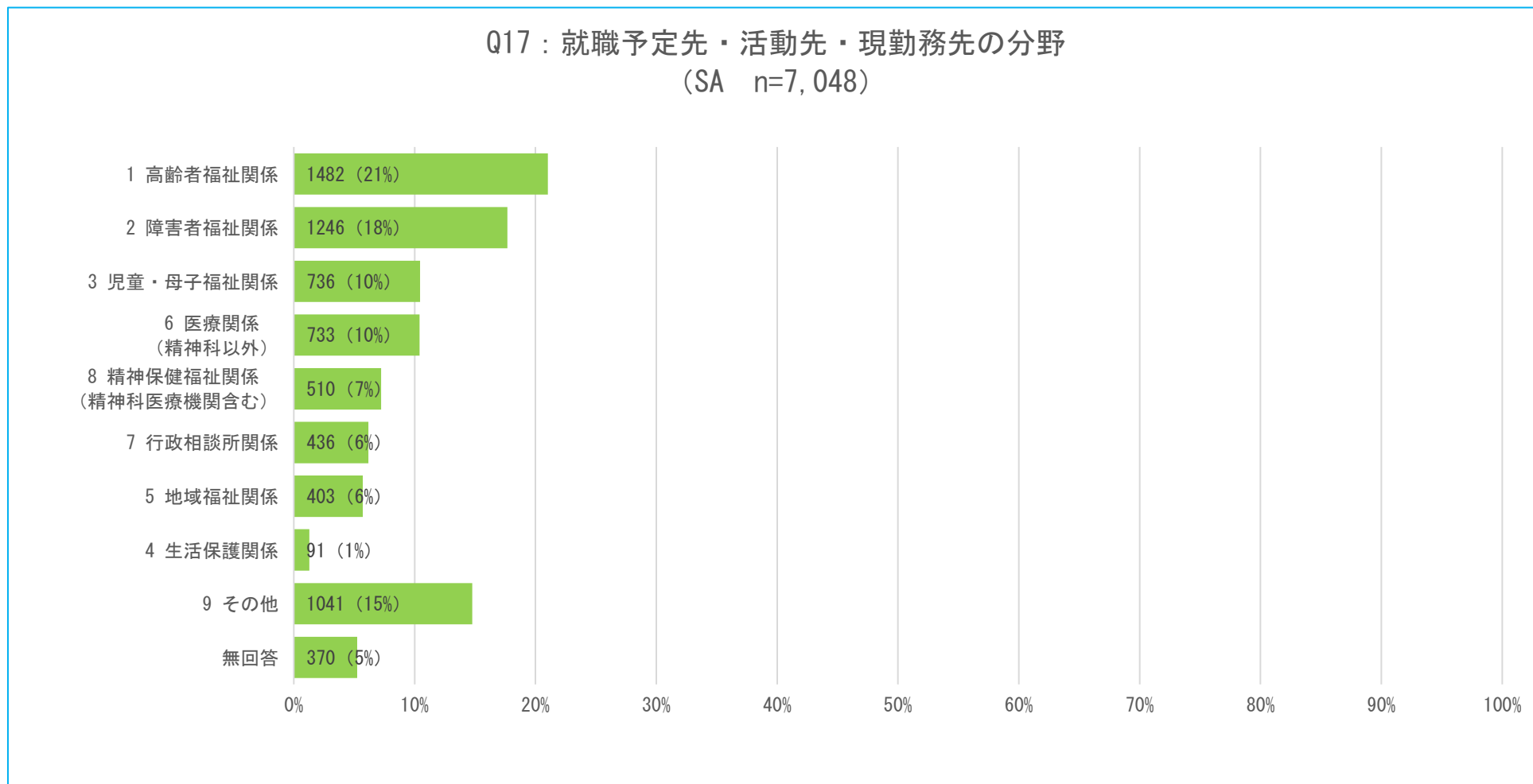


Q16：Q14で「1. 既に就労」「2. 内定」と回答した者（n=4,417）に、就労形態について聞いたところ、「1 常勤（正職員）」と回答した者は86%、「2 非常勤」は8%であった。



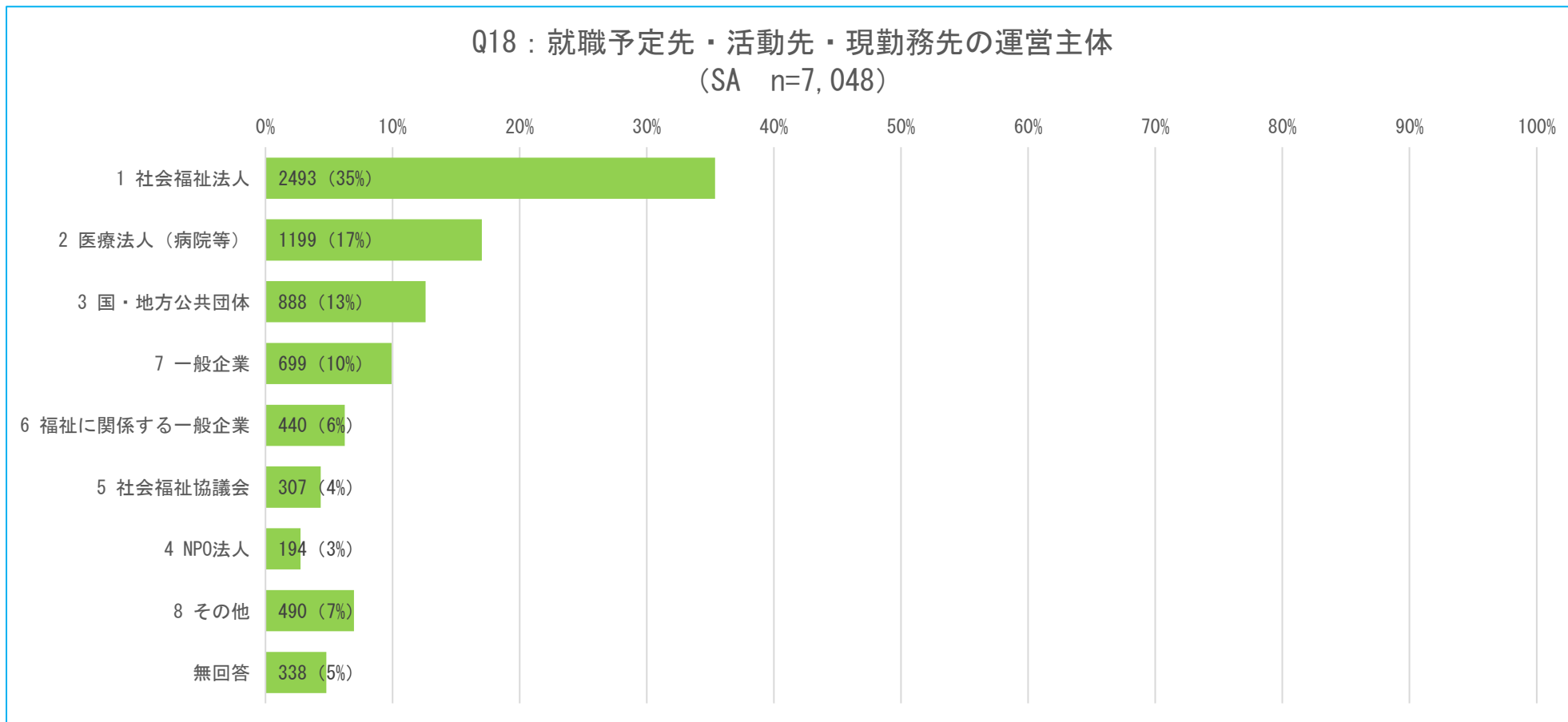
■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑭

Q17：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）の分野について聞いたところ、「1. 高齢者福祉関係」が21%で最も多く、次いで「2. 障害者福祉関係」18%、「3. 児童・母子福祉関係」10%、「6. 医療関係（精神科医外）」10%、「8. 精神保健福祉関係」7%、「7. 行政相談所関係」6%、「5. 地域福祉関係」6%、「4. 生活保護関係」1%の順となっている。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑮

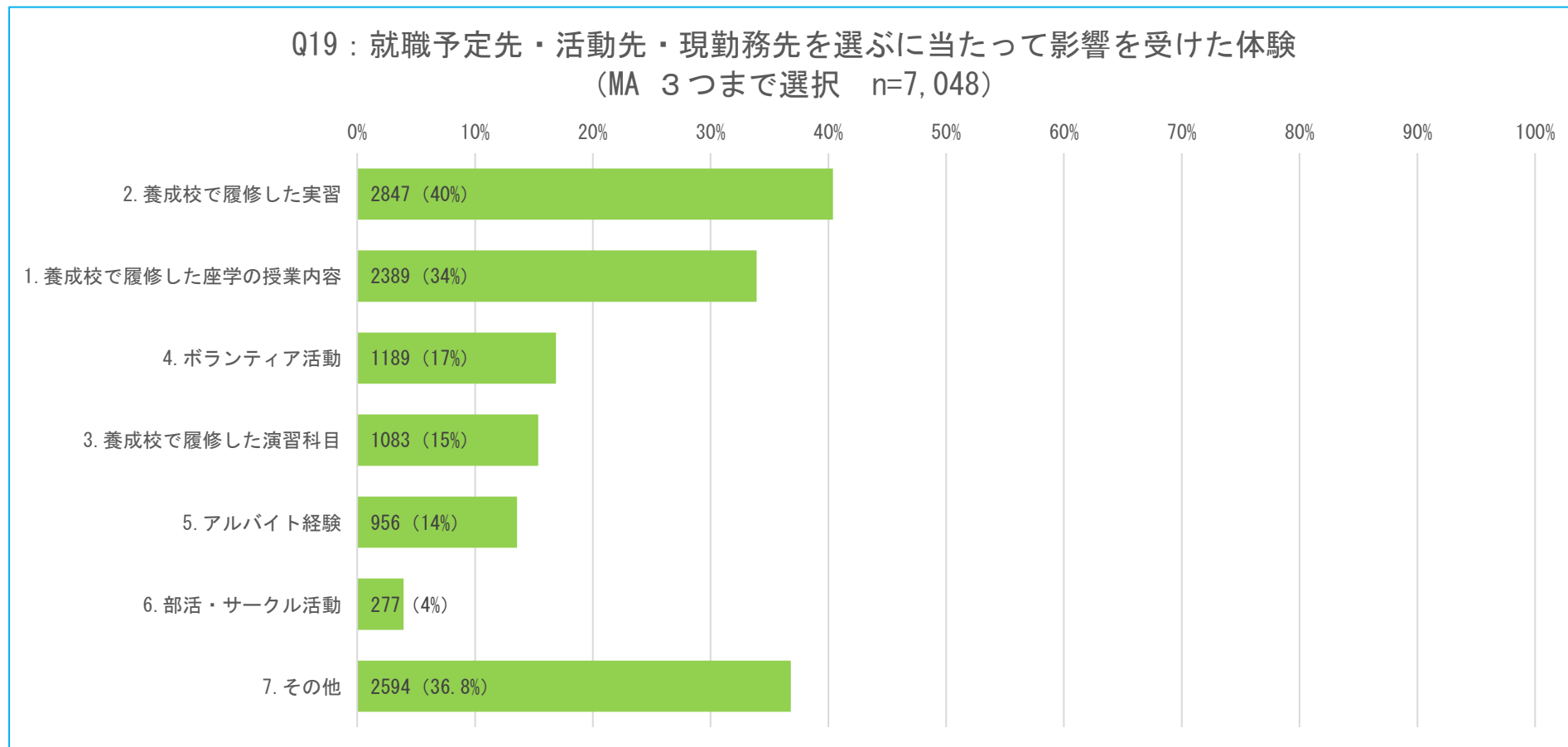
Q18：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）の運営主体について聞いたところ、「1. 社会福祉法人（社会福祉協議会を除く）」が35%で最も多く、次いで「2. 医療法人」17%、「3. 国・地方公共団体」13%、「7. 一般企業」10%、「6. 福祉に関する一般企業」6%、「5. 社会福祉協議会」4%、「4. NPO法人」3%の順となっている。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑬

Q19：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた体験を聞いたところ、「2. 学校（養成校）で履修した実習」が40%と最も多く、次いで「1. 養成校で履修した座学の授業内容」34%、「4. ボランティア活動」17%、「3. 養成校で履修した演習科目」15%、「5. アルバイト経験」14%の順であった。

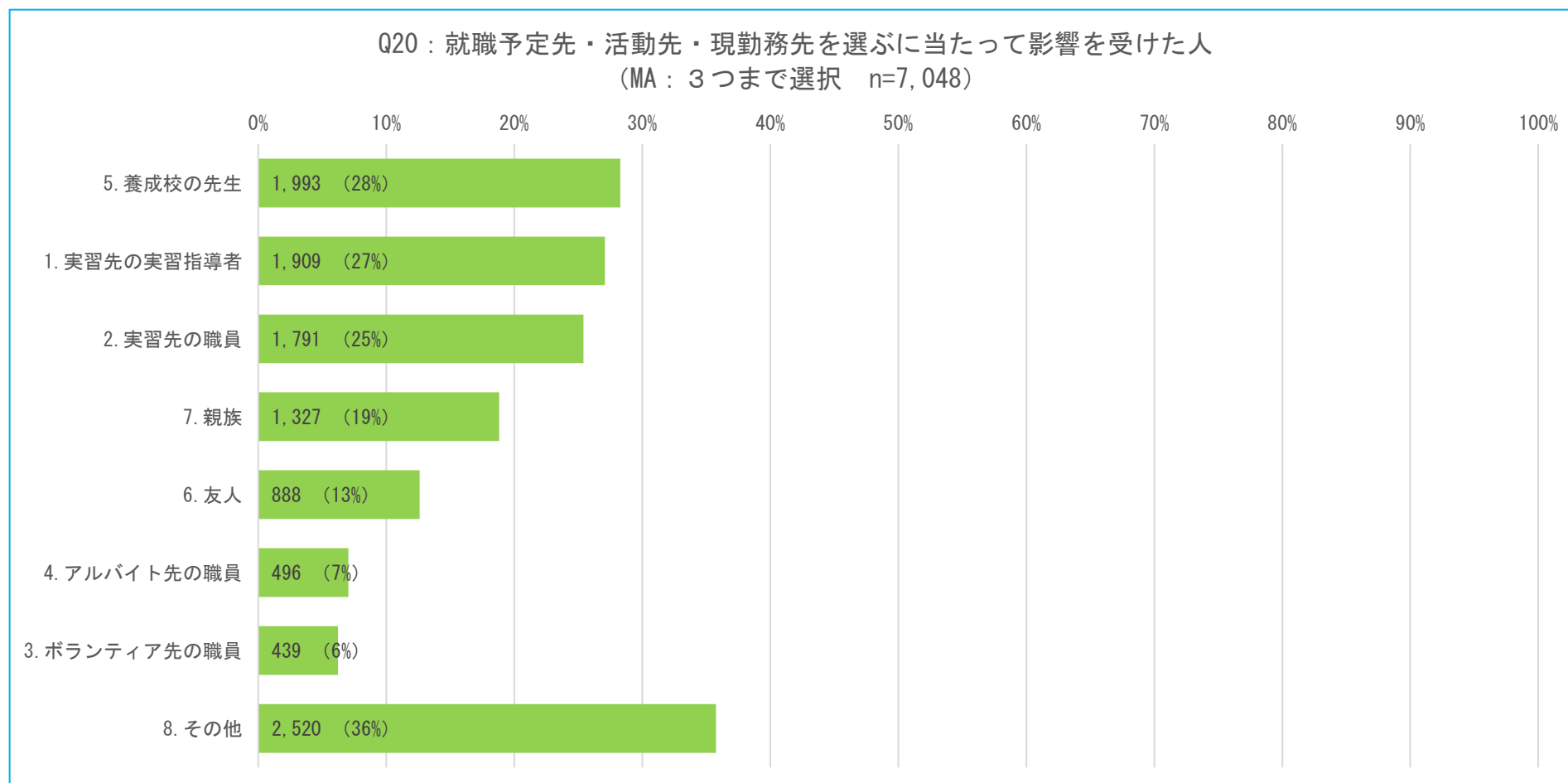
＜メモ＞ 2020年度の本事業本格実施に向け、【その他が多い要因を再検討する】



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑰

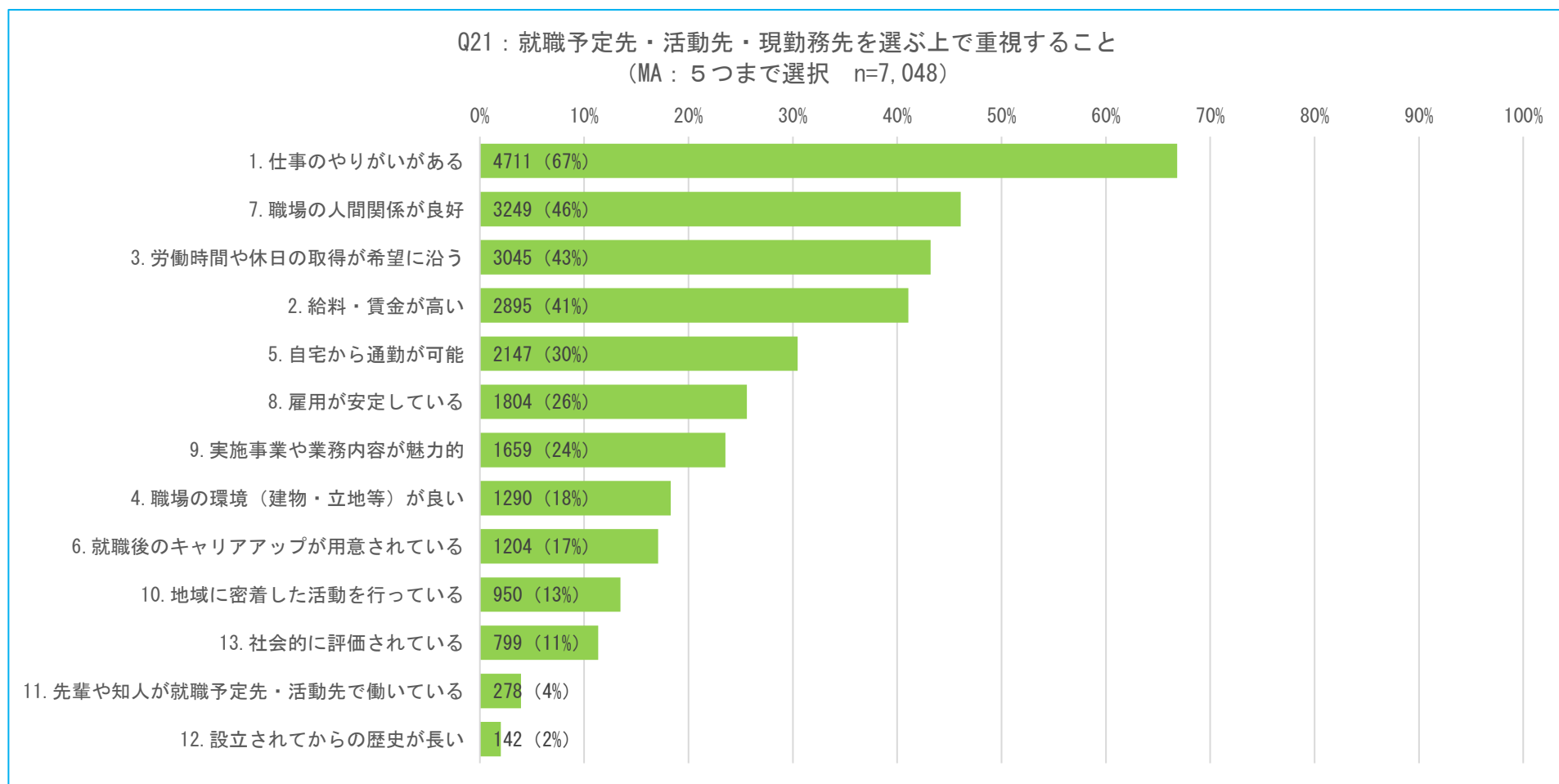
Q20：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）を選ぶにあたって影響を受けた人について聞いたところ、「5. 養成校の先生」、「実習先の実習指導者」、「2. 実習先の職員」と回答した者がそれぞれ28%、27%、25%となっており、次いで「7. 親族」19%、「6. 友人」13%の順となっている。

＜メモ＞ 【その他が多い要因を検討する】2020年度の本事業本格実施に向け、「利用者」等の項目が欠落していたので、以後の調査では再検討して必要項目を追加する予定。



■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑱

Q21：就職予定先・就職活動先（就労中の者は現勤務先）を選ぶ上で重視することについて聞いたところ、上位5項目では、「1. 仕事のやりがいがある」と回答した者が67%で最も多く、次いで「7. 職場の人間関係が良好」46%、「3. 労働時間や休日の取得が希望に沿う」43%、「2. 給料・賃金が高い」41%、「5. 自宅から通勤が可能」30%の順となっている。

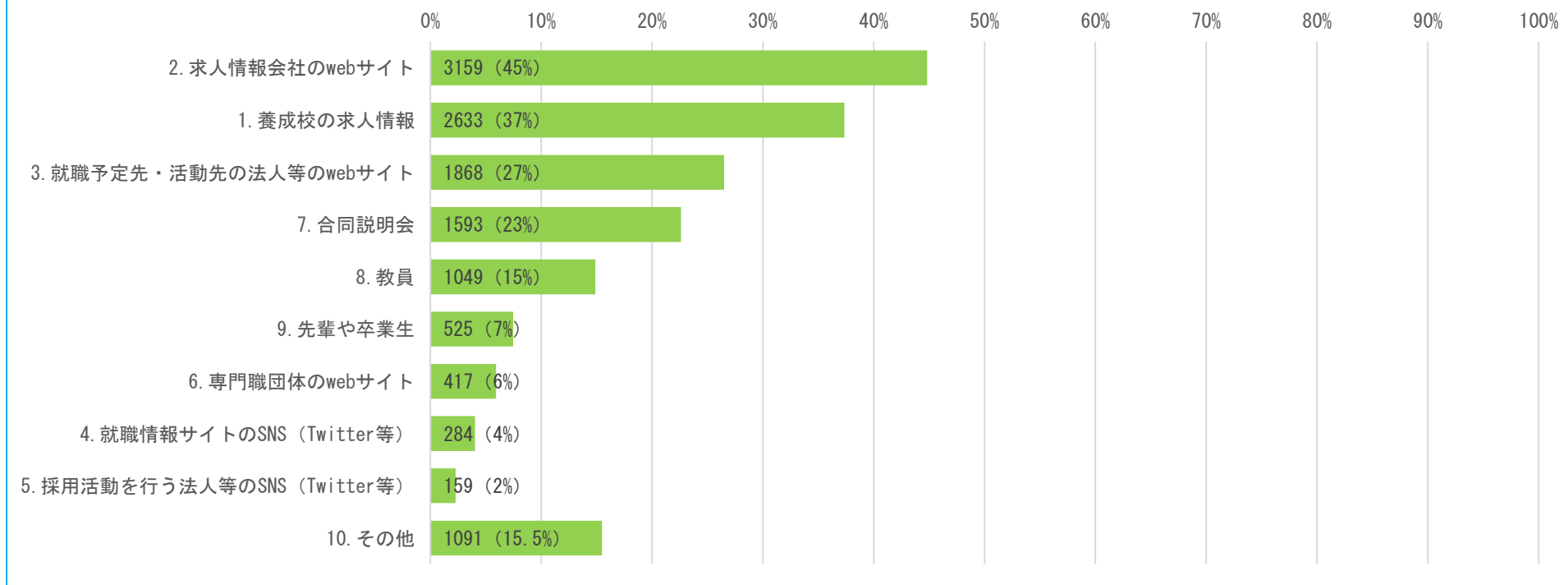


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑱

Q22：就職（就労中の者は転職）に関する情報をどこから得ているか聞いたところ、「2. 求人情報会社のwebサイト」と回答した者が45%と最も多く、次いで「1. 養成校の求人情報」37%、「3. 就職予定先・活動先の法人等のwebサイト」27%、「7. 合同説明会」23%、「8. 教員」15%の順であった。

＜メモ＞ 【その他が多い要因を検討する】 2020年度の本事業本格実施に向け、「都道府県の福祉人材センター」・「福祉の仕事（中央福祉人材センター）」・「ハローワーク」・「インターンシップ」・「都道府県の就職フォーラム」等の項目が欠落していたので、以後の調査では再検討して必要項目を追加する予定。

Q22：就職（転職）に関する情報をどこから得ているか
(MA n=7,048)

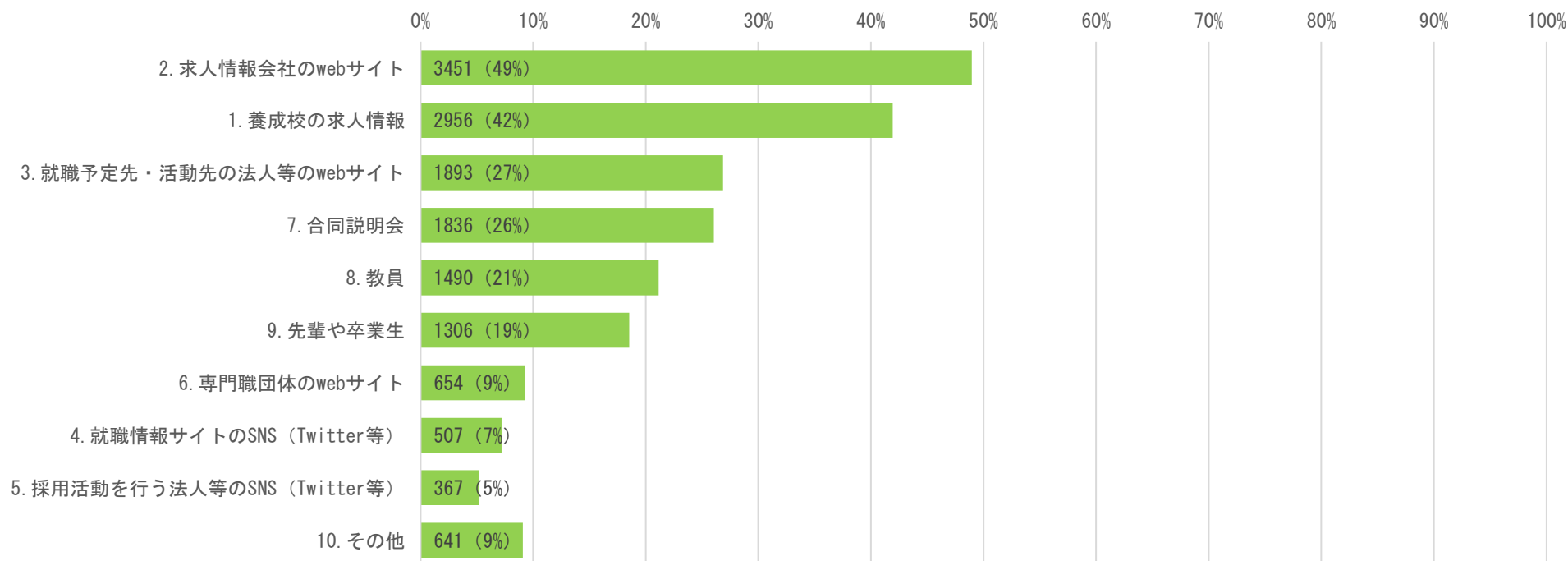


■ 模擬試験受験者への進路意向アンケート結果～その⑳

Q23：就職（就労中の者は転職）に関する情報をどこから得るために、便利だと思うことを聞いたところ、「2. 求人情報会社のwebサイト」と回答した者が49%と最も多く、次いで「1. 養成校の求人情報」42%、「3. 就職予定先・活動先の法人等のwebサイト」27%、「7. 合同説明会」26%、「8. 教員」21%、「9. 先輩や卒業生」19%の順であった。

<メモ> 2020年度の本事業本格実施に向け、「都道府県の福祉人材センター」・「福祉の仕事（中央福祉人材センター）」・「ハローワーク」・「インターンシップ」・「都道府県の就職フォーラム」等の項目が欠落していたので、以後の調査では再検討して必要項目を追加する予定。

Q23：就職（転職）に関する情報を得るために便利だと思うもの
(MA n=7,048)



社会福祉士・介護福祉士就労状況調査結果の実施概要

I 調査の目的

本調査は、社会福祉士、介護福祉士及び精神保健福祉士の資格取得者に対し、就労の状況を調べることにより福祉介護人材の動向の把握と処遇改善へ寄与することを目的として行った。

II 調査の実施主体

本調査は、社会福祉士、介護福祉士及び精神保健福祉士の登録機関である公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「試験センター」という。）が厚生労働省の協力のもとに実施した。

III 調査対象

1 地域：全国

2 調査対象：

公益財団法人社会福祉振興・試験センターの「社会福祉士及び介護福祉士登録者名簿（平成27年2月末日現在）」に登録された有資格者から、層化無作為抽出法※により調査客体の抽出を行い調査を実施した。資格ごとの調査対象者数、有効調査数、有効回収数及び回収率は以下の通りであった。

	(調査対象者数)	(有効調査数)	(有効回収数)	(回収率)
社会福祉士	26,000人	23,484人	9,000人	38.3%
介護福祉士	224,000人	206,805人	58,513人	28.3%

※ 層化無作為抽出法とは、母集団（登録者）の状況（「地域別」、「男女別」、「年代別」）にあわせて調査客体を抽出する方法。

IV 調査対象期日・調査実施期間

1 調査対象期日：平成27年11月1日現在とした。

2 調査実施期間：平成27年11月12日～12月13日

V 調査方法

1 調査票：別紙により実施した。

2 調査の方法：

インターネット使用が可能な方にはWEBでの調査を実施し、インターネット使用が困難な方にはあらかじめ郵送した紙の調査票により実施し、回答用紙を郵送により回収した。

VI 集計方法：

公益財団法人社会福祉振興・試験センターにおいて集計した。

なお、本報告書は速報版であり、集計にあたり、回収したデータのクリーニング作業を行っていないことを申し添える。

目 次

I	平成 27 年度の調査回答者の特徴	1
1	調査回答者の性別の年度比較	1
2	調査回答者の年齢の年度比較	1
II	社会福祉士・介護福祉士の状況	2
1	他の資格の保有状況	2
2	資格を取得した動機(複数回答)	2
3	資格取得によるメリット(複数回答)	3
4	調査回答者の就労の状況	4
5	福祉・介護・医療分野で就労している有資格者の状況	5
(1)	就労している分野の状況	5
(2)	就労している法人種別の状況	5
(3)	就労している職場での職種の状況	6
(4)	雇用形態の状況	6
(5)	1ヶ月あたりの夜勤回数	6
(6)	過去1年(平成26年)の年収	7
(7)	資格手当の状況	7
(8)	職場を探した方法(複数回答)	8
(9)	現在の職場の従事年数	8
(10)	過去1年間での職場の指示による外部研修(研究発表会、 学会などを含む)への参加状況	8
(11)	通算での福祉・介護・医療の分野での経験年数	9
(12)	現在の職場以前の就労の状況	9
(13)	過去に福祉・介護・医療の分野の仕事の経験のある人の状況	9
①	過去の職場の数	9
②	一つ前の職場を辞めてから今の職場に就職するまでの期間	9
③	前の職場を辞めた理由(複数回答)	10
④	前記の中で最も大きな理由	11
⑤	再び福祉・介護・医療分野の仕事に復職したきっかけや動機(複数回答)	12
(14)	現在の職場を選択した理由(複数回答)	13
(15)	現在の職場での就労継続の意向	14
①	就労継続意向ありの回答をした人の業務の希望	14
②	就労継続意向ありの回答をした人の雇用形態の希望	14
③	就労継続意向ありの回答をした人の職位の希望	14
(16)	現在の仕事の満足度	15
(17)	現在の仕事に対する意識	16

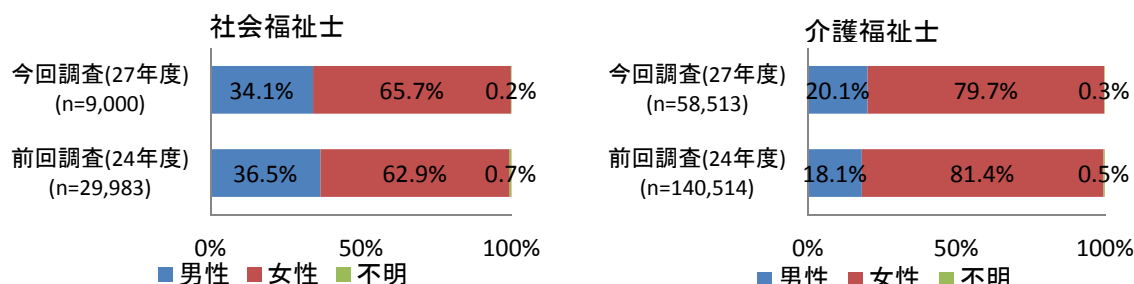
6	福祉・介護・医療分野以外で就労している有資格者の状況	17
(1)	現在の雇用形態の状況	17
(2)	決まって支給される給与の状況（年収）	17
7	現在仕事をしていない有資格者の状況	18
(1)	仕事をしていない理由（複数回答）	18
8	現在福祉・介護・医療分野以外で就労または仕事をしていない有資格者の状況	19
(1)	過去の福祉・介護・医療分野の経験	19
9	現在福祉・介護・医療分野の仕事をしていないが過去にその分野の経験のある人の状況	19
(1)	福祉・介護・医療の分野で仕事をしていた時期	19
(2)	福祉・介護・医療の仕事の通算経験年数	19
(3)	過去働いていた分野の状況（複数回答）	19
(4)	過去働いていた職場での職種の状況（複数回答）	20
(5)	過去働いていた雇用形態の状況	20
(6)	過去働いていた職場を辞めた理由（複数回答）	21
(7)	前記の中で最も大きな理由	22
(8)	現在の職場として福祉・介護・医療分野を選択しなかった理由（複数回答）	23
(9)	前記の中で最も大きな理由	24
(10)	福祉・介護・医療分野への復帰意欲	25
(11)	前記で復帰意欲がある人の復帰時期の目途	25
(12)	復帰意欲がある人の再就業する際の希望収入	26
(13)	復帰意欲がある人で再就業する際の希望雇用形態	27
(14)	復帰意欲がある人で再就業する際の希望勤務形態	27
(15)	復帰意欲がある人で再就業する際に重視すること（複数回答）	28
(16)	前記の中で最も重視すること	29
(17)	復帰意欲がある人で再就業する際に希望する支援策（複数回答）	30
10	現在福祉・介護・医療分野の仕事をしていないが過去にもその分野の経験のない人の状況	31
(1)	就職の際に福祉・介護・医療の分野の検討の状況	31
(2)	福祉・介護・医療の分野を選択しなかった理由（複数回答）	31
(3)	今後の福祉・介護・医療分野への就労希望	31
(4)	就労希望のある人で、就労時期の目途	32
(5)	就労希望のある人で、再就業する際の希望雇用形態	32
(6)	就労希望のある人で、再就業する際の希望勤務形態	33
(7)	就労希望のある人で、再就業する際に重視すること（複数回答）	33
(8)	前記の中で最も重視すること	35
(9)	就労希望のある人で、再就業する際に希望する支援策（複数回答）	36

社会福祉士及び介護福祉士就労状況調査結果概要

I 平成27年度の調査回答者の特徴

1 調査回答者の性別の年度比較

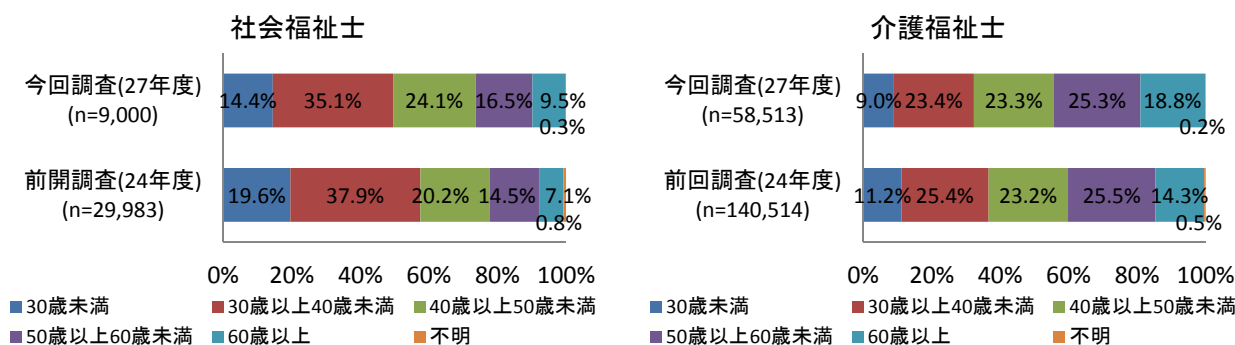
回答者の平成24年度との比較を性別で見ると、社会福祉士が「男性」34.1%（24年度36.5%）、「女性」65.7%（同62.9%）、介護福祉士が「男性」20.1%（同18.1%）、「女性」79.7%（同81.4%）と、前回調査と概ね同じ割合であった。



2 調査回答者の年齢の年度比較

回答者の平成24年度との比較を年齢で見ると、社会福祉士について「30歳未満」14.4%（24年度同19.6%）がやや減少した。「30歳以上50歳未満」59.2%（同58.1%）、「50歳以上60歳未満」16.5%（同14.5%）、「60歳以上」9.5%（7.1%）はほぼ同じ割合であった。

また、介護福祉士について、「30歳未満」9.0%（同11.2%）、「30歳以上50歳未満」46.7%（同48.6%）、「50歳以上60歳未満」25.3%（同25.5%）、「60歳以上」18.8%（14.3%）とほぼ同じ割合であった。



II 社会福祉士・介護福祉士の状況

1 他の資格の保有状況

他の資格の保有状況を見ると、社会福祉士については「社会福祉主事任用資格」が、介護福祉士については「ホームヘルパー」が最も割合が高かった。次いで高いのは、社会福祉士・介護福祉士とも「介護支援専門員」であった。

	社会福祉士 (N=9,000)	介護福祉士 (N=58,513)
社会福祉士	—	5.0%
介護福祉士	33.0%	—
介護支援専門員	44.7%	27.4%
ホームヘルパー(訪問介護員)	33.5%	58.2%
保健師	0.6%	0.1%
看護師	3.1%	0.7%
准看護師	0.9%	1.0%
助産師	0.2%	0.0%
理学療法士	0.3%	0.1%
作業療法士	0.2%	0.1%
言語聴覚士	0.2%	0.0%
臨床心理士	0.3%	0.0%
相談支援専門員	9.4%	1.9%
社会福祉主事	59.6%	14.6%
保育士	9.0%	6.9%
教科「福祉」の高等学校教育免許	2.1%	0.3%
弁護士	0.0%	0.4%
司法書士	0.0%	0.0%
この中に保有する資格はない	12.1%	21.3%
(無回答)	0.9%	3.0%

2 資格を取得した動機(複数回答)

資格を取得した動機を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「専門職としての知識・技術を得るため」が最も割合が高かった。次いで高いのは、社会福祉士・介護福祉士とも「就職・転職に有利なため」であった。

	社会福祉士 (N=9,000)	介護福祉士 (N=58,513)
卒業したら資格が取れた(受験できた)ため	26.5%	11.5%
専門職としての知識・技術を得るため	76.9%	71.5%
他の専門職から専門職として認めてもらうため	21.5%	16.7%
職場から資格取得を求められた(勧められた)ため	7.4%	24.1%
他の職員を指導する立場になる(なった)ため	6.5%	8.1%
社会的評価を得るため	24.1%	22.3%
就職・転職に有利なため	39.7%	41.1%
収入の安定のため	12.2%	24.9%
資格手当がほしいため	7.3%	21.2%
その他	7.0%	7.9%
(無回答)	0.6%	2.3%

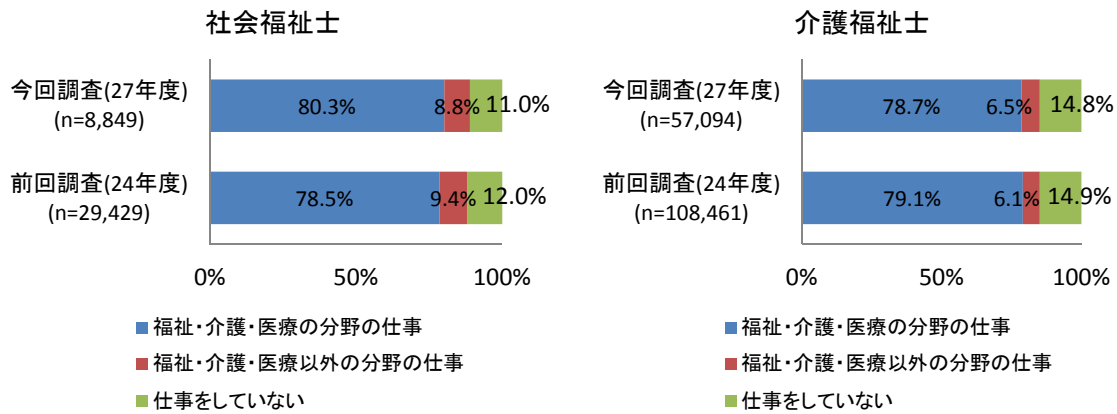
3 資格取得によるメリット(複数回答)

資格取得によるメリットを見ると、社会福祉士は「知識・スキルが体系化された」、介護福祉士は「給与・手当に反映された」の割合が最も高かった。次いで社会福祉士については「就職(転職・再就職を含む)の際に有利だった」、介護福祉士については「知識・スキルが体系化された」の割合が高かった。

	社会福祉士 (N=9,000)	介護福祉士 (N=58,513)
知識・スキルが体系化された	47.5%	44.0%
給与・手当に反映された	25.9%	47.0%
昇格・昇進につながった	6.0%	10.4%
正規職員として登用・採用された	18.4%	20.5%
法人・事業所内の異動・配置転換に役立った	11.4%	5.0%
就職(転職・再就職を含む)の際に有利だった	28.3%	24.8%
希望していた職種に就くことができた	22.2%	9.7%
利用者・家族からの信頼度が上がった	15.5%	16.6%
他職種との連携がしやすくなった	20.8%	10.2%
後輩等の指導に役立った	12.6%	16.5%
その他	5.5%	4.3%
特になし	15.0%	14.2%
(無回答)	0.7%	2.2%

4 調査回答者の就労の状況

回答者の平成24年度との比較を就労状況で見ると、社会福祉士について「福祉・介護分野で就労している」80.3%（24年度同78.5%）、介護福祉士については、「福祉・介護分野で就労している」78.7%（同79.1%）であり、前回調査と比べて概ね横ばいであった。



【回答者の内訳】

	社会福祉士	介護福祉士
有効回収数	9,000	58,513
有効回答数(無回答、集計不能を除く)	8,849 (100.0%)	57,094 (100.0%)
福祉・介護・医療分野の仕事をしている	7,102 (80.3%)	44,910 (78.7%)
福祉・介護・医療以外の分野の仕事をしている	776 (8.8%)	3,719 (6.5%)
過去に福祉・介護・医療分野の仕事の経験がある	442 (5.0%)	2,816 (4.9%)
過去に福祉・介護・医療分野の仕事の経験がない	293 (3.3%)	501 (0.9%)
無回答	41 (0.5%)	402 (0.7%)
仕事をしていない	971 (11.0%)	8,465 (14.8%)
過去に福祉・介護・医療分野の仕事の経験がある	817 (9.2%)	7,618 (13.3%)
過去に福祉・介護・医療分野の仕事の経験がない	131 (1.5%)	512 (0.9%)
無回答	23 (0.3%)	335 (0.6%)

5 福祉・介護・医療分野で就労している有資格者の状況

(1) 就労している分野の状況

就労している分野を見ると、社会福祉士については「高齢者福祉関係」の割合が最も高かった。

介護福祉士についても「高齢者福祉関係」の割合が最も高く、約84%であった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
高齢者福祉関係	43.7%	84.0%
障害者福祉関係	17.3%	7.7%
医療関係	14.7%	6.3%
その他	24.0%	1.5%
児童・母子福祉関係	4.8%	-
生活保護関係	0.8%	-
地域福祉関係	7.4%	-
行政相談所	3.4%	-
その他	7.5%	-
(無回答)	0.3%	0.5%

(注) ○○関係に含まれる具体的な施設種別は調査票問12を参照

(2) 就労している法人種別の状況

就労している法人種別を見ると、社会福祉士は「社会福祉協議会以外の社会福祉法人」が35.6%、「医療法人」が15.9%であった。

介護福祉士は「社会福祉協議会以外の社会福祉法人」が29.7%、「民間企業」が27.5%であった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
民間企業	10.9%	27.5%
社会福祉協議会	10.7%	7.5%
社会福祉協議会以外の社会福祉法人	35.6%	29.7%
医療法人	15.9%	19.7%
特定非営利活動（NPO）法人	3.9%	3.4%
社団法人・財団法人	3.5%	4.1%
協同組合（農協・生協）	1.2%	1.7%
地方自治体	13.3%	2.0%
その他	4.5%	2.1%
分からない	0.1%	1.7%
(無回答)	0.3%	0.7%

(3) 就労している職場での職種の状況

就労している職場の職種を見ると、社会福祉士については「相談員・指導員」の割合が最も高かった。介護福祉士については「訪問介護員・介護職員・生活支援員」の割合が最も高かった。

【社会福祉士】

	社会福祉士 (N=7,102)
経営者	2.1%
施設長・管理者	13.3%
相談員・指導員	34.0%
介護支援専門員	13.8%
障害者相談支援専門員	3.1%
児童自立支援専門員	0.1%
介護職員(ホームヘルパー含む)	6.3%
生活支援員	6.6%
事務職員	8.6%
その他	11.8%
(無回答)	0.3%

【介護福祉士】

	介護福祉士 (N=44,910)
訪問介護員・介護職員・生活支援員	56.5%
ユニットリーダー、サービス提供責任者など 職場のまとめ役	8.9%
主任、介護部門の長	5.1%
介護支援専門員	11.5%
生活相談員	4.4%
リハビリテーション職員	0.6%
事務職員	1.3%
施設長、事務所管理者	4.1%
経営者	1.1%
その他	6.0%
(無回答)	0.5%

(4) 雇用形態の状況

雇用形態を見ると、社会福祉士は「正規職員」の割合が介護福祉士と比較して高かった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
正規職員	82.8%	63.9%
非正規職員(常勤)	7.6%	9.7%
非正規職員(パート等)	9.1%	25.4%
派遣職員(派遣会社が雇用)	0.1%	0.6%
(無回答)	0.3%	0.4%

(5) 1ヶ月あたりの夜勤回数

夜勤の有無を見ると、「夜勤あり」の割合が、社会福祉士は11.3%、介護福祉士は37.0%であった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
夜勤あり	11.3%	37.0%
夜勤なし	88.4%	62.5%
(無回答)	0.2%	0.5%

(6) 過去1年(平成26年)の年収

過去1年(平成26年)の年収を見ると、全体では、社会福祉士は377万円、介護福祉士は260万円であった。

①労働者属性別

労働者属性別に見ると、性別では、社会福祉士は「男性」439万円、「女性」339万円、介護福祉士は「男性」328万円、「女性」240万円であった。

年齢階級別に見ると、社会福祉士については概ね年齢が高くなるほど年収は多くなっているが、介護福祉士については年齢による差はあまり見られなかった。

②雇用形態別

雇用形態別に見ると、「正規職員」では、社会福祉士は「男性」454万円、「女性」380万円、介護福祉士は「男性」355万円、「女性」302万円であった。「非正規職員(常勤)」では、社会福祉士は「男性」315万円、「女性」277万円、介護福祉士は「男性」248万円、「女性」228万円であった。

		社会福祉士		介護福祉士	
		(回答数)	(平均年収 万円/年)	(回答数)	(平均年収 万円/年)
全 体		7,102	377	44,910	260
性別	男性 (雇用形態別)	2,651	439	9,833	328
	正規職員	2,438	454	8,015	355
	非正規職員(常勤)	123	315	846	248
	非正規職員(パート等)	84	197	886	164
	派遣職員	0	0	40	218
	無回答	6	264	46	301
	女性 (雇用形態別)	4,447	339	35,035	240
	正規職員	3,443	380	20,661	302
	非正規職員(常勤)	416	277	3,509	228
	非正規職員(パート等)	563	146	10,527	125
派遣職員	8	237	223	185	
無回答	17	284	115	285	
無回答		4	386	42	235
年齢別	10代	0	0	23	213
	20代	1,053	295	3,874	256
	30代	2,443	346	9,885	260
	40代	1,814	408	11,305	270
	50代	1,247	475	12,605	278
	60代以上	533	348	7,183	213
	無回答	12	311	35	279

(7) 資格手当の状況

資格手当を見ると、資格手当があるのは社会福祉士で約30%、介護福祉士で約51%であった。平均額を見ると、社会福祉士の方が介護福祉士と比べ、資格手当の水準は高かった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
資格手当がある	30.1%	50.8%
資格手当がない	66.3%	41.2%
無回答	3.6%	8.0%
ある場合の平均額(円/月)	10,797	8,237

(8) 職場を探した方法(複数回答)

現在の職場を探した方法を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「友人・知人からの紹介」の割合が最も高かった。両者とも「ハローワークの無料職業紹介」の割合も高かった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
福祉人材センターの無料職業紹介	6.5%	2.9%
ハローワークの無料職業紹介	17.9%	24.9%
民間の職業紹介(10を除く)	1.5%	1.8%
法人等による就職説明会	3.3%	1.6%
法人等のホームページ	6.8%	2.4%
友人・知人からの紹介	23.7%	29.2%
前の職場からの紹介	2.5%	2.5%
学校・養成施設等での進路指導	11.9%	7.6%
新聞・折込チラシ	6.2%	11.9%
求人・就職情報誌、求人情報サイト	5.4%	8.0%
実習・施設見学・ボランティア	5.4%	4.8%
行政広報誌(区報・市報等)	8.1%	2.4%
その他	14.8%	11.2%
(無回答)	0.7%	1.0%

(9) 現在の職場の従事年数

現在の職場の従事年数を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「10年以上」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
1年未満	8.8%	9.9%
1年以上2年未満	9.6%	9.1%
2年以上3年未満	8.2%	7.1%
3年以上4年未満	7.3%	6.6%
4年以上5年未満	6.8%	5.4%
5年以上10年未満	23.2%	30.0%
10年以上	35.4%	30.2%
無回答	0.7%	1.6%

(10) 過去1年間で職場の指示による外部研修(研究発表会、学会などを含む)への参加の状況

職場の指示による外部研修の参加を見ると、社会福祉士で約68%、介護福祉士で約57%の人が外部研修に参加した。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
参加したことがある	68.0%	56.6%
参加したことがない	31.2%	42.5%
(無回答)	0.8%	0.9%

(11) 通算での福祉・介護・医療の分野での経験年数

福祉・介護・医療の分野での通算従事年数を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「10年以上」が6割を超えている。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
1年未満	0.7%	0.2%
1年以上2年未満	2.7%	1.0%
2年以上3年未満	2.7%	1.0%
3年以上4年未満	3.1%	1.4%
4年以上5年未満	4.6%	2.2%
5年以上10年未満	21.8%	31.2%
10年以上	63.7%	62.1%
無回答	0.6%	0.9%

(12) 現在の職場以前の就労の状況

現在の職場以前の就労状況を見ると、福祉・介護・医療の分野の経験がある者が社会福祉士・介護福祉士とも5割近くいる。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
福祉・介護・医療分野の仕事の経験	52.4%	48.8%
福祉・介護・医療分野以外の仕事の経験	22.1%	36.4%
現在の職場以外で働いたことはない (無回答)	23.6%	12.1%
	1.9%	2.7%

(13) 過去に福祉・介護・医療の分野の仕事の経験のある人の状況

①過去の職場の数

過去に福祉・介護・医療の分野での経験がある人の職場の数を見ると、平均で社会福祉士・介護福祉士とも2か所であった。

	社会福祉士 (N=3,724)	介護福祉士 (N=21,899)
過去の福祉・介護・医療分野の職場の数平均(ヶ所)	2.3	2.4

②1つ前の職場を辞めてから今の職場に就職するまでの期間

1つ前の職場を辞めてから今の職場に就職するまでの期間を見ると、平均で社会福祉士0年10ヶ月、介護福祉士1年1ヶ月であった。

	社会福祉士 (N=3,724)	介護福祉士 (N=21,899)
期間 平均	0年10ヶ月	1年1ヶ月

③前の職場を辞めた理由(複数回答)

前の福祉・介護・医療分野の職場を辞めた理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「法人・事業所の理念や運営のあり方に不満があった」の割合が最も高かった。次いで社会福祉士については「収入が少なかった」、介護福祉士については「職場の人間関係に問題があった」の割合が高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=3,724)	介護福祉士 (N=21,899)
法人・事業所の理念や運営の在り方に不満があった	33.4%	33.5%
職場の人間関係に問題があった	24.3%	29.4%
利用者やその家族との関係に問題があった	1.1%	1.8%
収入が少なかった	24.5%	28.0%
労働時間・休日・勤務体制が合わなかった	18.3%	21.4%
業務に関連する心身の不調(腰痛を含む)	13.8%	16.8%
転居の必要性(家族の転勤や地元に戻る等を含む)	10.4%	7.8%
出産・育児と両立できない	8.3%	8.4%
家族等の介護・看護	3.1%	4.8%
業務に関連しない心身の不調や体力の衰え	3.3%	5.2%
専門性や能力を十分に発揮できない仕事・職場だった	21.2%	14.7%
より魅力的な職種が見つかった(他の資格取得を含む)	20.6%	11.4%
友人に転職を誘われた	6.1%	7.4%
将来のキャリアアップが見込めなかった	23.1%	17.6%
同業種で起業・開業	2.9%	2.3%
人員整理、退職勧奨、法人解散等	3.9%	5.0%
その他	18.8%	16.5%
(無回答)	1.8%	3.0%

【社会福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

		社会福祉士																			
		回	答	の法	あ	に	収	が	労	一	や	出	家	で	む	友	込	同	人	そ	無
		答	数	の法	あ	に	収	が	労	一	や	出	家	で	む	友	込	同	人	そ	無
性別別	全体	3,724	33.4	24.3	1.1	24.5	18.3	13.8	10.4	8.3	3.1	3.3	21.2	20.6	6.1	23.1	2.9	3.9	18.8	1.8	
性別別	男性	1,193	38.7	24.4	1.2	30.8	14.7	10.4	7.0	1.5	1.2	2.4	23.8	24.5	6.5	28.5	4.7	4.2	19.3	1.6	
性別別	女性	2,531	30.9	24.3	1.1	21.6	20.1	15.4	12.9	11.5	4.0	3.7	20.0	18.9	5.8	20.5	2.0	3.8	18.5	1.9	
性別別	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	353	37.1	32.0	3.7	31.4	27.5	24.4	11.6	3.4	0.8	4.0	27.8	21.0	4.2	30.3	0.6	2.3	19.5	2.0	
	30代	1,375	34.0	24.9	1.2	30.9	22.0	15.3	12.4	11.4	1.4	3.6	21.1	22.5	5.1	26.3	1.7	2.8	15.5	1.3	
	40代	1,012	35.2	25.9	0.6	21.9	16.9	12.8	10.2	10.0	2.9	2.5	20.2	20.5	7.3	22.2	2.5	4.0	17.3	1.6	
	50代	662	32.9	21.3	0.9	18.3	13.7	10.1	8.8	5.0	6.8	3.0	23.3	20.1	8.8	20.1	4.4	5.9	18.7	2.1	
	60代以上	317	21.8	14.5	0.3	10.1	6.3	6.3	4.4	2.2	5.4	4.7	13.9	13.2	2.8	10.1	8.2	6.6	37.2	3.5	
雇用形態別	無回答	5	40.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
雇用形態別	正規職員	2,840	35.3	24.5	1.0	27.5	17.6	12.7	9.9	5.8	2.8	2.9	22.2	22.8	7.0	25.5	3.3	3.5	17.9	1.8	
雇用形態別	非正規職員(常勤)	380	36.6	26.8	1.8	20.3	22.1	18.4	10.0	3.4	2.6	23.2	18.7	4.2	19.7	0.8	6.3	20.0	1.1		
雇用形態別	非正規職員(パート等)	482	21.0	21.2	1.2	10.8	20.3	16.8	13.9	22.2	6.0	6.4	13.9	10.0	2.5	12.2	1.2	4.8	22.6	1.7	
雇用形態別	派遣職員	8	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	
雇用形態別	無回答	16	0.0	6.3	0.0	12.5	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	16.8	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	12.5	

【介護福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

		介護福祉士																			
		回	答	の法	あ	に	収	が	労	一	や	出	家	で	む	友	込	同	人	そ	無
		答	数	の法	あ	に	収	が	労	一	や	出	家	で	む	友	込	同	人	そ	無
性別別	全体	21,899	33.5	29.4	1.8	28.0	21.4	16.8	7.8	8.4	4.8	5.2	14.7	11.4	7.4	17.6	2.3	5.0	16.5	3.0	
性別別	男性	3,773	40.3	33.0	2.1	35.8	17.4	14.7	5.1	0.8	2.9	5.5	17.3	14.3	7.9	22.3	4.7	6.5	17.8	2.9	
性別別	女性	18,108	32.1	28.7	1.7	26.3	22.3	17.2	8.3	10.1	5.2	5.2	14.1	10.8	7.4	16.6	1.8	4.7	16.2	3.0	
性別別	無回答	18	22.2	27.8	0.0	33.3	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	33.3	0.0	5.6	11.1	0.0	11.1	22.2	5.6	
年齢別	10代	11	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	1,433	40.2	39.3	3.8	34.8	30.1	25.7	11.9	7.0	2.9	7.9	19.2	10.4	5.1	23.3	1.0	3.5	15.4	3.5	
	30代	5,491	33.2	30.7	1.9	30.5	24.8	17.0	11.2	17.0	2.3	5.2	14.8	11.8	6.2	19.7	1.2	3.4	14.9	2.5	
	40代	5,857	35.2	29.3	1.5	29.5	22.0	15.6	8.0	10.0	3.4	5.1	14.6	12.1	7.5	19.2	1.8	4.3	15.9	2.4	
	50代	5,792	34.3	29.8	1.8	28.9	20.3	17.6	5.5	3.1	7.4	4.5	14.9	12.2	8.8	17.3	2.8	5.5	15.7	2.6	
	60代以上	3,310	26.9	22.5	1.0	16.5	13.1	13.3	4.2	1.2	7.8	5.6	12.0	8.8	8.0	9.0	4.7	9.0	21.8	5.3	
雇用形態別	無回答	15	26.7	26.7	0.0	20.0	20.0	0.0	6.7	6.7	0.0	13.3	6.7	0.0	33.3	6.7	0.0	13.3	20.0		
雇用形態別	正規職員	13,537	36.9	31.0	1.8	33.0	21.6	16.3	7.2	4.7	3.5	4.8	16.5	12.9	8.5	21.5	3.2	4.5	16.1	2.7	
雇用形態別	非正規職員(常勤)	2,123	30.8	30.7	1.8	27.2	23.3	18.2	7.4	7.9	5.6	5.8	13.8	12.2	8.4	16.8	0.8	6.0	16.3	3.3	
雇用形態別	非正規職員(パート等)	6,016	26.8	25.3	1.7	17.0	20.3	17.0	9.2	17.1	7.6	5.9	10.7	7.9	4.9	9.1	0.5	5.8	17.1	3.5	
雇用形態別	派遣職員	173	42.8	34.1	3.5	24.9	27.2	26.6	9.8	7.5	0.6	5.8	15.6	5.8	5.2	15.0	0.6	4.6	22.0	2.3	
雇用形態別	無回答	50	36.0	24.0	2.0	24.0	12.0	10.0	4.0	2.0	0.0	10.0	12.0	8.0	2.0	16.0	28.0	4.0	22.0	8.0	

④前の職場をやめた理由として最も大きな理由

前記の中で最も大きな理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「法人・事業所の理念や運営のあり方に不満があった」の割合が高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=3,724)	介護福祉士 (N=21,899)
法人・事業所の理念や運営の在り方に不満があった	12.6%	12.2%
職場の人間関係に問題があった	7.1%	9.3%
利用者やその家族との関係に問題があった	0.1%	0.2%
収入が少なかった	6.3%	8.0%
労働時間・休日・勤務体制が合わなかった	3.1%	4.4%
業務に関連する心身の不調(腰痛を含む)	3.3%	4.1%
転居の必要性(家族の転勤や地元に戻る等を含む)	6.3%	3.8%
出産・育児と両立できない	3.5%	4.0%
家族等の介護・看護	0.9%	1.7%
業務に関連しない心身の不調や体力の衰え	1.1%	1.1%
専門性や能力を十分に発揮できない仕事・職場だった	4.1%	2.0%
より魅力的な職種が見つかった(他の資格取得を含む)	7.9%	3.7%
友人に転職を誘われた	1.5%	1.4%
将来のキャリアアップが見込めなかった	4.1%	2.3%
同業種で起業・開業	1.7%	1.2%
人員整理、退職勧奨、法人解散等	2.2%	2.4%
その他	9.6%	6.5%
(無回答)	24.5%	31.9%

【社会福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

	回答数	社会福祉士																			
		の法 在り 方事 業所 の理 念や 運 営 に 不 満 が あ っ た	あ ら わ な い 人 間 関 係 に 問 題 が あ っ た	利 用 者 や そ の 家 族 と の 関 係 に 問 題 が あ っ た	収 入 が 少 な か っ た	が 労 働 時 間 ・ 休 日 ・ 勤 務 体 制 が あ ら わ な か っ た	〜 業 務 に 関 連 す る 心 身 の 不 調 (腰 痛 を 含 む)	転 居 の 必 要 性 (家 族 の 転 勤 や 地 元 に 歸 る 等 を 含 む)	出 産 ・ 育 児 と 両 立 で き な い	家 族 等 の 介 護 ・ 看 護	業 務 に 関 連 し な い 心 身 の 不 調 や 体 力 の 衰 え	専 門 性 や 能 力 を 十 分 に 発 揮 で き な い 仕 事 ・ 職 場 だ っ た	よ り 魅 力 的 な 職 種 が 見 つ か っ た (他 の 資 格 取 得 を 含 む)	友 人 に 転 職 を 誘 わ れ た	将 来 の カ リ ア ア ッ プ が 見 込 め な か っ た	同 業 種 で 起 業 ・ 開 業	人 員 整 理 、 	そ の 他	無 回 答		
全体	3724	126	71	01	63	31	33	63	35	09	11	41	79	15	41	17	22	96	245		
性別別	男性	1193	152	70	00	97	28	29	43	05	04	13	42	90	18	54	33	28	112	184	
女性	2531	114	72	01	47	33	35	72	49	12	10	41	74	13	35	09	20	89	275		
無回答	0	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00		
年代別	10代	0	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00		
20代	353	102	102	06	76	57	54	74	17	00	06	42	76	06	59	03	11	110	198		
30代	1375	120	67	00	81	35	41	73	48	06	11	39	82	10	55	12	15	84	219		
40代	1012	145	78	00	58	30	28	65	41	11	13	45	75	18	33	16	20	93	232		
50代	662	140	71	00	41	24	21	53	18	23	08	39	92	23	29	24	36	80	278		
60代以上	317	88	35	00	35	06	19	16	19	03	16	41	54	16	13	38	44	177	382		
無回答	5	00	200	00	00	00	00	00	00	00	00	00	200	00	00	00	00	00			
雇用形態別	正規職員	2840	192	75	01	73	30	32	56	21	07	08	42	91	17	47	20	19	94	234	
非正規職員(常勤)	380	156	61	00	55	39	32	74	39	13	11	50	66	06	39	06	39	85	213		
非正規職員(パート等)	482	68	58	00	17	33	41	89	116	19	25	25	23	08	08	04	27	106	334		
派遣職員	6	167	167	00	00	00	00	333	00	00	00	167	00	00	00	00	00	167	00		
無回答	16	00	63	00	63	00	00	00	63	00	63	63	63	00	00	00	00	125	500		

【介護福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

	回答数	介護福祉士																			
		の法 在り 方事 業所 の理 念や 運 営 に 不 満 が あ っ た	あ ら わ な い 人 間 関 係 に 問 題 が あ っ た	利 用 者 や そ の 家 族 と の 関 係 に 問 題 が あ っ た	収 入 が 少 な か っ た	が 労 働 時 間 ・ 休 日 ・ 勤 務 体 制 が あ ら わ な か っ た	〜 業 務 に 関 連 す る 心 身 の 不 調 (腰 痛 を 含 む)	転 居 の 必 要 性 (家 族 の 転 勤 や 地 元 に 歸 る 等 を 含 む)	出 産 ・ 育 児 と 両 立 で き な い	家 族 等 の 介 護 ・ 看 護	業 務 に 関 連 し な い 心 身 の 不 調 や 体 力 の 衰 え	専 門 性 や 能 力 を 十 分 に 発 揮 で き な い 仕 事 ・ 職 場 だ っ た	よ り 魅 力 的 な 職 種 が 見 つ か っ た (他 の 資 格 取 得 を 含 む)	友 人 に 転 職 を 誘 わ れ た	将 来 の カ リ ア ア ッ プ が 見 込 め な か っ た	同 業 種 で 起 業 ・ 開 業	人 員 整 理 、 	そ の 他	無 回 答		
全体	21899	122	93	02	80	44	41	38	40	17	11	20	37	14	23	12	24	65	319		
性別別	男性	3773	156	99	03	118	27	31	27	01	07	09	21	43	13	37	26	36	83	265	
女性	18108	115	92	02	72	48	43	41	48	19	11	20	35	14	20	09	22	61	330		
無回答	18	56	00	00	11	00	11	00	00	00	00	00	56	00	00	00	00	11	500		
年代別	10代	1	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00		
20代	1433	112	156	03	84	57	46	62	33	04	15	18	31	06	27	06	15	64	260		
30代	5491	111	90	02	80	46	44	56	83	07	10	18	40	11	24	06	16	67	289		
40代	5857	132	93	02	92	47	37	38	47	12	09	20	39	13	26	09	23	67	295		
50代	5792	128	96	01	87	46	41	29	14	27	10	20	37	17	26	15	25	58	323		
60代以上	3310	118	66	02	42	27	40	15	04	27	14	24	29	17	10	23	41	71	431		
無回答	15	133	200	00	67	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	67	467		
雇用形態別	正規職員	13537	137	98	02	101	42	37	35	18	12	09	22	41	16	29	16	22	66	298	
非正規職員(常勤)	2123	117	98	01	73	44	42	40	33	17	15	18	40	15	23	03	27	68	326		
非正規職員(パート等)	6016	92	79	02	34	47	47	46	92	28	15	16	27	09	10	03	27	62	363		
派遣職員	173	133	92	06	52	64	81	46	40	00	06	29	12	00	40	00	23	81	295		
無回答	50	60	40	20	80	20	20	00	00	00	20	00	20	20	00	160	00	60	480		

⑤再び福祉・介護・医療分野の仕事に復職したきっかけや動機(複数回答)

再び福祉・介護・医療の分野の仕事に復職したきっかけや動機を見ると、全体では、社会福祉士は「働きがいのあるような職場が見つかった」、介護福祉士は「生活費を稼ぐ必要があった」の割合が最も高かった。

○労働者属性別

性別別に動機を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、女性の場合、「労働日等の希望にあった職場が見つかったから」が男性に比べて多かった。また、子どもの有無別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、子どもの有無による差はあまり見られなかった。

【全体】

	社会福祉士 (N=3,724)	介護福祉士 (N=21,899)
子育てや介護等が落ち着いた	7.2%	9.8%
心身の健康状態が良かった	5.5%	7.7%
新しい生活になれた	3.5%	3.4%
この仕事が好きだと思った	30.6%	37.0%
生活費を稼ぐ必要があった	35.5%	45.4%
その前の仕事よりも収入が向上する	18.4%	18.1%
働きがいのあるような職場が見つかった	38.9%	23.9%
労働日・時間・通勤等の希望にあった職場が見つかった	32.6%	34.6%
友人・知人の誘いがあった	17.7%	20.8%
(無回答)	6.1%	5.7%

【社会福祉士(性別別、年齢別、子どもの有無別、雇用形態別)】

	社会福祉士											
	回答数	たから	子育てや介護等が落ち着いた	心身の健康状態が良かった	新しい生活になれた	この仕事が好きだと思った	生活費を稼ぐ必要があった	その前の仕事よりも収入が向上する	働きがいのあるような職場が見つかった	労働日・時間・通勤等の希望にあった職場が見つかった	友人・知人の誘いがあった	無回答
全体	3,724	7.2	5.5	3.5	30.6	35.5	18.4	38.9	32.6	17.7	6.1	
性別別	男性	1,193	1.0	4.3	0.8	33.4	32.0	22.3	38.9	21.5	16.5	7.9
	女性	2,531	10.2	6.0	4.8	29.2	37.2	16.5	38.9	37.8	18.3	5.3
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	353	0.6	6.5	4.2	31.7	34.6	22.9	42.5	32.3	10.5	6.2
	30代	1,375	6.4	5.9	4.5	26.7	37.3	22.1	39.1	36.1	14.0	5.8
	40代	1,012	8.8	5.2	3.5	30.4	37.8	16.7	38.9	32.8	19.7	7.1
	50代	682	10.0	5.3	2.0	36.7	34.6	15.6	42.4	38.4	20.1	7.1
	60代以上	317	7.3	3.8	1.6	34.1	25.6	8.5	33.4	24.0	30.9	6.9
	無回答	5	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	100.0	0.0	0.0
配偶関係別	既婚	2,406	9.8	4.7	4.6	30.6	33.0	16.8	38.0	34.0	18.2	6.6
	未婚	1,001	1.1	7.6	1.1	29.6	36.3	21.8	41.8	29.0	15.9	5.9
	離婚別	314	7.3	4.5	2.5	33.8	52.2	19.7	36.9	32.5	19.7	3.8
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	いる	1,312	12.7	3.5	3.5	28.6	37.1	18.7	37.0	37.4	16.8	6.5
子どもの状況別	1人	449	9.6	5.8	4.7	29.8	41.4	19.4	37.4	37.9	16.5	6.9
	2人	649	14.9	2.5	2.9	29.0	35.3	18.8	36.4	36.2	17.1	6.2
	3人以上	214	12.6	1.9	2.8	24.8	33.6	18.8	37.9	40.2	16.4	6.5
	末子が0~5歳(未就学児)	608	11.5	4.6	3.1	24.8	37.8	19.9	37.7	32.5	16.6	5.6
	末子が6~12歳(小学生)	435	15.4	3.0	2.3	32.9	36.1	17.0	35.4	42.3	16.1	7.4
	末子が13~15歳(中学生)	143	11.9	0.7	2.8	26.6	35.7	21.0	43.4	28.7	19.6	4.2
	末子が16~18歳(高校生)	126	10.3	3.2	0.8	38.1	38.9	15.9	31.7	28.6	16.7	10.3
	いない	2,336	4.2	6.5	3.5	31.7	34.9	18.1	40.2	30.3	18.2	5.8
	無回答	76	5.3	7.9	2.9	33.3	26.3	31.6	19.7	17.1	11.8	6.2
雇用形態別	正規職員	2,840	4.6	5.1	2.5	31.2	35.0	20.8	39.6	28.4	16.4	6.9
	非正規職員(常勤)	380	7.9	5.5	4.7	31.3	38.4	14.2	47.1	41.1	19.2	4.5
	非正規職員(パート等)	482	22.0	7.5	8.3	27.0	36.5	7.9	29.3	51.2	24.5	2.3
	派遣職員	6	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	無回答	16	6.3	12.5	6.3	12.5	25.0	0.0	12.5	18.8	6.3	37.5

【介護福祉士(性別別、年齢別、子どもの有無別、雇用形態別)】

	介護福祉士											
	回答数	たから	子育てや介護等が落ち着いた	心身の健康状態が良かった	新しい生活になれた	この仕事が好きだと思った	生活費を稼ぐ必要があった	その前の仕事よりも収入が向上する	働きがいのあるような職場が見つかった	労働日・時間・通勤等の希望にあった職場が見つかった	友人・知人の誘いがあった	無回答
全体	21,899	9.8	7.7	3.4	37.0	45.4	18.1	23.9	34.6	20.8	5.7	
性別別	男性	3,773	1.0	7.2	1.3	35.0	41.8	21.0	27.9	22.4	18.5	7.5
	女性	18,108	11.6	7.8	3.8	37.4	46.2	17.6	23.1	37.1	21.3	5.3
	無回答	18	11.1	0.0	0.0	44.4	72.2	5.6	16.7	22.2	5.6	11.1
年齢別	10代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	1,433	5.1	10.8	6.6	41.0	46.8	20.2	24.8	34.8	15.8	5.0
	30代	5,491	12.4	7.7	5.1	38.0	47.2	17.4	22.1	38.0	18.5	4.5
	40代	5,857	11.8	6.9	3.3	36.0	48.2	19.4	24.0	35.8	19.6	5.4
	50代	5,792	8.6	7.8	2.1	33.6	45.7	21.2	25.8	32.1	22.3	6.2
	60代以上	3,310	6.1	7.8	1.4	43.3	36.5	10.7	23.1	30.9	26.5	7.6
	無回答	15	6.7	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	46.7	40.0	0.0	13.3
配偶関係別	既婚	13,961	13.2	6.7	4.2	36.9	41.5	16.9	24.6	37.1	22.2	5.4
	未婚	4,538	1.9	11.1	1.6	37.9	47.9	20.3	24.3	28.8	17.0	6.2
	離婚別	3,358	6.5	7.2	2.1	36.1	53.2	20.3	20.7	31.7	20.4	6.2
	無回答	42	9.5	9.5	2.4	29.6	57.1	14.3	26.2	50.0	11.3	24.1
	いる	7,125	18.5	4.9	4.5	35.9	49.9	18.6	22.2	41.1	19.9	4.5
子どもの状況別	1人	2,480	14.2	4.9	4.9	34.2	50.2	20.4	22.9	38.5	18.5	4.7
	2人	3,266	20.3	5.0	4.6	36.9	49.8	17.9	21.5	42.3	19.7	4.5
	3人以上	1,379	22.2	4.7	3.4	36.3	49.7	17.1	22.7	42.9	22.8	4.3
	末子が0~5歳(未就学児)	2,204	21.5	5.2	7.3	36.4	50.0	14.3	21.7	42.9	18.1	4.0
	末子が6~12歳(小学生)	2,414	23.0	4.3	4.2	37.9	49.1	16.4	20.4	42.3	20.3	4.4
	末子が13~15歳(中学生)	1,179	13.1	6.0	2.8	32.7	52.5	24.9	24.8	41.3	19.6	4.5
	末子が16~18歳(高校生)	1,328	10.7	4.7	2.0	34.1	48.9	24.1	24.1	35.7	20.6	5.6
	いない	13,496	5.6	9.0	2.9	37.3	43.4	18.1	25.0	31.8	21.2	6.0
	無回答	1,278	5.2	9.0	2.0	39.7	42.1	16.0	22.6	26.9	22.9	9.2
雇用形態別	正規職員	13,537	5.5	9.6	2.4	35.3	46.6	22.4	25.5	27.6	20.2	6.1
	非正規職員(常勤)	6,123	8.9	8.0	3.5	36.9	48.0	17.2	25.4	37.5	21.8	5.3
	非正規職員(パート等)	6,016	19.9	9.8	5.6	40.3	41.8	9.0	20.1	49.1	22.3	3.6
	派遣職員	173	7.5	8.7	2.3	48.0	50.9	14.5	13.3	47.4	6.9	5.2
	無回答	50	0.0	10.0	4.0	44.0	28.0	10.0	16.0	10.0	26.0	22.0

(15) 現在の職場での就労継続の意向

現在の職場での就労継続の意向を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「可能な限り現在の職場で仕事を続けたい」の割合が6割を越えている。

	社会福祉士 (N=7,102)	介護福祉士 (N=44,910)
可能な限り現在の職場で仕事を続けたい	67.3%	63.9%
別の職場に移って現在の仕事を続けたい	12.2%	12.4%
福祉・介護・医療分野から離れたたい	3.7%	6.4%
分からない	15.4%	15.9%
(無回答)	1.4%	1.4%

①就労継続意向ありの回答をした人の業務の希望

就労継続意向ありの回答をした人の業務の希望を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「現在と同じ業務を続けたい」の割合が7割を越えている。

	社会福祉士 (N=5646)	介護福祉士 (N=34,262)
現在と同じ業務を続けたい	70.7%	77.6%
他の業務に移りたい	17.6%	13.6%
起業したい	4.2%	2.3%
分からない	7.3%	5.9%
(無回答)	0.3%	0.6%

②就労継続意向ありの回答をした人の雇用形態の希望

就労継続意向ありの回答をした人の雇用形態の希望を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「現在と同じ雇用形態」の割合が7割を越えている。

	社会福祉士 (N=5646)	介護福祉士 (N=34,262)
現在と同じ雇用形態	80.0%	75.3%
現在とは別の雇用形態	10.7%	16.4%
経営者として働きたい	5.3%	3.2%
分からない	3.6%	4.5%
(無回答)	0.4%	0.6%

③就労継続意向ありの回答をした人の職位の希望

就労継続意向ありの回答をした人の職位の希望を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「現在と同じ職位で働きたい」の割合が5割を越えている。

	社会福祉士 (N=5646)	介護福祉士 (N=34,262)
現在より上位の職位で働きたい	32.3%	24.7%
現在と同じ職位で働きたい	54.4%	61.1%
現在より下位の職位で働きたい	4.1%	5.6%
分からない	8.8%	7.8%
(無回答)	0.5%	0.7%

(16) 現在の仕事の満足度

①社会福祉士 (N=7,102)

現在の仕事の満足度を見ると、社会福祉士については、「仕事の内容・やりがい」が「やや満足」又は「満足」との割合が、他の項目と比較してやや高かった。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
仕事の内容・やりがい	20.8%	27.0%	23.3%	17.3%	11.6%
キャリアアップの機会	12.4%	18.3%	41.6%	17.8%	10.0%
賃金	13.2%	19.6%	30.8%	21.8%	14.5%
労働時間・休日等の労働条件	19.6%	19.5%	28.1%	19.5%	13.3%
勤務体制	16.4%	18.1%	36.9%	17.4%	11.2%
人事評価・処遇のあり方	10.6%	17.8%	41.5%	19.5%	10.6%
職場の環境	14.6%	21.9%	34.2%	19.9%	9.5%
職場の人間関係・コミュニケーション	14.9%	24.0%	32.4%	19.0%	9.7%
雇用の安定性	19.0%	19.7%	33.8%	15.3%	12.2%
福利厚生	13.8%	18.6%	39.3%	17.9%	10.5%
教育訓練・能力開発	9.3%	17.7%	43.8%	19.6%	9.6%
職業生活全体	8.3%	20.5%	46.9%	17.6%	6.6%
(無回答)	4.5%				

②介護福祉士 (N=44,910)

現在の仕事の満足度を見ると、介護福祉士については、全ての項目で「普通」の割合が最も高く、全体的には差が見られなかった。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
仕事の内容・やりがい	18.1%	26.2%	34.0%	14.1%	7.6%
キャリアアップの機会	9.1%	14.7%	46.9%	17.3%	12.0%
賃金	9.9%	14.9%	26.8%	25.7%	22.7%
労働時間・休日等の労働条件	15.7%	18.5%	31.8%	20.2%	13.8%
勤務体制	12.6%	15.9%	38.1%	20.9%	12.5%
人事評価・処遇のあり方	8.6%	13.2%	39.5%	23.0%	15.7%
職場の環境	12.1%	20.1%	37.9%	19.5%	10.4%
職場の人間関係・コミュニケーション	13.8%	22.9%	36.4%	17.9%	9.0%
雇用の安定性	13.0%	18.5%	45.1%	15.0%	8.4%
福利厚生	10.6%	15.3%	42.6%	18.5%	12.9%
教育訓練・能力開発	6.9%	13.8%	46.3%	21.0%	12.1%
職業生活全体	6.5%	14.5%	50.7%	19.6%	8.6%
(無回答)	5.6%				

(17) 現在の仕事に対する意識

①社会福祉士 (N=7,102)

現在の仕事に対する意識を見ると、社会福祉士については「今の仕事でキャリアを追求したい」、「今の仕事が好きなのでこの先も続けたい」、「今の仕事に満足している」が「どちらかというと思う」又は「いつも思う」という割合が、他の項目と比較してやや高かった。また、「給料が下がっても今の仕事がしたい」が「全然そう思わない」又は「どちらかというと思わない」の割合が、他の項目と比較して高かった。

	いつも思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	全然そう思わない
給料が下がっても今の仕事がしたい	3.2%	13.1%	28.3%	26.9%	28.5%
今の仕事でキャリアを追求したい	12.6%	35.9%	29.9%	14.5%	7.0%
他の法人や会社に移っても、今の仕事に就きたい	10.3%	29.7%	35.4%	14.7%	9.9%
もし働かずにお金が得られても、今の仕事が好きなので、この先も続けたい	8.8%	27.6%	27.7%	15.7%	20.2%
私にとって今の仕事は、ライフワークとして理想的な仕事である	14.8%	40.4%	30.1%	10.0%	4.7%
私にとって今の仕事は、ライフワークとして理想的な仕事である	10.7%	30.2%	36.7%	14.7%	7.7%
今の仕事に満足している	9.5%	37.9%	30.0%	15.9%	6.7%
今の仕事に関わる雑誌や本を多く読んでいる	8.3%	28.2%	28.7%	23.4%	11.4%
今の仕事を一生続けたい	9.7%	27.0%	38.1%	14.2%	10.9%
子育てをしながらでも今の仕事を続けていきたい	12.7%	33.7%	33.9%	9.7%	10.0%
(無回答)	4.7%				

②介護福祉士 (N=44,910)

現在の仕事に対する意識を見ると、介護福祉士については、「今の仕事が好きなのでこの先も続けたい」が「どちらかというと思う」又は「いつも思う」という割合が、他の項目と比較してやや高かった。また、「給料が下がっても今の仕事がしたい」が「全然そう思わない」又は「どちらかというと思わない」の割合が、他の項目と比較して高かった。

	いつも思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	全然そう思わない
給料が下がっても今の仕事がしたい	2.3%	8.9%	26.3%	25.6%	36.8%
今の仕事でキャリアを追求したい	9.9%	29.1%	35.8%	14.8%	10.3%
他の法人や会社に移っても、今の仕事に就きたい	10.5%	30.8%	34.8%	12.7%	11.3%
もし働かずにお金が得られても、今の仕事が好きなので、この先も続けたい	7.9%	26.6%	29.2%	13.4%	22.9%
私にとって今の仕事は、ライフワークとして理想的な仕事である	14.1%	37.5%	31.4%	9.9%	7.1%
私にとって今の仕事は、ライフワークとして理想的な仕事である	8.8%	28.6%	38.0%	13.9%	10.7%
今の仕事に満足している	7.4%	31.6%	32.7%	17.0%	11.4%
今の仕事に関わる雑誌や本を多く読んでいる	5.6%	22.3%	32.0%	23.2%	16.8%
今の仕事を一生続けたい	8.7%	23.8%	37.3%	14.2%	16.0%
子育てをしながらでも今の仕事を続けていきたい	9.3%	26.8%	37.2%	11.3%	15.5%
(無回答)	8.1%				

6 福祉・介護・医療分野以外で就労している有資格者の状況

(1) 現在の雇用形態の状況

福祉・介護・医療分野以外で就労している有資格者の雇用形態を見ると、社会福祉士については「正規職員」が、介護福祉士については「非正規職員(パート等)」の割合が最も高かった。「正規職員」の割合は、福祉・介護・医療分野で就労している有資格者の割合よりも低いレベルとなっている。

	社会福祉士 (N=776)	介護福祉士 (N=3,719)
正規職員	63.0%	31.8%
非正規職員(常勤)	11.0%	12.6%
非正規職員(パート等)	21.1%	42.6%
派遣職員(派遣会社が雇用)	1.7%	3.2%
(無回答)	3.2%	9.8%

(2) 決まって支給される給与の状況(年収)

決まって支給される給与(年収)を見ると、全体では、社会福祉士は364万円(福祉・介護分野で就労している者377万円)、介護福祉士は214万円(同260万円)であり、福祉・介護分野で就労している有資格者と比べて低かった。

①労働者属性別

労働者属性別に年収を見ると、性別では、社会福祉士・介護福祉士とも、「男性」は社会福祉士449万円(同439万円)、介護福祉士341万円(同328万円)であり、福祉・介護分野以外の分野で就労している者のほうが高かった。一方で「女性」は、社会福祉士320万円(同339万円)、介護福祉士178万円(同240万円)であり、福祉・介護分野で就労している者のほうが高かった。

②雇用形態別

雇用形態別に年収を見ると、社会福祉士・介護福祉士ともに、「正規職員」は福祉・介護分野以外の分野で就労している者のほうが高かった。一方で「非正規職員」は、福祉・介護分野で就労している者のほうが高かった。

	社会福祉士			介護福祉士			
	(回答数)	(平均年収 万円/年)	均野(参考) 年で働いて いる者の平 均年収(万円)	(回答数)	(平均年収 万円/年)	均野(参考) 年で働いて いる者の平 均年収(万円)	
全 体	776	364	377	3,719	214	260	
性別	男性	257	449	439	787	341	328
	女性	519	320	339	2,929	178	240
	無回答	0	0	386	3	258	235
年齢別	10代	0	0	0	3	15	213
	20代	127	284	295	436	195	256
	30代	277	335	346	1,102	188	260
	40代	183	407	408	894	225	270
	50代	117	482	475	709	269	278
	60代以上	71	301	348	574	196	213
	無回答	1	120	311	1	0	279
雇用形態別	正規職員	489	465	411	1,182	348	317
	非正規職員(常勤)	85	260	286	470	218	232
	非正規職員(パート等)	164	127	152	1,584	112	128
	派遣職員	13	182	237	120	166	190
	無回答	25	321	279	363	259	289

7 現在仕事をしていない有資格者の状況

(1) 仕事をしていない理由(複数回答)

現在仕事をしていない有資格者の仕事をしていない理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「出産・子育て」の割合が最も高かった。
 仕事をしていない理由として、「出産・子育て」の割合は、社会福祉士・介護福祉士ともに、末子の年齢が低いほど高く、「末子が未就学児」の場合は、いずれも約95%となっている。

	社会福祉士 (N=971)	介護福祉士 (N=8,465)
定年退職したため	13.5%	16.5%
出産・子育て	43.8%	31.6%
家族等の介護・看護	11.7%	15.6%
病気・体調不良(腰痛を除く)	11.4%	16.2%
腰痛	2.0%	10.0%
働く必要が無い	7.9%	8.0%
就職先が見つからない	8.1%	6.4%
希望に合う求人がない	17.3%	14.3%
職種を変えるための研修等を受けている	4.5%	2.6%
その他	20.2%	20.1%
(無回答)	1.6%	2.4%

【社会福祉士(性別別、年齢別、子どもの有無別)】

		社会福祉士											
		回 答 数	定 年 退 職 し た	出 産 ・ 子 育 て	家 族 等 の 介 護 ・ 看 護	く 病 気 ・ 体 調 不 良 (腰 痛 を 除 く)	腰 痛	働 く 必 要 が な い	就 職 先 が 見 つ か ら な い	希 望 に 合 う 求 人 が な い	職 種 を 変 え る た め の 研 修 等 を 受 け て い る	そ の 他	無 回 答
全体		971	13.5	43.8	11.7	11.4	2.0	7.9	8.1	17.3	4.5	20.2	1.6
性別別	男性	145	35.2	1.4	11.7	12.4	1.4	9.7	13.1	21.4	8.3	32.4	2.8
	女性	826	9.7	51.2	11.7	11.3	2.1	7.6	7.3	16.6	3.9	18.0	1.5
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	95	1.1	47.4	0.0	16.8	1.1	1.1	8.4	14.7	10.5	30.5	1.1
	30代	397	0.0	74.3	2.5	7.8	1.3	5.0	5.5	17.1	4.5	13.9	1.0
	40代	139	0.0	56.8	10.8	17.3	5.0	8.6	13.7	23.7	7.9	22.3	0.7
	50代	98	0.0	2.0	42.9	10.2	2.0	9.2	11.2	22.4	1.0	33.7	4.1
	60代以上	242	53.7	1.7	19.4	12.4	1.7	14.5	7.9	12.8	1.7	19.8	2.5
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの有無別	いる	329	0.3	86.6	5.2	6.1	2.7	4.3	5.5	17.6	2.1	10.9	0.9
	末子が0~5歳(未就学児)	251	0.4	94.8	0.8	2.4	1.2	2.8	4.8	14.7	0.0	6.8	0.8
	末子が6~12歳(小学生)	56	0.0	69.6	14.3	12.5	7.1	12.5	8.9	32.1	12.5	19.6	1.8
	末子が13~15歳(中学生)	13	0.0	61.5	23.1	30.8	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	38.5	0.0
	末子が16~18歳(高校生)	9	0.0	0.0	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	33.3	0.0
	いない	609	18.7	22.8	14.4	14.3	1.3	10.0	9.0	17.2	5.9	25.9	2.0
無回答	33	48.5	3.0	27.3	12.1	6.1	6.1	18.2	15.2	3.0	6.1	3.0	

【介護福祉士(性別別、年齢別、子どもの有無別)】

		介護福祉士											
		回 答 数	定 年 退 職 し た	出 産 ・ 子 育 て	家 族 等 の 介 護 ・ 看 護	く 病 気 ・ 体 調 不 良 (腰 痛 を 除 く)	腰 痛	働 く 必 要 が な い	就 職 先 が 見 つ か ら な い	希 望 に 合 う 求 人 が な い	職 種 を 変 え る た め の 研 修 等 を 受 け て い る	そ の 他	無 回 答
全体		8,465	16.5	31.6	15.6	16.2	10.0	8.0	6.4	14.3	2.6	20.1	2.4
性別別	男性	950	32.1	0.1	14.1	17.8	11.1	8.5	15.2	17.6	3.9	26.4	3.5
	女性	7,503	14.5	35.6	15.8	16.0	9.9	7.9	5.3	13.8	2.4	19.3	2.2
	無回答	12	16.7	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	16.7
年代別	10代	8	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0
	20代	814	0.1	59.1	1.7	9.0	7.2	2.2	5.9	10.2	7.0	25.7	1.8
	30代	2,425	0.0	72.6	4.2	10.4	7.5	4.0	4.8	14.7	2.7	15.5	1.1
	40代	1,111	0.2	36.1	12.7	23.3	10.0	5.6	10.4	23.7	4.7	23.7	2.2
	50代	1,125	0.3	1.6	34.7	30.2	14.8	10.0	8.6	19.5	2.6	26.4	3.3
	60代以上	2,977	46.7	0.4	22.6	15.0	11.1	12.9	5.5	9.6	0.4	18.5	3.4
	無回答	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0
子どもの有無別	いる	2,159	0.3	77.4	6.9	9.6	8.2	3.3	4.2	17.1	2.5	11.9	1.4
	末子が0~5歳(未就学児)	1,461	0.2	94.3	2.7	3.6	6.1	2.5	2.0	12.9	1.0	7.4	1.0
	末子が6~12歳(小学生)	442	0.7	61.1	10.6	18.3	12.0	4.3	8.4	26.9	5.2	16.5	1.6
	末子が13~15歳(中学生)	107	0.0	16.8	23.4	25.2	11.2	2.8	6.5	21.5	4.7	33.6	2.8
	末子が16~18歳(高校生)	149	0.7	4.0	25.5	31.5	15.4	8.7	12.1	26.2	7.4	26.2	3.4
	いない	5,679	20.9	17.5	18.3	18.2	10.5	9.5	7.1	13.5	2.6	22.9	2.6
無回答	627	32.9	1.4	20.7	20.7	11.8	9.4	7.8	12.1	2.4	23.0	4.3	

8 現在福祉・介護・医療分野以外の就労または仕事をしていない有資格者の状況

(1) 過去の福祉・介護・医療分野の経験

現在福祉・介護・医療分野以外で就労している人または仕事をしていない有資格者の内、福祉・介護・医療分野の仕事の経験がある人は、社会福祉士で約72%、介護福祉士で約86%であった。

	社会福祉士 (N=1,747)	介護福祉士 (N=12,184)
ある	72.1%	85.6%
ない	24.3%	8.3%
(無回答)	3.7%	6.0%

9 現在福祉・介護・医療分野の仕事をしていないが過去にその分野の経験のある人の状況

(1) 福祉・介護・医療の分野で仕事をしていた時期

現在は福祉・介護・医療分野で仕事をしていないが過去にその分野の経験のある人で、仕事していた時期を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも約6年前までであった。

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
何年何ヶ月前まで(平均)	5年8ヶ月前まで	6年1ヶ月前まで

(2) 福祉・介護・医療の仕事の通算経験年数

その人達の福祉・介護・医療分野での仕事の通算経験年数を見ると、「10年以上」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
1年未満	2.7%	1.5%
1年以上2年未満	4.8%	2.4%
2年以上3年未満	4.7%	2.6%
3年以上4年未満	9.5%	5.1%
4年以上5年未満	7.6%	6.0%
5年以上10年未満	30.1%	35.3%
10年以上	38.4%	44.0%
無回答	2.2%	3.1%
通算経験年数(平均)	10年8ヶ月前まで	10年2ヶ月前まで

(3) 過去働いていた分野の状況(複数回答)

その人達の過去に福祉・介護・医療分野で働いていた時の分野を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「高齢者福祉関係」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
高齢者福祉関係	34.3%	74.2%
障害者福祉関係	16.7%	10.7%
医療関係	15.3%	10.9%
その他	0.0%	2.8%
児童・母子福祉関係	8.5%	-
生活保護関係	2.2%	-
地域福祉関係	7.2%	-
行政相談所	5.0%	-
その他	10.7%	-
(無回答)	0.0%	1.5%

(注1)〇〇関係に含まれる具体的な施設種別は調査票問29を参照

(4) 過去働いていた職場での職種の状況(複数回答)

過去働いていた職場での職種を見ると、社会福祉士については「相談員・指導員」、介護福祉士については「訪問介護員・介護職員・生活支援員」の割合が最も高かった。

【社会福祉士】

	社会福祉士 (N=1,259)
経営者	1.0%
施設長・管理者	11.4%
相談員・指導員	59.0%
介護支援専門員	17.2%
障害者相談支援専門員	3.0%
児童自立支援専門員	1.0%
介護職員(ホームヘルパー含む)	30.9%
生活支援員	18.3%
事務職員	18.3%
その他	18.3%
(無回答)	0.8%

【介護福祉士】

	介護福祉士 (N=10,434)
訪問介護員・介護職員・生活支援員	89.2%
ユニットリーダー、サービス提供責任者など 職場のまとめ役	18.5%
主任、介護部門の長	13.0%
介護支援専門員	12.4%
生活相談員	10.0%
リハビリテーション職員	2.0%
事務職員	4.6%
施設長、事務所管理者	3.8%
経営者	0.4%
その他	6.7%
(無回答)	1.7%

(5) 過去働いていた雇用形態の状況

過去働いていた雇用形態を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「正規職員」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
正規職員	67.2%	61.4%
非正規職員(常勤)	13.3%	9.8%
非正規職員(パート等)	17.1%	26.3%
派遣職員(派遣会社が雇用)	0.9%	0.7%
(無回答)	1.6%	1.8%

(7) 前記の中で最も大きな理由

過去働いていた職場を辞めた理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「出産・育児と両立できない」の割合が最も高かった。

性別別に離職理由を見ると、男性の場合に社会福祉士は「より魅力的な職種が見つかった(他の資格取得を含む)」、介護福祉士は「収入が少なかった」が最も高く、女性の場合は社会福祉士・介護福祉士とも「出産・育児と両立できない」が最も高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
法人・事業所の理念や運営の在り方に不満があった	7.5%	7.6%
職場の人間関係に問題があった	5.6%	7.4%
利用者やその家族との関係に問題があった	0.2%	0.2%
収入が少なかった	2.6%	4.8%
労働時間・休日・勤務体制が合わなかった	2.6%	3.3%
業務に関連する心身の不調(腰痛を含む)	4.8%	9.2%
転居の必要性(家族の転勤や地元に戻る等を含む)	9.6%	5.1%
出産・育児と両立できない	13.4%	11.9%
家族等の介護・看護	3.2%	6.2%
業務に関連しない心身の不調や体力の衰え	2.6%	3.3%
専門性や能力を十分に発揮できない仕事・職場だ	2.0%	0.8%
より魅力的な職種が見つかった(他の資格取得を含む)	6.0%	2.8%
友人に転職を誘われた	0.4%	0.3%
将来のキャリアアップが見込めなかった	1.4%	0.6%
同業種で起業・開業	0.3%	0.1%
人員整理、退職勧奨、法人解散等	1.7%	2.1%
その他	14.6%	7.9%
(無回答)	21.4%	26.4%

【社会福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

性別別	年齢別	雇用形態別	回答数	社会福祉士															回答数		
				の法在り・方業に不満があった	あつた	に利用者やその家族との関係	収入が少なかった	が労働時間・休日・勤務体制	業務に関連する心身の不調(腰痛を含む)	転居の必要性(家族の転勤や地元に戻る等を含む)	出産・育児と両立できない	家族等の介護・看護	業務や体力の衰え	専門性や能力を十分に発揮できない仕事・職場だ	より魅力的な職種が見つかった(他の資格取得を含む)	友人に転職を誘われた	将来のキャリアアップが見込めなかった	同業種で起業・開業		人員整理、退職勧奨、法人解散等	その他
全体			1,259	7.5	5.6	0.2	2.6	2.6	4.8	9.6	13.4	3.2	2.6	2.0	6.0	0.4	1.4	0.3	1.7	14.6	21.4
男性			256	8.6	5.5	0.0	4.7	2.3	3.5	17.0	0.4	2.0	0.0	7.1	1.2	2.3	0.8	2.0	25.4	22.7	
女性			1,003	7.3	5.7	0.2	2.1	2.7	5.2	11.8	16.7	3.5	2.4	1.8	4.6	0.2	1.2	0.2	1.6	11.9	21.0
無回答			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10代			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代			113	9.7	8.0	0.0	4.4	4.4	3.5	14.2	15.9	0.0	2.7	2.7	7.1	0.0	3.5	0.0	0.9	12.4	10.6
30代			508	7.3	4.3	0.4	3.0	2.8	5.9	12.6	23.0	1.4	1.8	2.0	5.3	0.0	2.2	0.0	0.8	11.2	16.1
40代			255	7.1	5.9	0.0	2.7	2.7	5.9	11.4	12.9	2.0	3.1	0.8	8.6	0.4	0.8	0.4	1.6	16.5	17.3
50代			138	6.5	6.0	0.0	4.3	2.9	4.3	5.1	0.7	5.0	2.2	1.4	7.2	2.2	0.7	1.4	3.6	14.5	26.8
60代以上			244	8.2	5.7	0.0	0.0	1.2	2.5	2.0	0.0	4.1	2.8	3.3	0.4	0.5	0.4	2.9	20.9	38.5	
無回答			1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
正規職員			236	6.4	3.4	0.0	5.1	1.7	3.4	3.0	0.8	0.8	0.4	15.7	1.3	3.4	0.4	1.0	3.0	21.2	
非正規職員(常勤)			57	12.3	10.5	1.8	3.5	3.5	5.3	3.5	0.0	0.0	3.5	5.3	7.0	1.8	1.8	0.0	3.5	8.8	28.1
非正規職員(パート等)			127	7.9	8.7	0.0	1.6	3.9	9.4	13.4	9.4	1.6	2.4	7.9	0.0	1.6	0.0	2.4	10.2	18.1	
派遣職員			9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	
無回答			13	0.0	18.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	61.5	

【介護福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

性別別	年齢別	雇用形態別	回答数	介護福祉士															回答数		
				の法在り・方業に不満があった	あつた	に利用者やその家族との関係	収入が少なかった	が労働時間・休日・勤務体制	業務に関連する心身の不調(腰痛を含む)	転居の必要性(家族の転勤や地元に戻る等を含む)	出産・育児と両立できない	家族等の介護・看護	業務や体力の衰え	専門性や能力を十分に発揮できない仕事・職場だ	より魅力的な職種が見つかった(他の資格取得を含む)	友人に転職を誘われた	将来のキャリアアップが見込めなかった	同業種で起業・開業		人員整理、退職勧奨、法人解散等	その他
全体			10,434	7.6	7.4	0.2	4.8	3.3	9.2	5.1	11.9	6.2	3.3	0.8	2.8	0.3	0.6	0.1	2.1	7.9	26.4
男性			1,329	9.0	9.9	0.7	11.1	2.2	8.3	0.9	0.2	4.1	3.5	1.0	4.1	1.0	1.2	0.3	4.4	12.0	26.6
女性			9,095	7.4	7.0	0.1	3.9	3.4	9.3	5.7	13.6	6.5	3.3	0.8	2.6	0.2	0.5	0.0	1.7	7.3	26.4
無回答			10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
10代			3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代			937	8.8	10.1	0.1	6.7	4.9	9.8	7.2	18.9	0.5	1.9	0.7	4.6	0.1	0.6	0.0	0.5	6.2	20.2
30代			3,152	5.8	6.8	0.2	6.5	3.5	8.4	8.5	25.9	1.0	2.4	0.7	3.2	0.3	0.6	0.0	1.0	6.5	18.4
40代			1,776	9.1	8.0	0.3	6.0	4.1	10.2	5.8	13.3	3.7	2.5	0.6	3.1	0.4	1.0	0.1	2.1	9.0	20.2
50代			1,574	10.9	8.6	0.1	3.6	4.1	12.1	2.4	0.4	13.0	4.3	0.8	2.9	0.6	0.8	0.1	2.3	8.5	24.6
60代以上			2,988	7.2	6.1	0.3	2.3	1.7	7.6	1.5	0.2	11.4	4.8	1.1	1.4	0.3	0.2	0.1	3.5	8.9	41.4
無回答			4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	
正規職員			809	7.9	6.4	0.2	14.2	4.4	6.2	2.1	4.1	2.3	1.2	0.5	8.7	1.4	1.2	0.1	2.5	12.9	23.6
非正規職員(常勤)			364	11.5	10.7	1.1	8.5	4.1	12.4	3.6	3.3	3.3	2.2	1.4	8.5	1.6	0.5	0.0	3.3	7.4	16.5
非正規職員(パート等)			1,362	5.8	10.1	0.2	5.2	4.6	12.3	4.8	11.5	4.4	4.9	2.2	0.4	0.4	0.1	0.0	5.1	7.1	21.4
派遣職員			98	10.2	15.3	0.0	7.1	8.2	14.3	2.0	3.1	4.1	5.1	0.0	4.1	0.0	1.0	0.0	3.1	8.2	14.3
無回答			183	8.2	8.2	0.0	7.7	2.2	5.5	1.6	1.6	4.4	1.6	2.7	4.9	0.5	0.5	0.5	0.5	9.3	39.9

(8) 現在の職場として福祉・介護・医療分野を選択しなかった理由(複数回答)

現在の職場として福祉・介護・医療分野を選択しなかった理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士ともに「仕事と家庭の両立が難しそうだった」の割合が最も高かった。

性別別に離職理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、男性の場合は「給与・諸手当が低かった」が最も高く、女性の場合は「仕事と家庭の両立が難しそうだった」が最も高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
仕事にやりがいがないと感じた	5.8%	6.8%
仕事に適性がないと感じた	8.1%	6.4%
給与・諸手当が低かった	14.5%	20.3%
正規職員としての採用がなかった	4.9%	4.2%
昇進等、将来の見通しがなかった	7.3%	6.3%
社会的な評価が低いと感じた	8.3%	11.2%
夜勤や休日出勤など不規則だった	12.4%	20.3%
業務の負担や責任が重すぎる	17.3%	21.9%
仕事がつく、体力に不安があった	14.9%	24.6%
仕事と家庭の両立が難しそうだった	30.9%	28.2%
自分の能力を伸ばすゆとりがなかった	7.4%	7.4%
その他	31.8%	26.8%
(無回答)	17.2%	20.0%

【社会福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

	回 答 数	社会福祉士													
		仕事にやりがいがないと感じた	仕事に適性がないと感じた	給与・諸手当が低かった	正規職員としての採用がなかった	昇進等、将来の見通しがなかった	社会的な評価が低いと感じた	夜勤や休日出勤など不規則だった	業務の負担や責任が重すぎる	仕事がつく、体力に不安があった	仕事と家庭の両立が難しそうだった	自分の能力を伸ばすゆとりがなかった	その他	無回答	
全体	1,259	5.8	8.1	14.5	4.9	7.3	8.3	12.4	17.3	14.9	30.9	7.4	31.8	17.2	
性別別	男性	256	9.4	9.0	22.7	7.8	12.1	11.7	9.8	15.2	9.0	6.6	10.5	46.9	13.7
	女性	1,003	4.9	7.9	12.5	4.2	6.1	7.5	13.1	17.8	16.5	37.1	6.6	27.9	18.1
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	113	5.3	15.0	20.4	4.4	8.8	11.5	15.0	25.7	17.7	31.9	10.6	29.2	12.4
	30代	508	5.1	9.4	19.9	4.5	9.3	8.9	15.6	19.3	15.2	42.7	7.1	24.8	14.6
	40代	255	6.7	9.4	12.9	5.5	7.1	9.0	14.5	17.6	16.1	34.1	8.6	32.2	16.1
	50代	138	10.1	5.8	13.0	9.4	9.4	8.7	12.3	11.6	17.4	7.2	37.0	18.8	
	60代以上	244	4.1	2.0	2.9	2.5	1.2	4.9	4.5	11.5	13.5	10.2	5.3	44.3	25.4
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雇用形態別	正規職員	236	5.5	10.2	27.1	7.6	13.6	11.0	11.4	13.1	11.0	11.0	10.2	50.0	5.9
	非正規職員(常勤)	57	14.0	14.0	21.1	15.8	14.0	8.8	21.1	35.1	28.1	24.6	15.8	28.1	5.3
	非正規職員(パート等)	127	7.1	12.6	14.2	6.3	8.7	11.8	21.3	26.8	26.0	35.4	9.4	37.0	5.5
	派遣職員	9	22.2	33.3	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	44.4	44.4	33.3	11.1	22.2	0.0
	無回答	13	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	53.8	23.1

【介護福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

	回 答 数	介護福祉士													
		仕事にやりがいがないと感じた	仕事に適性がないと感じた	給与・諸手当が低かった	正規職員としての採用がなかった	昇進等、将来の見通しがなかった	社会的な評価が低いと感じた	夜勤や休日出勤など不規則だった	業務の負担や責任が重すぎる	仕事がつく、体力に不安があった	仕事と家庭の両立が難しそうだった	自分の能力を伸ばすゆとりがなかった	その他	無回答	
全体	10,434	6.8	6.4	20.3	4.2	6.3	11.2	20.3	21.9	24.6	28.2	7.4	26.8	20.0	
性別別	男性	1,329	13.0	11.1	31.7	6.6	14.0	16.3	16.0	21.2	20.8	7.3	10.0	34.5	15.9
	女性	9,095	5.9	5.7	18.6	3.8	5.2	10.4	20.9	22.0	25.2	31.3	7.0	25.7	20.6
	無回答	10	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0	30.0	30.0	10.0	30.0	30.0	20.0
年齢別	10代	3	0.0	33.3	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20代	937	9.1	12.0	27.3	3.2	10.5	13.4	29.5	26.5	23.4	31.1	11.4	26.5	15.0
	30代	3,152	5.8	6.9	25.6	3.4	6.9	12.0	29.9	25.3	24.6	44.4	7.5	23.5	13.5
	40代	1,776	7.8	7.3	24.8	5.1	8.8	13.6	24.0	25.8	29.5	35.1	8.3	26.6	12.8
	50代	1,574	10.0	7.9	19.0	5.5	6.2	13.4	15.3	26.0	28.8	18.8	10.2	30.1	16.9
	60代以上	2,988	5.0	2.6	10.5	4.0	3.0	7.0	7.7	12.4	19.9	11.2	4.2	28.8	34.3
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
雇用形態別	正規職員	809	10.9	11.1	38.3	6.4	15.3	18.7	26.9	27.4	24.2	16.1	10.8	37.1	5.9
	非正規職員(常勤)	364	12.9	12.4	32.1	8.2	12.4	18.1	30.5	32.1	36.8	16.2	12.4	31.3	3.3
	非正規職員(パート等)	1,362	8.1	11.8	23.3	4.7	6.5	13.8	34.4	34.3	36.6	38.5	10.4	25.9	4.0
	派遣職員	98	17.3	22.4	35.7	11.2	11.2	21.4	37.8	42.9	39.8	27.6	15.3	19.4	4.1
	無回答	183	13.7	8.2	32.2	6.0	9.8	19.1	17.5	22.4	25.1	14.2	7.7	37.2	10.4

(9) 前記の中で最も大きな理由

現在の職場として福祉・介護・医療分野を選択しなかった理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士ともに「仕事と家庭の両立が難しそうだった」の割合が最も高かった。

性別別に離職理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、男性の場合は「給与・諸手当が低かった」が最も高く、女性の場合は「仕事と家庭の両立が難しそうだった」が最も高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=1,259)	介護福祉士 (N=10,434)
仕事にやりがいがないと感じた	1.6%	1.7%
仕事に適性がないと感じた	3.4%	1.7%
給与・諸手当が低かった	4.0%	6.2%
正規職員としての採用がなかった	1.7%	1.0%
昇進等、将来の見通しがなかった	1.0%	0.8%
社会的な評価が低いと感じた	1.4%	1.3%
夜勤や休日出勤など不規則だった	2.2%	3.5%
業務の負担や責任が重すぎる	5.6%	5.4%
仕事がつきつく、体力に不安があった	3.3%	6.9%
仕事と家庭の両立が難しそうだった	18.4%	15.2%
自分の能力を伸ばすゆとりがなかった	1.1%	0.8%
その他	22.0%	15.0%
(無回答)	34.4%	40.4%

【社会福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

	回 答 数	社会福祉士											無 回 答	
		仕事にやりがいがないと感じた	仕事に適性がないと感じた	給与・諸手当が低かった	正規職員としての採用がなかった	昇進等、将来の見通しがなかった	社会的な評価が低いと感じた	夜勤や休日出勤など不規則だった	業務の負担や責任が重すぎる	仕事がつきつく、体力に不安があった	仕事と家庭の両立が難しそうだった	自分の能力を伸ばすゆとりがなかった		その他
全体	1,259	1.6	3.4	4.0	1.7	1.0	1.4	2.2	5.6	3.3	18.4	1.1	22.0	34.4
性別別	男性	256	3.9	4.3	9.0	1.2	2.0	2.7	2.7	3.9	2.3	2.0	32.0	32.0
	女性	1,003	1.0	3.2	2.7	1.5	0.8	1.0	2.1	5.0	3.6	22.5	0.9	18.4
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	113	0.9	8.0	5.3	2.7	0.9	0.0	3.5	8.8	1.8	17.7	0.9	26.5
	30代	508	1.4	4.3	5.5	1.2	1.2	1.4	2.2	5.3	1.8	27.2	1.0	17.5
	40代	255	1.6	3.1	3.9	2.7	1.6	0.8	3.1	3.9	5.5	19.6	0.8	24.7
	50代	198	2.2	2.2	4.3	2.2	1.4	2.9	6.5	3.6	8.7	2.9	23.9	36.2
	60代以上	244	2.0	0.4	0.0	0.5	0.0	1.6	0.4	5.3	4.5	4.9	0.8	25.4
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雇用形態別	正規職員	236	2.1	3.8	8.9	3.8	3.0	1.3	3.0	3.8	2.5	3.8	2.5	36.4
	非正規職員(常勤)	57	1.8	7.0	1.8	5.3	1.8	5.3	8.8	12.3	3.5	8.8	3.5	12.3
	非正規職員(パート等)	127	1.6	5.5	3.1	2.4	0.0	0.8	3.1	7.9	6.3	21.3	0.0	25.2
	派遣職員	9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2
	無回答	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	69.2

【介護福祉士(性別別、年齢別、雇用形態別)】

	回 答 数	介護福祉士											無 回 答	
		仕事にやりがいがないと感じた	仕事に適性がないと感じた	給与・諸手当が低かった	正規職員としての採用がなかった	昇進等、将来の見通しがなかった	社会的な評価が低いと感じた	夜勤や休日出勤など不規則だった	業務の負担や責任が重すぎる	仕事がつきつく、体力に不安があった	仕事と家庭の両立が難しそうだった	自分の能力を伸ばすゆとりがなかった		その他
全体	10,434	1.7	1.7	6.2	1.0	0.8	1.3	3.5	5.4	6.9	15.2	0.8	15.0	40.4
性別別	男性	1,329	3.7	3.4	13.4	1.3	2.5	2.0	2.0	5.1	6.5	2.6	1.2	19.3
	女性	9,095	1.4	1.5	5.1	1.0	0.6	1.2	3.7	5.4	7.0	17.1	0.7	14.3
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	50.0
年齢別	10代	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	937	1.5	3.1	9.9	0.3	1.5	1.0	5.8	6.1	3.6	17.4	0.9	16.5
	30代	3,152	1.3	1.7	7.9	0.9	0.7	1.2	3.2	4.9	4.7	25.7	0.6	14.2
	40代	1,776	1.3	2.1	8.1	0.8	1.1	1.5	3.7	6.4	7.5	18.0	1.0	16.4
	50代	1,574	2.6	2.6	5.3	1.5	0.9	1.9	2.4	6.9	10.7	8.5	1.2	17.3
	60代以上	2,988	1.9	0.5	2.5	1.2	0.6	1.1	1.5	4.2	8.1	5.4	0.7	13.2
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0
雇用形態別	正規職員	809	2.3	3.3	18.2	1.4	2.2	1.4	4.2	5.3	3.3	1.0	24.8	27.2
	非正規職員(常勤)	364	4.1	4.9	11.8	1.1	1.4	2.7	5.8	7.1	10.7	6.9	1.6	19.5
	非正規職員(パート等)	1,362	2.0	3.2	7.1	1.1	0.6	1.8	6.5	8.5	10.2	18.5	1.3	13.4
	派遣職員	96	5.1	7.1	10.2	1.0	1.0	1.0	10.2	9.2	11.2	9.2	1.0	11.2
	無回答	183	2.7	1.1	10.9	1.6	0.5	2.2	2.7	5.5	6.0	3.8	1.1	15.3

(10) 福祉・介護・医療分野への復帰意欲

福祉・介護・医療分野への復帰意欲を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、「条件があえば働きたい」の割合が最も高い。

就労状況別に見ると、現在就労していない者は「是非働きたい」の割合が、福祉・介護・医療分野以外の分野で就労している者と比べて高かった。

	社会福祉士			介護福祉士		
	全体	外福 で社 働介 い護 てい 療 る分 野 以	者現 在 就 労 し て い な い	全体	外福 で社 働介 い護 てい 療 る分 野 以	者現 在 就 労 し て い な い
回 答 数	1,259	442	817	10,434	2,816	7,618
是非働きたい	13.8%	11.1%	15.3%	9.0%	5.8%	10.1%
条件があえば働きたい	52.0%	48.4%	54.0%	46.6%	45.7%	47.0%
働きたくない	11.7%	13.3%	10.8%	19.6%	21.7%	18.8%
分からない	18.0%	21.9%	15.9%	20.7%	23.7%	19.6%
(無回答)	4.4%	5.2%	4.0%	4.1%	3.1%	4.5%

(11) 前記で復帰意欲がある人の復帰時期の目途

復帰意欲がある人の復帰時期の目途を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「決めていない」の割合が最も高かった。

就労状況別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、現在就労していない者は「1年以内」「2年以内」の割合が、福祉・介護・医療分野以外で働いている者と比べて高かった。

○労働者属性別

年齢別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、20代～30代の者は「決めていない」の割合が他の年代と比べて高かった。また、子どもの有無別に見ると、子どもがいる場合、「決めていない」の割合が子どもがいない場合と比べて高かった。ただし、末子の年齢が高くなるに伴い、「1年以内」の割合が高かった。

【全体】

	社会福祉士			介護福祉士		
	全体	外福 で社 働介 い護 てい 療 る分 野 以	者現 在 就 労 し て い な い	全体	外福 で社 働介 い護 てい 療 る分 野 以	者現 在 就 労 し て い な い
回 答 数	829	263	566	5,799	1,450	4,349
1年以内	23.5%	14.4%	27.7%	25.5%	10.8%	30.5%
2年以内	10.0%	3.8%	12.9%	8.2%	5.8%	9.0%
決めていない	66.0%	81.4%	58.8%	65.8%	83.2%	60.1%
(無回答)	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.5%

【社会福祉士・介護福祉士((現在就労していない者)性別別、年齢別、配偶関係別、子どもの有無別)】

	社会福祉士					介護福祉士					
	回 答 数	1 年 以 内	2 年 以 内	決 め て い な い	無 回 答	回 答 数	1 年 以 内	2 年 以 内	決 め て い な い	無 回 答	
全体	566	27.7	12.9	58.8	0.5	4,349	30.5	9.0	60.1	0.5	
性別別	男性	53	52.8	9.4	35.8	1.9	373	46.9	2.9	49.9	0.3
	女性	513	25.1	13.3	61.2	0.4	3,974	28.9	9.6	61.0	0.5
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	50.0	0.0	50.0	0.0
年代別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	62	24.2	19.4	56.5	0.0	502	23.9	12.7	63.3	0.0
	30代	275	21.8	13.1	64.4	0.7	1,685	23.1	11.6	65.0	0.3
	40代	106	31.1	17.0	51.9	0.0	753	33.6	10.6	55.8	0.0
	50代	46	37.0	10.9	52.2	0.0	593	40.3	4.4	55.1	0.2
	60代以上	77	41.6	2.6	54.5	1.3	812	39.7	3.2	55.4	1.7
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	3	33.3	0.0	66.7	0.0
配偶関係別	既婚	470	22.3	13.6	63.4	0.6	3,522	26.7	9.4	63.4	0.5
	未婚	71	54.9	9.9	35.2	0.0	511	46.8	8.2	45.0	0.0
	離死別	24	54.2	8.3	37.5	0.0	308	46.8	5.5	46.4	1.3
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	8	12.5	12.5	75.0	0.0
子どもの状況別	いる	246	19.1	16.3	64.2	0.4	1,561	21.7	12.7	65.5	0.2
	(末子が0~5歳(未就学児))	194	15.5	14.9	69.1	0.5	1,101	17.1	13.7	68.9	0.3
	(末子が6~12歳(小学生))	39	30.8	20.5	48.7	0.0	301	25.9	11.6	62.5	0.0
	(末子が13~15歳(中学生))	8	37.5	12.5	50.0	0.0	69	40.6	5.8	53.6	0.0
	(末子が16~18歳(高校生))	5	40.0	40.0	20.0	0.0	90	48.9	8.9	42.2	0.0
	いない	308	33.8	10.4	55.2	0.6	2,580	35.3	7.1	57.1	0.5
無回答	12	50.0	8.3	41.7	0.0	208	37.0	5.3	56.3	1.4	

(12) 復帰意欲がある人の再就業する際の希望収入

復帰意欲がある人の再就業する際の希望収入を見ると、社会福祉士については「今あるいは直近の仕事と同程度」又は「こだわらない」の割合が高かった。介護福祉士については、「今あるいは直近の仕事より高い」の割合が高かった。

就労状況別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、現在就労していない者は「こだわらない」の割合が、福祉・介護・医療分野以外で働いている者と比べて高かった。

	社会福祉士			介護福祉士		
	全 体	外 福 祉 で 働 介 護 て い 療 分 野 以 下	者 現 在 就 労 し て い な い	全 体	外 福 祉 で 働 介 護 て い 療 分 野 以 下	者 現 在 就 労 し て い な い
回 答 数	829	263	566	5,799	1,450	4,349
今あるいは直近の仕事より高い	28.7%	36.5%	25.1%	39.5%	57.0%	33.7%
今あるいは直近の仕事と同程度	34.7%	35.0%	34.6%	30.2%	25.0%	31.9%
こだわらない	36.2%	28.5%	39.8%	29.3%	17.5%	33.3%
(無回答)	0.4%	0.0%	0.5%	0.9%	0.4%	1.1%

(13) 復帰意欲がある人で再就業する際の希望雇用形態

復帰意欲がある人で再就業する際の希望雇用形態を見ると、社会福祉士は「正規職員を希望」の割合が最も高かった。介護福祉士は「非正規職員を希望」の割合が最も高かった。

就労状況別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、福祉・介護・医療分野以外で働いている者は「正規職員を希望」の割合が、現在就労していない者や働いていない者と比べて高かった。

さらに、現在就労していない者の状況を年代別にみると、社会福祉士・介護福祉士とも、「正規職員を希望」の割合は20代が最も高い。一方で、「こだわらない」の割合は60代が最も高く、年代の上昇とともに高かった。

【全体】

	社会福祉士			介護福祉士		
	全体	外福祉 で働いて いる者 以外	者現在 就労し ていな い	全体	外福祉 で働いて いる者 以外	者現在 就労し ていな い
回答数	829	263	566	5,799	1,450	4,349
正規職員を希望	42.3%	62.4%	33.0%	31.7%	46.1%	26.9%
非正規職員を希望	30.0%	14.4%	37.3%	40.7%	28.8%	44.7%
派遣職員を希望	0.4%	0.0%	0.5%	1.9%	1.4%	2.1%
その他	3.6%	3.0%	3.9%	4.8%	3.3%	5.3%
こだわらない	23.4%	20.2%	24.9%	20.3%	20.2%	20.3%
(無回答)	0.2%	0.0%	0.4%	0.6%	0.3%	0.6%

【社会福祉士・介護福祉士(現在就労していない者)性別別、年齢別、配偶関係別、子どもの有無別】

	社会福祉士							介護福祉士						
	回 答 数	正 規 職 員 を 希 望	非 正 規 職 員 を 希 望	派 遣 職 員 を 希 望	そ の 他	こ だ わ ら な い	無 回 答	回 答 数	正 規 職 員 を 希 望	非 正 規 職 員 を 希 望	派 遣 職 員 を 希 望	そ の 他	こ だ わ ら な い	無 回 答
全体	566	33.0	37.3	0.5	3.9	24.9	0.4	4,349	26.9	44.7	2.1	5.3	20.3	0.6
性別別														
男性	53	54.7	13.2	0.0	3.8	26.4	1.9	373	42.6	22.5	0.3	4.0	30.6	0.0
女性	513	30.8	39.8	0.6	3.9	24.8	0.2	3,974	25.4	46.8	2.3	5.4	19.4	0.7
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年代別														
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	62	53.2	27.4	0.0	1.6	17.7	0.0	502	37.8	45.0	1.2	3.6	12.4	0.0
30代	275	35.6	43.3	0.7	2.5	17.5	0.4	1,685	26.2	51.9	2.1	4.2	15.5	0.2
40代	106	32.1	35.8	0.0	2.8	29.2	0.0	753	36.9	39.4	1.7	4.0	17.3	0.7
50代	46	37.0	19.6	0.0	8.7	34.8	0.0	593	31.7	38.1	2.5	5.1	21.9	0.7
60代以上	77	6.5	36.4	1.3	9.1	45.5	1.3	812	8.7	39.5	2.7	10.1	37.1	1.8
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
配偶関係別														
既婚	470	28.5	42.6	0.6	3.6	24.3	0.4	3,522	20.7	50.8	2.2	5.4	20.3	0.6
未婚	71	59.2	11.3	0.0	5.6	23.9	0.0	511	66.5	12.5	1.4	2.5	16.6	0.4
離死別	24	45.8	8.3	0.0	4.2	41.7	0.0	308	31.8	29.2	1.9	8.4	27.6	1.0
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8	25.0	25.0	0.0	37.5	0.0	12.5
子どもの状況別														
いる	246	31.7	48.0	0.4	2.8	17.1	0.0	1,561	22.6	53.7	2.3	4.7	16.5	0.1
（） 末子が0~5歳(未就学児)	194	31.4	50.0	0.5	2.6	15.5	0.0	1,101	19.9	57.9	2.1	4.7	15.3	0.1
末子が6~12歳(小学生)	39	23.1	46.2	0.0	2.6	28.2	0.0	301	25.2	48.8	2.7	3.7	19.6	0.0
末子が13~15歳(中学生)	8	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	69	34.8	40.6	2.9	2.9	18.8	0.0
末子が16~18歳(高校生)	5	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	90	37.8	28.9	3.3	10.0	18.9	1.1
いない	308	34.4	29.2	0.6	4.9	30.2	0.6	2,580	29.5	40.4	1.9	5.4	21.9	0.9
無回答	12	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	208	26.4	30.3	3.4	8.7	29.8	1.4

(14) 復帰意欲がある人で再就業する際の希望勤務形態

復帰意欲がある人で再就業する際の希望勤務形態を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「常勤(夜勤・早朝勤務なし)」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=829)	介護福祉士 (N=5,799)
常勤(夜勤・早朝勤務あり)	5.4%	7.1%
常勤(夜勤・早朝勤務なし)	51.5%	45.6%
非常勤	28.3%	33.5%
こだわらない	14.0%	11.9%
(無回答)	0.7%	1.9%

(15) 復帰意欲がある人で再就業する際に重視すること(複数回答)

復帰意欲がある人で再就業する際に重視することを見ると、社会福祉士については「やりたい職種・仕事内容」、「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」、「職場の雰囲気が良い」が高かった。

介護福祉士については「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」、「職場の雰囲気が良い」の割合が最も高かった。

【全体】

	社会福祉士			介護福祉士		
	全体	外福社 で働いて いる者	者現在 就労して いない	全体	外福社 で働いて いる者	者現在 就労して いない
回答数	829	263	566	5,799	1,450	4,349
やりたい職種・仕事内容	76.7%	75.7%	77.2%	54.5%	55.4%	54.2%
能力や資格が活かせる	62.4%	63.5%	61.8%	47.8%	47.4%	47.9%
教育研修や資格取得支援等が充実している	26.5%	28.1%	25.8%	24.0%	26.6%	23.1%
法人・事業所の理念や方針に共感した	38.4%	37.6%	38.7%	30.0%	32.4%	29.2%
賃金の水準が適当	54.5%	55.1%	54.2%	53.5%	59.5%	51.5%
働きぶりや能力が賃金や配置に反映される	28.0%	30.0%	27.0%	38.2%	41.9%	37.0%
労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う	72.0%	63.1%	76.1%	74.9%	72.4%	75.8%
通勤が便利	60.3%	52.1%	64.1%	63.5%	55.9%	66.1%
正規職員として働ける(可能性がある)	35.6%	44.5%	31.4%	28.5%	37.4%	25.6%
福利厚生が充実している	35.0%	36.5%	34.3%	41.9%	47.1%	40.2%
子育て支援が充実している	45.4%	26.6%	54.1%	42.6%	35.9%	44.8%
職場の雰囲気が良い	76.0%	70.0%	78.8%	80.0%	78.3%	80.6%
法人の安定性、将来性	32.4%	35.0%	31.3%	33.2%	34.9%	32.6%
その他	3.4%	6.5%	1.9%	3.5%	4.2%	3.3%
(無回答)	0.4%	0.4%	0.4%	1.0%	0.9%	1.0%

【社会福祉士(現在就労していない者)性別別、年齢別、配偶関係別子どもの有無別】

	回答数	社会福祉士 重視することとして該当するものを全て選択(複数選択可)														
		やりたい 職種・仕事 内容	能力・ 資格が活 かせる	教育研修 や資格取 得支援等 が充実し ている	法人・事 業所の理 念や方針 に共感し た	賃金等 の水準が 適当	働きぶり や能力が 賃金や配 置に反映 される	労働時間 ・休日、 勤務体制 が希望に 沿う	通勤が 便利	正規職員 として働 ける(可 能性があ る)	福利厚生 が充実し ている	子育て支 援が充実 している	職場の 雰囲気が 良い	法人の 安定性、 将来性	その他	無回 答
全体	566	77.2	61.8	25.8	38.7	54.2	27.0	76.1	64.1	31.4	34.3	54.1	78.8	31.3	1.9	0.4
性別別																
男性	53	77.4	79.2	26.4	37.7	52.8	32.1	52.8	45.3	39.6	39.6	9.4	67.9	39.6	3.8	1.9
女性	513	77.2	60.0	25.7	38.8	54.4	26.5	78.6	66.1	30.6	33.7	58.7	79.9	30.4	1.8	0.2
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別																
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	62	83.9	62.9	32.3	40.3	64.5	38.7	85.5	67.7	51.6	64.5	75.8	83.9	30.6	0.0	0.0
30代	275	76.7	60.0	27.6	36.0	62.2	27.6	82.2	66.9	34.5	37.1	74.9	84.7	30.5	0.7	0.4
40代	106	84.0	68.9	33.0	43.4	56.6	28.3	79.2	73.6	33.0	32.1	49.1	79.2	34.9	4.7	0.0
50代	46	80.4	56.5	10.9	47.8	50.0	28.3	67.4	50.0	26.1	23.9	0.0	69.6	43.5	2.2	0.0
60代以上	77	62.3	61.0	13.0	35.1	16.9	13.0	48.1	46.8	5.2	9.1	1.3	58.4	22.1	3.9	1.3
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶関係別																
既婚	470	78.1	61.5	23.4	37.9	54.0	26.0	79.6	65.3	29.1	33.6	61.9	80.0	29.6	0.9	0.4
未婚	71	73.2	63.4	40.8	43.7	62.0	35.2	62.0	56.3	50.7	45.1	12.7	77.5	43.7	8.5	0.0
離死別	24	75.0	66.7	29.2	41.7	33.3	25.0	50.0	66.7	20.8	16.7	20.8	62.5	29.2	4.2	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの有無別																
いる	246	78.5	56.9	24.4	35.0	56.9	24.4	81.7	69.5	28.0	31.3	78.0	82.5	26.8	0.8	0.0
・未子 が0~5歳(未就学児)	194	75.3	55.2	24.7	30.4	56.7	23.7	83.5	70.1	26.8	33.5	87.1	83.0	24.2	0.5	0.0
・未子 が6~12歳(小学生)	39	87.2	61.5	25.6	46.2	59.0	25.6	87.2	76.9	28.2	23.1	56.4	92.3	38.5	2.6	0.0
・未子 が13~15歳(中学生)	8	100.0	75.0	12.5	62.5	50.0	37.5	37.5	37.5	37.5	25.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0
・未子 が16~18歳(高校生)	5	100.0	60.0	20.0	80.0	60.0	20.0	40.0	40.0	60.0	20.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0
いない	308	76.9	65.9	26.9	42.2	53.2	29.2	73.1	60.1	34.1	37.0	36.4	76.0	35.1	2.9	0.6
無回答	12	58.3	58.3	25.0	25.0	25.0	25.0	41.7	58.3	33.3	25.0	16.7	75.0	25.0	0.0	0.0

【介護福祉士((現在就労していない者)性別別、年齢別、配偶関係別子どもの有無別)】

		介護福祉士 重視することとして該当するものを全て選択(複数選択可)															
		回答数	やりたい職種・仕事内容	能力・資格が活かせる	教育研修や資格取得支援等が充実している	法人・事業所の理念や方針に共感した	賃金等の水準が適当	働きぶりや能力が賃金や配置に反映される	労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う	通勤が便利	正規職員として働ける(可能性がある)	福利厚生が充実している	子育て支援が充実している	職場の雰囲気が良い	法人の安定性、将来性	その他	無回答
全体		4,349	54.2	47.9	23.1	29.2	51.5	37.0	75.8	66.1	25.6	40.2	44.8	80.6	32.6	3.3	1.0
性別別	男性	373	56.6	53.4	21.7	35.1	45.3	33.5	53.1	53.1	34.6	32.7	4.3	68.4	31.9	6.7	1.3
	女性	3,974	54.0	47.4	23.3	28.6	52.1	37.4	77.9	67.3	24.7	40.9	48.6	81.8	32.7	2.9	1.0
年代別	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	502	60.8	52.2	27.1	25.7	63.9	44.0	83.9	65.9	33.9	60.4	79.5	85.7	37.1	1.8	0.4
	30代	1,685	53.9	43.3	23.1	25.7	58.5	38.5	83.3	67.2	27.5	46.1	74.1	85.3	32.4	1.7	0.3
	40代	753	56.8	46.6	29.3	33.5	55.1	41.0	76.6	68.8	34.0	42.1	36.5	85.5	40.4	4.0	0.4
	50代	593	57.8	54.6	24.8	36.1	49.6	39.8	72.2	67.3	26.5	34.2	2.7	78.1	34.4	4.7	1.7
	60代以上	812	45.6	51.2	13.5	29.6	27.7	24.0	56.9	60.5	8.0	17.7	1.2	65.4	21.8	5.7	2.8
配偶関係別	既婚	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	未婚	3,522	53.5	46.4	21.6	28.1	51.3	36.0	78.2	67.1	21.4	38.8	51.9	81.5	30.8	2.7	0.9
	離婚	511	61.1	55.8	34.4	35.0	59.3	45.2	65.4	61.6	54.8	17.2	81.0	45.4	5.7	0.4	
	無回答	308	49.7	51.9	22.1	31.8	41.6	35.1	64.9	62.3	25.6	32.5	9.1	69.8	31.8	5.8	2.9
子どもの状況別	いる	8	62.5	37.5	25.0	37.5	50.0	62.5	75.0	37.5	12.5	37.5	50.0	87.5	37.5	0.0	0.0
	未婚	1,561	52.9	44.1	21.8	25.5	56.5	36.8	83.4	67.5	24.2	41.3	72.3	85.1	31.1	1.7	0.4
	末子が0~5歳(未就学児)	1,101	53.1	43.1	20.7	24.1	56.9	36.5	85.2	67.6	22.8	42.4	85.5	85.8	29.4	1.2	0.4
	末子が6~12歳(小学生)	301	49.5	41.9	24.3	28.9	53.5	33.9	81.4	70.1	25.9	39.2	58.8	85.7	35.5	1.7	0.7
	末子が13~15歳(中学生)	69	55.1	53.6	23.2	24.6	56.5	43.5	76.8	63.8	26.1	36.2	11.6	84.1	33.3	4.3	0.0
	末子が16~18歳(高校生)	90	60.0	56.7	25.6	32.2	61.1	44.4	73.3	61.1	34.4	38.9	2.2	75.6	34.4	6.7	1.1
いない	2,580	55.5	50.3	24.3	30.9	50.1	37.6	72.4	65.6	26.1	39.9	31.2	78.9	33.6	4.1	1.1	
無回答	208	47.1	46.6	18.3	35.6	31.7	31.7	60.1	61.5	28.8	35.1	7.7	68.8	31.7	4.3	3.4	

(16) 前記の中で最も重視すること

復帰意欲がある人で再就業する際に最も重視することを見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」の割合が最も高かった。性別別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、男性は「やりたい職種・仕事内容」の割合が女性と比べて高かった。また、女性は「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」が男性と比べて高かった。

【全体】

	社会福祉士			介護福祉士		
	全体	外福社働いていて医療分野以外	者現在就労していない	全体	外福社働いていて医療分野以外	者現在就労していない
回答数	829	263	566	5,799	1,450	4,349
やりたい職種・仕事内容	17.6%	27.0%	13.3%	6.7%	6.6%	6.7%
能力や資格が活かせる	5.1%	6.1%	4.6%	3.5%	3.9%	3.3%
教育研修や資格取得支援等が充実している	0.7%	2.3%	0.0%	0.6%	1.2%	0.5%
法人・事業所の理念や方針に共感した	3.1%	4.6%	2.5%	2.7%	3.1%	2.5%
賃金の水準が適当	5.1%	6.1%	4.6%	7.2%	12.3%	5.5%
働きぶりや能力が賃金や配置に反映される	1.1%	1.1%	1.1%	3.4%	4.8%	2.9%
労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う	28.2%	17.1%	33.4%	24.8%	22.4%	25.6%
通勤が便利	2.1%	1.1%	2.5%	2.7%	2.1%	2.9%
正規職員として働ける(可能性がある)	1.9%	3.8%	1.1%	1.4%	2.3%	1.1%
福利厚生が充実している	0.5%	0.0%	0.7%	1.2%	1.4%	1.1%
子育て支援が充実している	8.2%	2.7%	10.8%	11.8%	5.9%	13.8%
職場の雰囲気が良い	14.2%	17.5%	12.7%	15.8%	17.4%	15.3%
法人の安定性、将来性	0.5%	0.8%	0.4%	0.7%	0.5%	0.8%
その他	0.8%	1.9%	0.4%	0.7%	1.0%	0.6%
(無回答)	10.9%	8.0%	12.2%	16.9%	15.2%	17.5%

【社会福祉士（現在就労していない者）性別別、年齢別、配偶関係別子どもの有無別】

		社会福祉士 重視することのうち最も大きい理由(単一選択)															
		回答数	やりたい職種・仕事内容	能力・資格が活かせる	が教育研修や資格取得支援等が充実している	に法共感した	資金等の水準が適当	働きがりに反映される	が労働時間休日・勤務体制	通勤が便利	正規職員として働ける(可)	福利厚生が充実している	子育て支援が充実している	職場の雰囲気が良い	法人の安定性・将来性	その他	無回答
全体		566	13.3	4.6	0.0	2.5	4.6	1.1	33.4	2.5	1.1	0.7	10.8	12.7	0.4	0.4	12.2
性別別	男性	53	30.2	15.1	0.0	5.7	11.3	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	1.9	9.4	0.0	0.0	20.8
	女性	513	11.5	3.5	0.0	2.1	3.9	1.2	36.3	2.7	1.2	0.8	11.7	13.1	0.4	0.4	11.3
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	62	17.7	1.6	0.0	1.6	14.5	1.6	29.0	0.0	0.0	3.2	12.9	12.9	0.0	0.0	4.8
	30代	275	8.4	1.8	0.0	1.1	4.7	0.7	40.4	2.2	2.2	0.7	17.1	11.3	0.4	0.0	9.1
	40代	106	15.1	0.9	0.0	4.7	1.9	0.9	37.7	2.8	0.0	0.0	5.7	21.7	0.0	0.9	7.5
	50代	46	23.9	8.7	0.0	6.5	4.3	0.0	17.4	4.3	0.0	0.0	13.0	2.2	2.2	17.4	
	60代以上	77	18.2	19.5	0.0	2.6	0.0	2.6	15.6	3.9	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	32.5
配偶関係別	既婚	470	12.1	4.3	0.0	1.9	3.4	0.2	36.4	2.3	1.1	0.6	12.8	12.3	0.4	0.0	12.1
	未婚	71	21.1	4.2	0.0	5.6	14.1	7.0	15.5	1.4	0.0	1.4	0.0	14.1	0.0	2.8	12.7
	離死別	24	12.5	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0	25.0	8.3	4.2	0.0	4.2	16.7	0.0	0.0	12.5
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの状況別	いる	246	8.5	2.0	0.0	2.4	2.4	0.4	45.1	1.6	2.4	0.0	15.4	11.4	0.0	0.0	8.1
	未子が0~5歳(未就学児)	194	7.7	1.5	0.0	0.5	2.6	0.0	49.5	0.5	2.6	0.0	18.6	7.7	0.0	0.0	8.8
	未子が6~12歳(小学生)	39	15.4	0.0	0.0	7.7	2.6	2.6	28.2	2.6	2.6	0.0	5.1	28.2	0.0	0.0	5.1
	未子が13~15歳(中学生)	8	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	未子が16~18歳(高校生)	5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
いない	308	17.5	8.2	0.0	2.8	6.5	1.3	24.7	3.2	0.0	1.3	7.5	13.6	0.8	0.8	14.3	
無回答	12	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	41.7	

【介護福祉士（現在就労していない者）性別別、年齢別、配偶関係別子どもの有無別】

		介護福祉士 重視することのうち最も大きい理由(単一選択)															
		回答数	やりたい職種・仕事内容	能力・資格が活かせる	が教育研修や資格取得支援等が充実している	に法共感した	資金等の水準が適当	働きがりに反映される	が労働時間休日・勤務体制	通勤が便利	正規職員として働ける(可)	福利厚生が充実している	子育て支援が充実している	職場の雰囲気が良い	法人の安定性・将来性	その他	無回答
全体		4,349	6.7	3.3	0.5	2.5	5.5	2.9	25.6	2.9	1.1	1.1	13.8	15.3	0.8	0.6	17.5
性別別	男性	373	11.0	5.9	0.0	6.2	7.2	3.8	13.7	3.5	2.7	1.3	0.0	20.8	1.9	2.4	19.8
	女性	3,974	6.3	3.1	0.5	2.2	5.3	2.8	26.7	2.8	1.0	1.1	15.0	14.8	0.7	0.4	17.3
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年代別	10代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	502	4.6	1.0	0.2	0.8	7.4	2.8	24.1	0.2	1.0	2.0	28.7	13.7	0.4	0.2	12.9
	30代	1,685	3.9	1.3	0.5	0.9	6.1	2.1	31.2	1.6	1.2	1.4	23.2	12.0	0.5	0.1	13.9
	40代	753	7.6	2.3	0.9	2.7	6.4	3.1	27.9	2.9	1.6	0.9	8.2	18.2	1.5	1.2	14.7
	50代	593	11.1	4.6	0.3	4.2	5.1	5.2	20.9	4.9	1.7	0.5	0.0	20.9	0.8	1.0	18.7
	60代以上	812	9.9	9.1	0.2	5.7	2.6	2.8	16.1	5.5	0.2	0.6	0.0	16.3	0.7	0.9	29.3
配偶関係別	既婚	3,522	5.8	2.9	0.3	2.4	4.6	2.6	27.9	2.4	0.7	0.9	16.7	14.5	0.5	0.6	17.4
	未婚	511	10.8	3.5	1.0	3.5	11.7	4.7	15.5	4.3	4.3	2.3	1.4	19.2	2.5	1.0	14.3
	離死別	308	10.4	7.8	1.3	2.9	5.2	3.8	15.9	6.2	1.6	1.6	1.0	17.2	1.3	0.0	24.0
	無回答	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	50.0	0.0	0.0	12.5
子どもの状況別	いる	1,581	3.4	1.5	0.4	1.2	4.8	2.0	34.5	1.0	1.0	0.6	22.3	12.3	0.8	0.3	14.3
	未子が0~5歳(未就学児)	1,101	2.2	1.0	0.2	0.8	4.1	1.5	36.7	0.9	0.9	0.5	28.7	8.9	0.2	0.1	13.4
	未子が6~12歳(小学生)	301	5.6	2.7	0.3	2.3	5.6	1.7	33.6	1.3	1.3	1.0	10.6	18.9	1.7	0.0	13.3
	未子が13~15歳(中学生)	69	5.8	4.3	1.4	2.9	7.2	4.3	23.2	1.4	1.4	1.4	0.0	20.3	1.4	2.9	21.7
	未子が16~18歳(高校生)	90	8.9	2.2	3.3	1.1	5.6	6.7	18.9	0.0	1.1	0.0	0.0	25.6	1.1	2.2	23.3
いない	2,580	8.4	4.2	0.4	3.1	6.2	3.4	21.2	4.0	1.2	1.4	9.7	17.0	0.9	0.7	18.2	
無回答	208	10.6	5.8	1.0	5.3	2.9	3.4	13.5	3.4	1.9	1.9	0.0	16.3	0.5	0.5	33.2	

(17) 復帰意欲がある人で再就業する際に希望する支援策(複数回答)

復帰意欲がある人で再就業する際に希望する支援策を見ると、社会福祉士については「最近の制度改正等の動向についての研修」、介護福祉士については、「就職を希望する職場の雰囲気(見学や体験就業等)の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=829)	介護福祉士 (N=5,799)
最近の制度改正等の動向についての研修	64.7%	45.7%
介護や相談援助技術についての再研修	48.1%	44.0%
施設・事業所の求人情報・労働条件等の情報の提供	50.3%	52.0%
就職を希望する職場のケアや職場運営の考え方等についての説明	36.1%	41.4%
就職を希望する職場の雰囲気(見学や体験就業等)	42.3%	52.9%
(無回答)	2.4%	2.6%

10 現在福祉・介護・医療分野の仕事をしていないが過去にもその分野の経験のない人の状況

(1) 就職の際に福祉・介護・医療の分野の検討の状況

現在福祉・介護・医療の分野の仕事をしていないが過去にもその分野の経験のない人で、就職の際に福祉・介護・医療分野の検討をしたかどうかを見ると、社会福祉士・介護福祉士とも5割以上の人が検討の対象に入っていたとしている。

	社会福祉士 (N=424)	介護福祉士 (N=1,013)
検討の対象に入っていた	65.3%	56.0%
検討の対象にはいっていなかった	34.2%	41.0%
(無回答)	0.5%	3.1%

(2) 福祉・介護・医療の分野を選択しなかった理由(複数回答)

その人達が福祉・介護・医療の分野を選択しなかった理由を見ると、社会福祉士・介護福祉士ともに「他にもっと魅力的な職場があった」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=424)	介護福祉士 (N=1,013)
やりたい職種・仕事内容の求人がなかった	22.4%	10.5%
理念や方針に共感できる法人・事業所がなかった	4.0%	3.8%
賃金等の水準が適当でなかった	27.4%	23.5%
労働時間・休日、勤務体制があわなかった	19.6%	20.6%
通える範囲に適当な職場がなかった	6.6%	5.9%
将来展望が描けなかった	15.3%	12.9%
知識・スキルに不安があった	13.2%	12.2%
体力・健康に不安があった	11.6%	20.0%
実習・見学等で自分には向かないと思った	13.9%	16.8%
周囲に反対された	2.6%	2.7%
他にもっと魅力的な職場があった	33.5%	29.3%
その他	28.1%	19.9%
特にない	3.8%	6.2%
(無回答)	1.7%	11.6%

(3) 今後の福祉・介護・医療分野への就労希望

今後の福祉・介護・医療分野への就労希望を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「条件があえば働きたい」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=424)	介護福祉士 (N=1,013)
是非働きたい	8.5%	7.5%
条件があえば働きたい	54.7%	37.3%
働きたくない	10.1%	19.4%
分からない	24.5%	30.1%
(無回答)	2.1%	5.6%

(4) 就労希望のある人で、就労時期の目途

就労希望のある人で、就労時期の目途を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「決めていない」の割合が最も高かった。

子どもの有無別にみると、社会福祉士・介護福祉士とも、子どもがいない場合は「1年以内」に就労を希望する割合が、子どもがいる場合と比べて高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=268)	介護福祉士 (N=454)
1年以内	11.2%	12.8%
2年以内	4.1%	7.9%
決めていない	84.7%	78.9%
(無回答)	0.0%	0.4%

【社会福祉士・介護福祉士(性別別、年齢別、配偶関係別、子どもの有無別)】

	社会福祉士				介護福祉士					
	回 答 数	1 年 以 内	2 年 以 内	決 め て い な い	無 回 答	回 答 数	1 年 以 内	2 年 以 内	決 め て い な い	無 回 答
全体	268	11.2	4.1	84.7	0.0	454	12.8	7.9	78.9	0.4
性別別										
男性	76	15.8	2.6	81.6	0.0	120	12.5	10.0	76.7	0.8
女性	192	9.4	4.7	85.9	0.0	334	12.9	7.2	79.6	0.3
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別										
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	6	16.7	33.3	50.0	0.0
20代	70	11.4	4.3	84.3	0.0	135	14.1	13.3	72.6	0.0
30代	96	6.3	2.1	91.7	0.0	101	5.9	3.0	91.1	0.0
40代	39	10.3	12.8	76.9	0.0	52	5.8	1.9	92.3	0.0
50代	43	16.3	2.3	81.4	0.0	60	18.3	6.7	75.0	0.0
60代以上	20	25.0	0.0	75.0	0.0	100	18.0	8.0	72.0	2.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶関係別										
既婚	148	9.5	4.1	86.5	0.0	269	11.5	5.9	82.5	0.0
未婚	113	12.4	2.7	85.0	0.0	170	14.1	11.8	74.1	0.0
離死別	7	28.6	28.6	42.9	0.0	15	20.0	0.0	66.7	13.3
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの状況別										
いる	66	6.1	4.5	89.4	0.0	103	7.8	4.9	87.4	0.0
1人	31	3.2	6.5	90.3	0.0	33	3.0	0.0	97.0	0.0
2人	31	9.7	3.2	87.1	0.0	57	7.0	5.3	87.7	0.0
3人以上	4	0.0	0.0	100.0	0.0	13	23.1	15.4	61.5	0.0
末子が0～5歳(未就学児)	38	7.9	2.6	89.5	0.0	58	5.2	3.4	91.4	0.0
末子が6～12歳(小学生)	18	5.6	11.1	83.3	0.0	26	11.5	11.5	76.9	0.0
末子が13～15歳(中学生)	6	0.0	0.0	100.0	0.0	7	0.0	0.0	100.0	0.0
末子が16～18歳(高校生)	4	0.0	0.0	100.0	0.0	12	16.7	0.0	83.3	0.0
いない	199	13.1	4.0	82.9	0.0	328	14.9	8.8	75.6	0.6
無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0	23	4.3	8.7	87.0	0.0

(5) 就労希望のある人で、再就業する際の希望雇用形態

就労希望のある人で、再就業する際の希望雇用形態を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「正規職員を希望」の割合が最も高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=268)	介護福祉士 (N=454)
正規職員を希望	60.4%	43.4%
非正規職員を希望	14.9%	25.1%
派遣職員を希望	0.7%	2.4%
その他	3.7%	3.5%
こだわらない	20.1%	24.7%
(無回答)	0.0%	0.9%

【社会福祉士・介護福祉士(性別別、年齢別、配偶関係別、子どもの有無別、理由別、希望勤務形態別)】

	社会福祉士						介護福祉士							
	回答数	正規職員を希望	非正規職員を希望	派遣職員を希望	その他	こだわらない	無回答	回答数	正規職員を希望	非正規職員を希望	派遣職員を希望	その他	こだわらない	無回答
全体	268	60.4	14.9	0.7	3.7	20.1	0.0	454	43.4	25.1	2.4	3.5	24.7	0.9
性別別														
男性	76	64.5	10.5	1.3	7.9	15.8	0.0	120	34.2	19.2	2.5	4.2	38.3	1.7
女性	192	58.9	16.7	0.5	2.1	21.9	0.0	334	46.7	27.2	2.4	3.3	19.8	0.6
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別														
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
20代	70	77.1	8.6	0.0	1.4	12.9	0.0	135	65.9	20.0	2.2	0.7	11.1	0.0
30代	96	68.8	13.5	1.0	0.0	16.7	0.0	101	42.6	29.7	4.0	4.0	17.8	2.0
40代	39	51.3	17.9	0.0	2.6	28.2	0.0	52	50.0	26.9	0.0	0.0	23.1	0.0
50代	43	46.5	18.6	0.0	7.0	27.9	0.0	60	40.0	8.3	0.0	6.7	45.0	0.0
60代以上	20	10.0	30.0	5.0	25.0	30.0	0.0	100	10.0	38.0	4.0	7.0	39.0	2.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもの状況別														
いる	66	53.0	27.3	0.0	1.5	18.2	0.0	103	32.0	33.0	3.9	2.9	27.2	1.0
いない	199	62.8	10.6	1.0	4.5	21.1	0.0	328	47.0	23.8	1.8	3.7	23.2	0.6
無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	23	43.5	8.7	4.3	4.3	34.8	4.3
現在仕事をしていない理由														
定年退職	5	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	23	8.7	30.4	8.7	8.7	34.8	8.7
出産・子育て	34	26.5	41.2	0.0	0.0	32.4	0.0	84	18.8	43.8	6.3	3.1	28.1	0.0
家族等の介護・看護	10	40.0	10.0	0.0	10.0	40.0	0.0	33	18.2	39.4	0.0	9.1	33.3	0.0
病気・体調不良(腰痛を除く)	10	30.0	10.0	0.0	0.0	60.0	0.0	22	22.7	38.4	4.5	9.1	22.7	4.5
腰痛	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	15	13.3	40.0	0.0	6.7	40.0	0.0
働く必要がない	7	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	13	15.4	38.5	15.4	0.0	30.8	0.0
就職先が見つからない	9	55.6	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	20	40.0	10.0	10.0	0.0	40.0	0.0
希望に合う求人がない	25	36.0	28.0	4.0	4.0	28.0	0.0	37	35.1	18.9	2.7	5.4	37.8	0.0
職種を変えるための研修等を受けている	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	23	47.8	21.7	0.0	8.7	21.7	0.0	74	70.3	13.5	0.0	2.7	13.5	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
勤務形態別														
常勤(夜勤・早朝勤務あり)	21	85.7	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0	68	91.2	1.5	1.5	0.0	5.9	0.0
常勤(夜勤・早朝勤務なし)	172	76.7	7.0	0.6	1.7	14.0	0.0	208	51.4	21.2	1.9	1.9	23.6	0.0
非常勤	35	2.9	68.6	2.9	8.6	17.1	0.0	95	3.2	66.3	4.2	8.4	17.9	0.0
こだわらない	37	27.0	8.1	0.0	8.1	56.8	0.0	77	31.2	7.8	2.6	5.2	53.2	0.0
無回答	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	6	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7

(6) 就労希望のある人で、再就業する際の希望勤務形態

就労希望のある人で、再就業する際の希望勤務形態を見ると、社会福祉士・介護福祉士とも「常勤(夜勤・早朝勤務なし)」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=268)	介護福祉士 (N=454)
常勤(夜勤・早朝勤務あり)	7.8%	15.0%
常勤(夜勤・早朝勤務なし)	64.2%	45.8%
非常勤	13.1%	20.9%
こだわらない	13.8%	17.0%
(無回答)	1.1%	1.3%

(7) 就労希望のある人で、再就業する際に重視すること(複数回答)

復帰意欲がある人で再就業する際に重視することを見ると、社会福祉士については「やりたい職種・仕事内容」、「職場の雰囲気が良い」、「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」が高かった。

介護福祉士については「職場の雰囲気が良い」、「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」の割合が最も高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=268)	介護福祉士 (N=454)
やりたい職種・仕事内容	82.5%	55.3%
能力や資格が活かせる	59.3%	41.6%
教育研修や資格取得支援等が充実している	32.5%	27.5%
法人・事業所の理念や方針に共感した	36.2%	25.3%
賃金の水準が適当	66.8%	60.6%
働きぶりや能力が賃金や配置に反映される	35.4%	37.0%
労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う	75.7%	72.0%
通勤が便利	57.5%	55.1%
正規職員として働ける(可能性がある)	44.0%	33.9%
福利厚生が充実している	51.5%	47.4%
子育て支援が充実している	41.8%	36.6%
職場の雰囲気が良い	79.9%	78.0%
法人の安定性、将来性	44.8%	35.2%
その他	3.7%	3.5%
(無回答)	0.4%	2.6%

(8) 前記の中で最も重視すること

復帰意欲がある人で再就業する際に重視することを見ると、社会福祉士は「やりたい職種・仕事内容」が最も高く、次いで「賃金の水準が適当」、「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」の割合が高かった。介護福祉士は「労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う」が最も高く、次いで「賃金の水準が適当」、「職場の雰囲気が良い」の割合が高かった。

性別別に見ると、社会福祉士・介護福祉士とも、男性は「やりたい職種・仕事内容」、「賃金の水準が妥当」の割合が女性と比べて高かった。また、女性は「労働時間等が希望に沿う」が男性と比べて高かった。

【全体】

	社会福祉士 (N=268)	介護福祉士 (N=454)
やりたい職種・仕事内容	20.5%	9.0%
能力や資格を活かせる	7.8%	3.1%
教育研修や資格取得支援等が充実している	0.4%	1.1%
法人・事業所の理念や方針に共感した	4.1%	3.5%
賃金の水準が適当	17.5%	15.6%
働きぶりや能力が賃金や配置に反映される	0.4%	5.9%
労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う	17.5%	18.9%
通勤が便利	0.7%	2.2%
正規職員として働ける(可能性がある)	4.9%	1.3%
福利厚生が充実している	1.1%	3.5%
子育て支援が充実している	4.1%	5.7%
職場の雰囲気が良い	11.2%	14.3%
法人の安定性、将来性	1.5%	0.4%
その他	0.0%	1.1%
(無回答)	8.2%	14.1%

【社会福祉士(性別別、年齢別、理由別、子どもの有無別、希望勤務形態別)】

		社会福祉士															
		回答数	やりたい職種・仕事内容	能力・資格を活かせる	教育研修や資格取得支援等が充実している	法人・事業所の理念や方針に共感した	賃金の水準が適当	働きぶりや能力が賃金や配置に反映される	労働時間・休日、勤務体制が希望に沿う	通勤が便利	正規職員として働ける(可能性がある)	福利厚生が充実している	子育て支援が充実している	職場の雰囲気が良い	法人の安定性、将来性	その他	無回答
全体		268	20.5	7.8	0.4	4.1	17.5	0.4	17.5	0.7	4.9	1.1	4.1	11.2	1.5	0.0	8.2
性別別	男性	76	28.9	10.5	1.3	3.9	25.0	0.0	5.3	1.3	7.9	0.0	0.0	7.9	1.3	0.0	6.6
	女性	192	17.2	6.8	0.0	4.2	14.6	0.5	22.4	0.5	3.6	1.6	5.7	12.5	1.6	0.0	8.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	70	14.3	4.3	1.4	2.9	25.7	1.4	11.4	1.4	2.9	1.4	7.1	17.1	1.4	0.0	7.1
	30代	96	18.8	4.2	0.0	0.0	19.8	0.0	24.0	0.0	2.1	2.1	6.3	12.5	3.1	0.0	7.3
	40代	39	25.6	10.3	0.0	15.4	7.7	0.0	12.8	2.6	15.4	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	5.1
	50代	43	25.6	7.0	0.0	4.7	16.3	0.0	23.3	0.0	7.0	0.0	0.0	9.3	0.0	0.0	7.0
	60代以上	20	30.0	35.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶関係別	既婚	148	20.9	9.5	0.0	2.7	16.9	0.0	20.3	1.4	3.4	0.7	6.1	7.4	2.0	0.0	8.8
	未婚	113	19.5	6.2	0.9	6.2	17.7	0.9	15.0	0.0	5.3	1.8	1.8	16.8	0.9	0.0	7.1
	離死別	7	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
子どもの状況別	いる	66	21.2	6.1	0.0	1.5	13.6	0.0	30.3	1.5	6.1	0.0	6.1	7.6	1.5	0.0	4.5
	いない	199	20.6	8.0	0.5	5.0	19.1	0.5	12.6	0.5	4.5	1.5	3.5	12.6	1.5	0.0	9.5
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
現在仕事をしていない理由	定年退職	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	出産・子育て	34	23.5	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	38.2	0.0	2.9	0.0	14.7	5.9	0.0	0.0	8.8
	家族等の介護・看護	10	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	病気・体調不良(腰痛を除く)	10	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	腰痛	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	働く必要がない	7	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	就職先が見つからない	9	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	希望に合う求人がない	25	24.0	16.0	0.0	0.0	4.0	0.0	32.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0
	職種を変えるための研修等を	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	23	17.4	17.4	4.3	0.0	8.7	0.0	21.7	0.0	8.7	0.0	4.3	13.0	0.0	0.0	4.3
勤務形態別	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	常勤(夜勤・早朝勤務あり)	21	9.5	14.3	4.8	4.8	33.3	0.0	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	4.8
	常勤(夜勤・早朝勤務なし)	172	18.6	5.2	0.0	2.9	19.8	0.6	18.6	0.6	4.7	1.7	5.2	11.6	2.3	0.0	8.1
	非常勤	35	22.9	17.1	0.0	2.9	5.7	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	5.7	0.0	11.4
	こだわらない	37	35.1	8.1	0.0	8.1	10.8	0.0	8.1	2.7	8.1	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0	5.4
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	

【介護福祉士(性別別、年齢別、理由別、子どもの有無別、希望勤務形態別)】

	回 答 数	介護福祉士														
		やり たい 職 種・ 仕 事 内 容	能 力 ・ 資 格 が 活 か せ る	が 教 育 研 修 や 資 格 取 得 支 援 等 が 充 実 し て い る	法 人 ・ 事 業 所 の 理 念 や 目 標 に 共 感 し た	賃 金 の 水 準 が 適 当	働 き 易 さ や 能 力 が 賃 金 や 配 置 に 反 映 さ れ る	が 労 働 時 間 に 沿 う 休 日 ・ 勤 務 体 制	通 勤 が 便 利	雇 用 機 会 が あ る と 思 え る	福 利 厚 生 が 充 実 し て い る	子 育 て 支 援 が 充 実 し て い る	雇 主 の 雰 囲 気 が 良 い	法 人 の 安 定 性 ・ 相 続 性	そ の 他	無 回 答
全体	454	9.0	3.1	1.1	3.5	15.6	5.9	18.9	2.2	1.3	3.5	5.7	14.3	0.4	1.1	14.1
性別別																
男性	120	13.3	5.8	0.8	7.5	16.7	4.2	14.2	4.2	0.0	0.0	13.3	0.0	2.5	16.7	
女性	334	7.5	2.1	1.2	2.1	15.3	6.6	20.7	1.5	1.8	4.5	7.8	14.7	0.6	0.6	13.2
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別																
10代	6	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	135	8.9	4.4	0.7	0.0	17.8	5.9	20.7	0.0	0.7	5.2	11.1	14.1	0.7	0.0	9.6
30代	101	7.9	1.0	0.0	2.0	14.9	5.0	23.8	1.0	1.0	4.0	9.9	12.9	1.0	1.0	14.9
40代	52	7.7	0.0	1.9	0.0	19.2	7.7	21.2	5.8	0.0	3.8	1.9	21.2	0.0	0.0	9.6
50代	60	10.0	0.0	0.0	6.7	26.7	8.3	15.0	0.0	1.7	1.7	0.0	16.7	0.0	3.3	10.0
60代以上	100	11.0	7.0	2.0	9.0	4.0	5.0	14.0	6.0	2.0	1.0	0.0	12.0	0.0	2.0	25.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶関係別																
既婚	269	7.4	3.0	1.1	4.1	11.2	5.6	21.9	3.0	0.7	1.9	8.6	13.4	0.4	1.1	16.7
未婚	170	11.8	3.5	1.2	2.9	22.9	5.9	15.3	0.6	1.8	5.9	1.8	16.5	0.6	1.2	8.2
離死別	15	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	33.3
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
別状況																
いる	103	6.8	0.0	1.0	1.9	16.5	2.9	27.2	2.9	0.0	0.0	13.5	10.7	1.0	0.0	15.5
いない	328	9.8	4.3	1.2	4.3	15.9	7.3	16.2	1.8	1.8	4.3	3.7	14.6	0.3	1.5	13.1
無回答	23	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	21.7	4.3	0.0	8.7	0.0	26.1	0.0	0.0	21.7
現在仕事をしない理由																
定年退職	23	8.7	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0	17.4	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	43.5
出産・子育て	64	3.1	1.6	0.0	1.6	9.4	0.0	29.7	0.0	0.0	0.0	29.7	10.9	1.6	0.0	12.5
家族等の介護・看護	33	15.2	0.0	0.0	6.1	6.1	3.0	27.3	0.0	0.0	3.0	0.0	18.2	0.0	0.0	21.2
病気・体調不良(腰痛を除く)	22	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	36.4	4.5	0.0	4.5	0.0	18.2	0.0	4.5	18.2
腰痛	15	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	13.3	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	13.3
働く必要がない	13	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	30.8
就職先が見つからない	20	5.0	10.0	0.0	5.0	5.0	5.0	20.0	5.0	0.0	10.0	5.0	5.0	0.0	5.0	20.0
希望に合う求人がない	37	2.7	2.7	2.7	5.4	18.9	0.0	21.6	2.7	0.0	5.4	8.1	8.1	2.7	2.7	16.2
職種を委えるための研修等を 受ける	10	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
その他	74	13.5	8.1	4.1	2.7	12.2	5.4	9.5	2.7	4.1	5.4	2.7	20.3	0.0	0.0	9.5
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
勤務形態別																
常勤(夜勤・早期勤務あり)	68	8.8	5.9	1.5	0.0	23.5	11.8	4.4	1.5	2.9	5.9	5.9	20.6	0.0	1.5	5.9
常勤(夜勤・早期勤務なし)	208	9.1	1.9	1.0	2.4	18.8	5.3	24.5	1.0	0.5	3.4	7.2	12.5	0.5	0.0	12.0
非常勤	95	8.4	4.2	1.1	6.3	4.2	4.2	25.3	3.2	2.1	1.1	5.3	11.6	1.1	1.1	21.1
わからない	77	10.4	2.6	1.3	5.2	15.6	5.2	9.1	5.2	1.3	5.2	2.6	18.2	0.0	3.9	14.3
無回答	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

(9) 就労希望のある人で、再就業する際に希望する支援策(複数回答)

就労希望のある人で再就業する際に希望する支援策を見ると、社会福祉士については「最近の制度改正等の動向についての研修」、介護福祉士については、「介護や相談援助技術についての再研修」の割合が最も高かった。

	社会福祉士 (N=268)	介護福祉士 (N=454)
最近の制度改正等の動向についての研修	67.2%	44.1%
介護や相談援助技術についての再研修	60.1%	54.6%
施設・事業所の求人情報・労働条件等の情報の提供	54.9%	45.6%
就職を希望する職場のケアや職場運営の考え方等についての説明	34.7%	41.4%
就職を希望する職場の雰囲気の実験(見学や体験就業等)	47.8%	54.0%
(無回答)	1.1%	2.9%